

**WATCH BOOT
light
RPC-M5CS**

(FW:1.00F用)
詳細版

■ 取扱説明書 ■

明京電機株式会社

ご購入ありがとうございます

弊社リブーター WATCH BOOT light RPC-M5CSをご購入いただきありがとうございます。

WATCH BOOT light RPC-M5CSはネットワーク経由でシステム機器の制御／管理をする遠隔自動電源制御装置です。4個の100VAC電源を個別に遠隔制御／管理できます。接続する機器に関しては「安全上のご注意」をご確認ください。

また、NTPサーバーに接続することにより、週間スケジューラーとしてもご利用になれます。

WATCH BOOT light RPC-M5CSが皆様の所有されるネットワークシステムにおいて有効かつ有用なツールとして機能することを願っております。

この取扱説明書を必ずお読みください。

本書はセットアップ手順と、操作、設置、安全の確保などのための手順が記載されています。

ご使用の前に、必ず本書をお読みください。

付属品一覧

本製品には次の付属品が同梱されています。必ずご確認ください。

1. セットアップガイド 兼 保証書
2. 2P/3P変換プラグ

当社ホームページ(<https://www.meikyo.co.jp/download/>)に、運用に便利なソフト等がありますのでダウンロードしてご利用ください。

1. 取扱説明書(詳細版) PDFファイル(本書)
2. RPCサーチソフト
3. ネットワーク稼動監視ソフト
4. プライベートMIBファイル

安全上のご注意

この取扱説明書での表示では、本装置を安全に正しくお使いいただくために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は以下のようになっています。本文をよくお読みいただき、内容をよくご理解の上、正しくご使用ください。

注意喚起シンボルとシグナル表示の例

| | |
|---|---|
|  警告 | 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
|  注意 | 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、及び物的損害*の発生が想定される内容を示しています。 |

*物的損害とは家屋家財および家畜ペットにかかる拡大損害を示します。

図記号の例

| | |
|---|---|
|  分解・改造禁止 | ○は、禁止(してはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は○の中や近くに絵や文章で示します。左図の場合は「分解・改造の禁止」を示します。 |
|  電源プラグを抜く | ●は、強制(必ずすること)を示します。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。左図の場合は「差し込みプラグをコンセントから抜くこと」を示します。 |

警告

●万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く！

煙、変な音、においがするなど、異常状態のまま使用しないでください。火災や感電の原因となります。このようなときは、すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店や弊社にお問い合わせください。



電源プラグを抜く

●AC100V(50または60Hz)以外の電源電圧では使用しない

表示された電源電圧(交流100V)以外の電圧で使用しないでください。
特に110Vを越える電圧では製品を破壊するおそれがあり、火災の原因となりますので、絶対に接続しないでください。



交流100V

●本装置の電源アースあるいはFG端子を接地する

本装置の電源プラグのアースあるいはFG端子を接地してください。
感電や故障の原因となります。



アース接地

●本装置背面のACコンセントは15Aまで

本装置背面のACコンセントは、供給できる容量の合計は最大で15Aです。
合計15Aを越えて使用しないでください。火災や故障の原因となります。



最大容量15Aまで

●たこ足配線をしない

本装置の電源は、家庭用電源コンセントから直接取ってください。
本装置のACコンセントに、電源用テーブルタップなどを接続して使用しないでください。火災や故障の原因となります。



たこ足配線禁止

●電源コードを大切に

コードに重いものを載せたり、熱器具に近づけたりしないでください。コードが損傷し火災や感電、故障の原因となります。また、コードを加工したり無理に曲げたり引っ張ったりすることも、火災や感電の原因となるのでおやめください。コードが傷んだ場合はお買い上げの販売店、または弊社までご相談ください。



コードを乱暴に扱わない

●極めて高い信頼性や安全性が必要とされる機器に接続しない

本装置はパソコン及びパソコン周辺機器と接続する用途に設計されています。
人命に直接関わる医療機器などの極めて高い信頼性または安全性が必要とされる機器には接続しないでください。



パソコン機器専用

●ぬれた手で本装置や電源プラグにさわらない

ぬれた手で本装置の操作を行なわないでください。ぬれた手で電源プラグを抜いたり、差し込んだりしないでください。感電の原因となることがあります



ぬれた手でさわらない

●本装置の上や近くに水などの液体を置かない

本装置に水などの液体が入った場合、火災、感電、故障などの原因になります。



液体を近くに置かない

●異物を入れない

製品に、金属類や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。

万一異物が入った場合はすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社までご相談ください。



内部に異物を入れない

●ヘアースプレーなどの可燃物を本装置の上や近くに置いたり、使用したりしない

スイッチの火花などで引火して火災の原因になることがあります。



可燃物禁止

●雷が鳴り出したら製品や電源プラグに触れない

感電の原因となります。本装置には、落雷用保護回路がありますが、FG端子を接地して、アースされた状態でないと十分な効果を発揮しませんのでご注意ください。



雷のときは、触れない

●分解したり改造したりしない

内部には電圧の高い部分がありますので、カバーをはずして内部の部品に触ったり、製品を改造したりしないでください。火災や感電、故障の原因となります。



分解・改造禁止

●製品を落したりして破損した場合は

そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。電源プラグをコンセントから抜き、前面のコネクタをすべて抜いて、お買い上げの販売店、または弊社までお問い合わせください。



電源プラグを抜く

●専用の温度センサーを必ず使用してください。

TEMPには、弊社温度センサー(RP-TS004)以外差し込まないでください。



専用温度センサー

●火災・感電・事故・傷害の発生する危険がある機器は、遠隔制御機能を利用しない

遠隔制御機能を利用する場合は、遠隔操作での突然の稼働により火災・感電・事故・傷害の発生する危険がある機器は接続しないでください。特に、電気ストーブや電熱器など熱を発生するものは、火災の原因となりますので絶対に接続しないでください。接続機器が突然動作した時に接続された機器の近傍にいる人が危険になるような機器を接続しないでください。また、通信回線の故障などにより遠隔制御が行えなくなった場合でも、安全状態が維持されるように、連続運転可能な機器のみ接続してください。接続され



る機器の安全性に関しては、接続される機器のUSB等のアウトレットにも遠隔操作によって危険がないことを確認して下さい。

本機に接続される機器は、必ず、本機の近傍にあり、本機の近傍にいる人が危険を感じた場合、機器の電源プラグを容易に外せるようにしてください。

遠隔制御禁止



●電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。

コードを引っ張って抜くと傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。



コードを引っ張らない

●風通しの悪いところに置かない

製品を密閉された場所に置かないでください。熱がこもり、やけどや火災、故障の原因となることがあります。



風通しの悪い場所禁止

●温度が高くなるところに置かない

直射日光の当たるところや熱器具の近くなど、高温になるところに置かないでください。やけどや火災、故障の原因となることがあります。



温度が高い場所禁止

●お手入れのときは

本装置の本体が汚れた場合は、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ、よく絞ってから軽く拭いてください(絶対に、電源プラグやコネクタなどの接続部をこの方法で拭かないでください)。薬品類(ベンジン・シンナーなど)は使わないでください。変質・変色する場合があります。本体に接続されている電源プラグやコネクタなどの接続部のお手入れは、電源プラグやコネクタを抜いて、機器を傷つけないよう軽く乾拭きしてください。いずれの場合も、必ず本装置の電源プラグをコンセントから抜き、本装置に接続されている電源プラグやコネクタ類も全て抜いてから行ってください。感電や故障の原因となることがあります。



電源プラグを
抜く

●湿気やほこりの多いところに置かない

湿気やほこりの多い場所や調理台、加湿器の近くなど、油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。火災や感電の原因となることがあります。



湿気・ほこり禁止

●逆さまに設置しない

本装置を逆さまに設置しないでください。また、布等でくるんだ状態での使用もおやめください。特に、ビニールやゴム製品が接触している状態での使用はおやめください。火災や故障の原因となることがあります。



逆さま禁止

●電源プラグとコンセントの定期点検を

電源プラグとコンセントは長時間つないだままでいると、ほこりやちりがたまり、そのままの状態で使用を続けますと、火災や感電の原因となることがあります。定期的な清掃をし、接触不良などを点検してください。



定期点検

●接続できるものについて

本装置はパソコンや周辺機器、通信機器などの接続を主として設計されており、他の負荷機器に関しては、遠隔操作に伴う危険源がない又はリスク低減策を講じることにより遠隔操作に伴う危険源がない負荷機器に限定されています。



接続する負荷機器

●DIPスイッチの操作に金属製のもの、鋭利なものを使用しない

DIPスイッチのレバーを操作する時には、先端が丸みのある柔らかい木製のものを使用してください。硬い金属製のもの、鋭利なものを使用すると、レバーを破損してしまったり、接点部の接触に支障をきたしてしまったりする恐れがあります。



DIPスイッチ操作

●本装置は日本国内のみで使用

国外での使用は、電源電圧などの問題により、本装置が故障することがあります。



国内のみ使用

●不安定な場所やお子様の手の届く所には置かない

ぐらついた台や本装置より面積が小さいものの上や傾いた所、また衝撃や振動の加わる所など、不安定な場所やお子様の手の届く所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてけがや故障の原因となります。



不安定な場所禁止

●ラジオやテレビなどのすぐ近くに置かない

ラジオやテレビなどのすぐ近くに置きますと受信障害を与えることがあります。



ラジオ、テレビの近く禁止

●データの保存について

データの通信を行なう際には、あらかじめデータのバックアップを取るなどの処置を行なってください。回線や本装置の障害によりデータを消失するおそれがあります。



バックアップ

●花びんやコップ、植木鉢、小さな金属物などを本装置の上に置かない

内部に水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。万一、水などが内部に入ったときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。



上にものを置かない

●踏み台にしない

本装置の上に乗らないでください。

倒れたりしてけがや故障の原因となることがあります。



踏み台禁止

注記

シリアルNo.3K-6683以降の本製品は内部でSG(信号グランド)とFG
(フレームグランド)が接続されています。

目 次

| | |
|------------------------------|----|
| 安全上のご注意 | 3 |
| 目 次 | 9 |
| 第1章 はじめに | 11 |
| 1. 機能概要 | 12 |
| 2. 各部の名称と機能 | 13 |
| 3. DIPスイッチの設定 | 14 |
| 4. LED表示について | 15 |
| 第2章 設置・取付 | 16 |
| 1. 設置・取付 | 17 |
| 2. ラックへの取付 | 17 |
| 3. 固定方法 | 17 |
| 第3章 初期設定 | 18 |
| 1. 初期設定 | 19 |
| [1] 使用条件の確認と同意 | 19 |
| 2. 初期化の方法 | 22 |
| 3. 一斉電源制御受付 | 23 |
| [1] 受付状態設定方法 | 23 |
| [2] 受付状態解除方法 | 24 |
| 第4章 WEBブラウザーでの設定、制御 | 25 |
| 1. ログイン | 26 |
| [1] IPアドレスを固定にして利用する場合 | 26 |
| [2] RPCサーチソフトを利用する場合 | 28 |
| 2. 設定項目 | 29 |
| [0] 入力可能な半角文字について | 29 |
| [1] 基本設定 | 30 |
| [2] 通信設定 | 46 |
| [3] 監視設定 | 55 |
| [4] スケジュール設定 | 67 |
| [5] システム情報 | 69 |
| [6] PING送信 | 73 |
| [7] 簡易説明 | 74 |
| 3. 状態表示項目 | 75 |
| [1] 簡易情報表示 | 75 |
| [2] 監視状態表示 | 76 |
| [3] イベントログ表示 | 78 |
| 4. 電源制御 | 79 |
| [1] 電源制御 | 79 |
| [2] 仮想アウトレット制御 | 80 |
| [3] 一斉電源制御 | 81 |
| 5. CPUリセット | 82 |
| 第5章 その他の設定 | 83 |
| 1. TELNETによる設定 | 84 |

| | |
|---------------------------|-----|
| [1] 設定方法..... | 84 |
| [2] TELNETコマンドによる設定 | 85 |
| 2. ターミナルソフトによる設定..... | 86 |
| 第6章 その他の制御 | 87 |
| 1. TELNET接続による制御 | 88 |
| [1] TELNET接続による制御 | 88 |
| 2. シリアルからの制御..... | 89 |
| 3. モデムからの制御..... | 90 |
| 4. メールからの制御 | 91 |
| 5. WEBコマンドからの制御 | 92 |
| 第7章 ロギング機能..... | 93 |
| 1. ロギング機能の設定・表示..... | 94 |
| 第8章 シャットダウンスクリプト | 98 |
| 1. スクリプト仕様について | 99 |
| [1] スクリプト実行機能の基本動作 | 99 |
| [2] 設定..... | 100 |
| [3] ログ | 100 |
| [4] テキスト仕様..... | 100 |
| [5] エラー処理..... | 102 |
| [6] PING確認について | 102 |
| 第9章 SNMPについて..... | 104 |
| 1. SNMPについて | 105 |
| 2. 機器設定..... | 105 |
| 3. MIBについて | 107 |
| 第10章 ネットワーク稼働監視..... | 108 |
| 1. 機器設定 | 109 |
| 2. RPC EYE V4の利用 | 110 |
| 第11章 仕様一覧 | 111 |
| ■変数一覧表 | 112 |
| ■ログ一覧表..... | 119 |
| ■制御コマンド一覧表..... | 120 |
| ■仕様一覧表 | 123 |

第1章

はじめに

1. 機能概要

本装置には以下の機能があります。

1)4個の100VAC電源を個別に制御/管理

2)通信による電源制御

- ・WEBからの電源制御と設定
- ・TELNETからの電源制御と設定

3)シリアルからの電源制御と設定

4)スケジュールによる制御

- ・週間スケジュールによる電源制御

5)監視機能

- ・電源状態の監視
- ・ICMPによる死活監視(PING監視)
- ・ハートビートによる監視
- ・温度状態の監視
(要オプション:RP-TS004)

6)各デバイスへの遅延電源投入

- ・本体電源投入時に、指定した順番、タイミングによる各デバイスの起動

7)メールによる制御や通知

8)センター通知機能

- ・電源状態と死活監視状態をセンターへ通知
- ・(MSRP)RPC EYE V4対応

9)SNMPエージェント機能

10)通信による遠隔バージョンアップ

11)通信中継機能(TELNET通信)

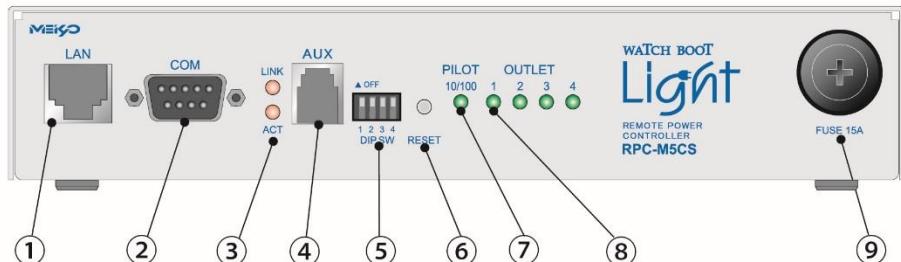
- ・TELNETクライアント、シリアルコンソールとして通信

12)マジックパケットによる起動

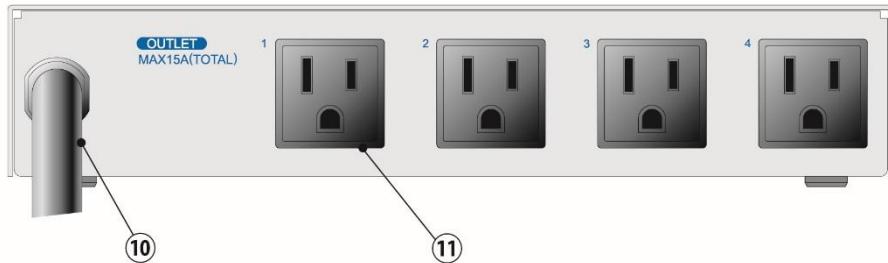
13)スクリプト通信によるOSのシャットダウン

2. 各部の名称と機能

フロントパネル



リアパネル



| | |
|------------------|------------------------------|
| ① LAN | LANケーブル(8ピンRJ45)を接続します。 |
| ② COM | シリアル接続用通信ポートとして使用します。 |
| ③ LED(LINK, ACT) | 通信状態を表示します。 |
| ④ AUX | 温度センサーを接続します。 |
| ⑤ DIPスイッチ | 運用や初期化など各種モードの切替に使用します。 |
| ⑥ RESETスイッチ | 出力電源へ影響を与えずにCPUを初期化します。 |
| ⑦ PILOT LED | 本体に電源が投入されている場合に点灯します。 |
| ⑧ OUTLET LED | ACアウトレットの電源出力状態を表示します。 |
| ⑨ FUSE | ガラス管ヒューズ15Aを使用します。 |
| ⑩ 電源コード | 商用電源, UPS(正弦波出力タイプ)などに接続します。 |
| ⑪ ACアウトレット | デバイスの電源コードを接続します。 |

注意

AUXには弊社温度センサー(RP-TS004)以外差し込まないでください。また、温度センサーを差し込んでいない時は「温度センサー」を「無効」にしておいてください。

3. DIPスイッチの設定

DIPスイッチの機能(OFFは「上」, ONは「下」を意味します。)

| NO. | 状態 | モード |
|-----|-----|----------------|
| 1 | OFF | 運転モード |
| | ON | 中継機能専用モード, 初期化 |
| 2 | OFF | 運転モード |
| | ON | 中継機能専用モード |
| 3 | OFF | 運転モード |
| | ON | メンテナンスマード, 初期化 |
| 4 | OFF | OFFに固定 |
| | ON | 未使用 |

DIPスイッチの設定

| | | 1 | 2 | 3 | 4 |
|---------------|-----|---|---|---|---|
| 通常運転時 | OFF | ■ | ■ | ■ | ■ |
| | ON | | | | |
| 初期設定時 | OFF | ■ | ■ | | ■ |
| | ON | | | ■ | |
| 初期化時 | OFF | | ■ | | ■ |
| | ON | ■ | | ■ | |
| 中継機能専用 モード | OFF | | | ■ | ■ |
| | ON | ■ | ■ | | |

* 中継機能専用モードでは、シリアルからのコマンドを受け付けなくなります。

注意

DIPスイッチのレバーを操作する時には、金属製のものや鋭利なものを使用せず、先端が丸みを帯びている木製のものを使用してください。
DIPスイッチを操作するときは、本体のACアутレットから全デバイスを取り外してください。
DIPスイッチ操作また設定終了後は、必ず、本体前面のRESETスイッチを押してください。誤動作する恐れがあります。
初期設定は、「第3章 初期設定」の「初期化の方法」を参照にして設定してください。

4. LED表示について

本体には3種類のLEDが装備されています。

1)LINK, ACT LED

CPUの通信状態を表示します。

| LED | 用 途 | 状 態 | 表 示 |
|------|-------|----------|------------------|
| LINK | CPU状態 | ケーブル抜け | 0.25秒点灯, 0.25秒消灯 |
| | | LAN正常リンク | 1秒点灯, 1秒消灯 |
| ACT | 通信状態 | パケット受信時 | 点灯 |
| | | パケット未受信時 | 消灯 |

2)PILOT LED

本体に電源投入されている場合、オレンジが点灯します。

本体に電源投入され、100BASE-TXリンク時にはグリーンが点灯します。

全アウトレットの死活監視(PING監視、メールサーバー監視)リブート回数の合計が設定値を越えたら赤色に点灯します。(初期値は12回)

3)OUTLET LED

① ACアウトレットの電源出力状態を表示します。

ON の場合 : 点灯

OFFの場合 : 消灯

② OFF遅延中、1秒点滅

③ PING監視

1. [動作]が「リブート」または「ログのみ」の場合

(ア)監視異常中(出力ON)は、2秒点灯→0.25秒消灯→2秒点灯

(イ)監視スタート後、全てのPING監視対象から応答を確認するまでの間、1秒点灯→0.25秒消灯を繰り返し、その後点灯します。(出力はON)

2. [動作]が「ON」の場合

(ア)監視異常中(出力ON)は、2秒点灯→0.25秒消灯→2秒点灯

(イ)監視スタート後、全てのPING監視対象から応答を確認するまでの間、1秒消灯→0.25秒点灯を繰り返し、その後消灯します。(出力はOFF)

3. [動作]が「OFF」の場合

(ア)監視スタート後、全てのPING監視対象から応答を確認するまでの間、1秒点灯→0.25秒消灯を繰り返し、その後点灯します。(出力はON)

PING監視の[動作]、「ON」「OFF」の設定はブラウザーからは行えません。

変数[debOlWdogAction]を直接変更する必要があります。

第2章

設置・取付

1. 設置・取付

以下の手順で設置します。

- 1) 本体を設置場所に置きます。設置場所は、単相100VAC/15A以上のコンセントに直接差し込む場所で本体背面に電源プラグが差し込める位置であることを確認します。
- 2) 本体前面のLAN用コネクタにLANケーブルを接続します。
- 3) 本体の電源コードをコンセントに接続します。

注意 本装置を逆さまに設置しないでください。火災や故障の原因となることがあります。

2. ラックへの取付

以下の手順でラックに取り付けます。

- 1) ラック・キャビネットにプレートを取り付けます。
プレートはラックサイズに合った一般市販品をご用意ください。
- 2) ラック・キャビネットに本装置を設置します。
- 3) 本体前面LAN用コネクタにLANケーブルを接続します。
- 4) 電源コードをコンセントに接続します。

3. 固定方法

本装置固定のため設置用の穴があります。

底面についている設置用の穴(4箇所)を利用して機器を固定します。
取り付け用のねじは、M 3×8 L(MAX)をご利用ください。

注意 壁面に取り付ける場合は、オプションの取付金具ATT02が便利です。
オプション:取付金具(ATT02)標準価格 3,000円(税抜)

第3章

初期設定

1. 初期設定

[1] 使用条件の確認と同意

本製品の使用にあたっては、初めに使用条件に同意していただくことが必要です。

外部のネットワークから接続するために固定のIPアドレスを設定します。

設定用PCと本装置とは、LAN用コネクタにLANケーブルで接続します。
(PCと直接接続する場合は、クロスのLANケーブルになります)

1) LANやVPN上に192.168.10.1および2のIPアドレスを持つホストがないことを確認します。

2) 設定用PCのIPアドレスとサブネットマスクを以下の通り設定します。

| | |
|----------|-----------------|
| IPアドレス | : 192.168.10.2 |
| サブネットマスク | : 255.255.255.0 |

3) 本体前面のDIPスイッチ3をONにします。

(メンテナンスマードになり、IPアドレスが192.168.10.1となります。)

注意

メンテナンスマードの場合、LANの通信速度は10BASE-Tでつながる設定になっている必要があります。

4) 本体前面のRESETスイッチを押します。

5) 設定用PCのWebブラウザーを起動します。

<http://192.168.10.1>を指定し、本装置にアクセスします。

注意

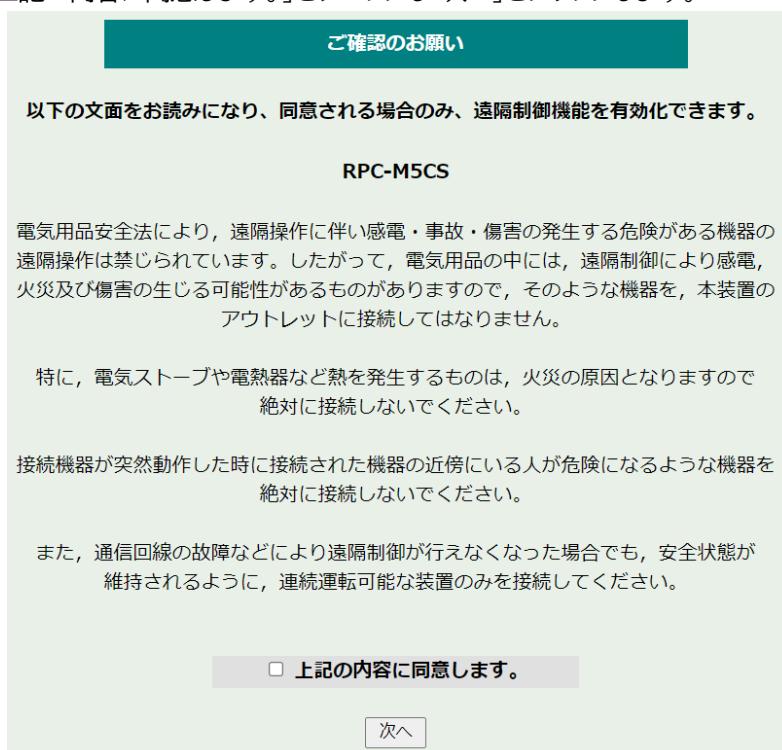
ブラウザーはJavaScriptとフレームに対応している必要があります。
推奨ブラウザーは弊社HP「よくある質問」の「ブラウザーにはどれを使用すればいいですか？」をご覧ください。

<https://www.meikyo.co.jp/faq/>

6) ブラウザー依存のポップアップ画面が表示されます。ユーザー名(デフォルト:admin)とパスワード(デフォルト:magic)を入力します。



7)「ご確認のお願い」の画面が表示されます。内容を確認の上
「上記の内容に同意します。」をチェックし「次へ」をクリックします。



8)Management menu画面が表示されます。

| Management menu | |
|-----------------|--|
| モデル名 | RPC-M5CS |
| バージョン | 1.00F220720 |
| MACアドレス | 00:09:EE:00:B6:1C |
| IPアドレス | 192.168.10.1 |
| サブネットマスク | 255.255.255.0 |
| デフォルトゲートウェイ | |
| DNSサーバーアドレス | |
| DHCP機能 | <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効 |
| HTTP機能 | <input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効 |
| HTTPポート | 80 |
| TELNET機能 | <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効 |
| TELNETポート | 23 |
| リンク速度とDuplex | 自動検知 |
| IPフィルター機能 | <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効 |
| 子機グループ | Disabled |
| ホスト側 | 00:00:00:00:00:00 |
| MACアドレス | |

適用 リセット

9)IPアドレス欄にご利用になるLANに適切なIPアドレスを入力します。

運用時にIPアドレスを固定にして利用する場合、「DHCP機能」を無効にチェックしたままで、IPアドレス欄にご利用になるLANに適切なIPアドレスを入力します。

DHCPを利用して動的にIPアドレスを割り当てる場合は、「DHCP機能」を有効にチェックして「適用」をクリックします。

10)設定が終了しましたら「適用」をクリックします。

11)その他、「TELNET機能」など必要に応じて設定を行います。設定が終了しましたら、「適用」をクリックします。

12)本体前面のDIPスイッチ3をOFFにします。(運用モードにします。)

13)本体前面のRESETスイッチを押します。

14)Webブラウザーを閉じます。

15)設定用PCのIPアドレスを元に戻します。

注意

設定後は、必ず「適用」をクリックし、「RESETスイッチ」を押してください。
「RESETスイッチ」を押さないと設定が反映されません。

2. 初期化の方法

本装置を初期化して出荷状態に戻します。

(まだ電源コードをコンセントに接続しないでください。)

- 1)本体前面のDIPスイッチ1と3のみON(下)にします。
- 2)電源コードをコンセントに接続し、電源を供給します。
- 3)本体前面のLINK LEDが5秒間点灯します。
点灯中に本体前面のRESETスイッチを1秒程度、押します。
- 4)初期化が成功するとLINK LEDとACT LEDが点灯します。
- 5)RESETスイッチを押す前にLINK LEDが消灯してしまった場合は一旦電源コードを抜き
電源を供給からやり直してください。
- 6)初期化後は、DIPスイッチ3のみON(下)にし、再度電源を供給してからご使用ください。
- 7)初期化後は再度、使用条件の確認と同意が必要になりますので、「第3章 初期設定」から
実行してください。

注意 初期化中は本体の電源を切らないで下さい。

3. 一斉電源制御受付

一斉電源制御とは、複数の本装置を最大8グループに分けて、各グループ単位で一斉制御コマンドを送り、電源を制御することが出来る機能です。ブロードキャストパケットを利用しています。

一斉電源制御コマンドを送る方法は、第4章4.[3]をご覧ください。

[1] 受付状態設定方法

1)本体起動後、本体前面のDIPスイッチ3のみON(下)にし、RESETボタンを押します。これで「メンテナンスモード」になります。「メンテナンスモード」はIPアドレスが192.168.10.1固定です。アクセスする機器のIPアドレスを192.168.10.2などに設定する必要があります。

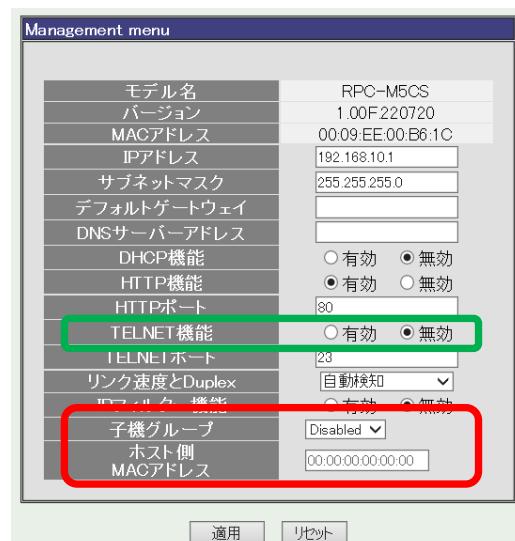
2)メンテナンスモードの設定画面の下部(赤の枠)で「子機グループ」「ホスト側MACアドレス」を設定します。

子機グループ: Disabled[デフォルト]
Group1~8

ホスト側MACアドレス:

一斉電源制御コマンドが送られてくる
親機のMACアドレスを指定します。

3)「適用」を押し、DIPスイッチをすべてOFF(上)にして、RESETボタンを押すと一斉電源制御受付状態になります。



注意

一斉電源制御受付状態になるとWEB画面にアクセスすることができません。
本装置と通信するためにはシリアル通信かTELNET通信で、Supervisor権限でログインする必要があります。

TELNET通信はデフォルトでは「無効」となっています。(画像の緑の枠)シリアル通信ができない状況で一斉電源制御受付状態にする場合、「TELNET機能」を「有効」に設定にしておいてください。

[2] 受付状態解除方法

- 1)シリアル通信もしくはTELNET通信において、Supervisor権限でログインしてください。
- 2)ログイン後、「.broadGroup=0」と入力し、エコーが返ってきたなら、「write」コマンドによって受付状態無効を書き込みます。
- 3)その後、「cpureset」と入力しEnterキーを押してください。

受付状態が無効になったため、WEB画面にアクセスすることが可能になっています。

第4章

WEBブラウザー での設定, 制御

1. ログイン

[1] IPアドレスを固定にして利用する場合

インターネットでアクセスする場合は、通信機器の設定が必要です。通信機器の設定などは通信機器のマニュアルに従ってください。
(PROXY経由ではご利用になれません)

注意 ブラウザーはJavaScriptとフレームに対応している必要があります。

推奨ブラウザーは弊社HP「よくある質問」をご覧ください。

<https://www.meikyo.co.jp/faq/>

- WEBブラウザーを起動し、本装置に設定されたIPアドレスを指定してアクセスします。

(例 IPアドレス : 192.168.10.1)

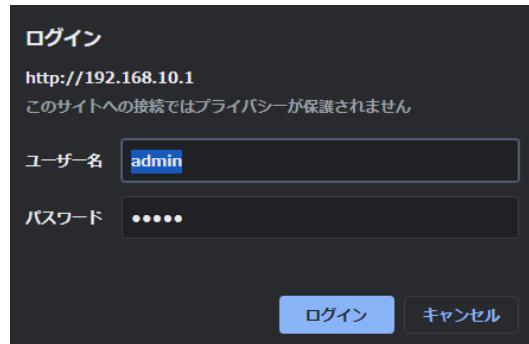
HTTPポート番号「80」デフォルトの場合

http://192.168.10.1

HTTPポート番号「500」に設定した場合

http://192.168.10.1:500

- ブラウザー依存のユーザー名／パスワード入力用のポップアップ画面が表示されます。

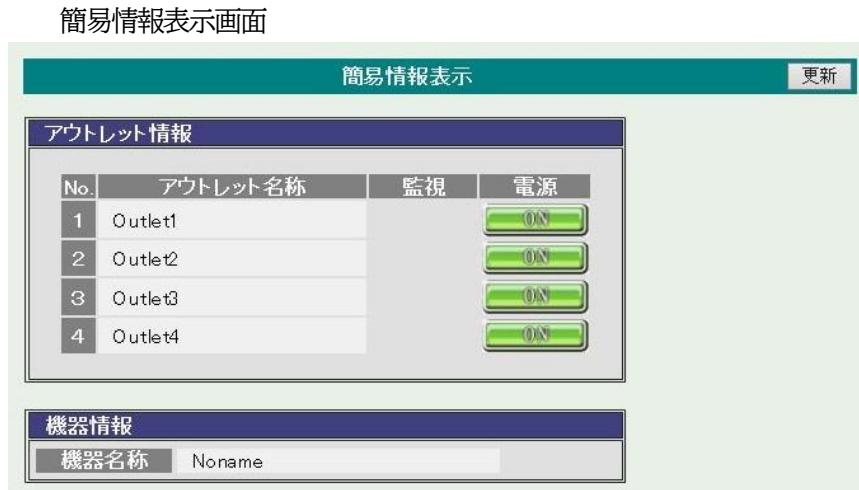


注意 ブラウザーによっては、ポップアップ画面がアドレス入力画面の裏に隠れている場合があります。

3)ユーザーIDとパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックします。

ユーザーID : admin (デフォルト)
パスワード : magic (デフォルト)

4)簡易情報表示画面が表示されます。



注意

簡易情報表示は現在の本装置の状態を表示する画面で実際に制御することは出来ません。

電源制御可能な他のユーザー(Admin, Control権限)がログイン中の場合、当該方法にて新たにログインすることはできません。

ただし、Ident, Supervisor権限ではログインすることが可能です。

(ユーザー アカウントの設定については、「第4章 Webブラウザーでの設定、制御」の「セキュリティ設定」をご確認ください。)

リブーダーの画面をWEBブラウザーで開いている際、セキュリティの観点から別タブにて別ページを閲覧しないようにしてください。

[2] RPCサーチソフトを利用する場合

当社ホームページ(<https://www.meikyo.co.jp/download/>)よりRPCサーチソフトをダウンロードし、ご利用して頂ければDHCP機能を利用した本装置を検索し接続することができます。

設定用PCと本装置とは、DHCPサーバーの存在するLANに接続します。

- 1) RPCサーチソフトを起動し、「検索」ボタンをクリックします。



- 2) 機器一覧にある本装置を選択し、「WEB接続」ボタンをクリックする。
または「TELNET接続」ボタンをクリックし、本装置に設定されたユーザー名とパスワードを入力してアクセスします。
- 3) ユーザー名(デフォルト:admin)とパスワード(デフォルト:magic)を入力します。

注意 :「WEB接続」の場合はブラウザー依存のユーザー名／パスワード入力用のポップアップ画面が表示されます。

- 4)簡易情報表示画面が表示されます。

注意 「LINK」LEDと「ACT」LEDが、いつまでも交互に点滅している時は、DHCPによるアドレス取得ができない状態です。DHCPサーバーを確認するか、IPアドレスを固定にしてご利用ください。

2. 設定項目

[0] 入力可能な半角文字について

WEB画面の各種設定項目にて「半角英数記号__字以内」となっている項目については
下記の図のとおりとなります。

| 下1桁 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|----|-------|---|---|---|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | A | B | C | D | E | F | |
| 上 1 桁 | 20 | space | ! | " | # | \$ | % | & | ' | (|) | * | + | , | - | . | / |
| | 30 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | : | ; | < | = | > | ? |
| | 40 | @ | A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K | L | M | N | O |
| | 50 | P | Q | R | S | T | U | V | W | X | Y | Z | [| ¥ |] | ^ | _ |
| | 60 | ' | a | b | c | d | e | f | g | h | i | j | k | l | m | n | o |
| | 70 | p | q | r | s | t | u | v | w | x | y | z | { | | } | ~ | |

→使える文字 →使えない文字 →各種権限ログインID、パスワードには使用不可

そして、「半角__字以内」となっている項目は
上記の表の文字に加えて、半角カナも使用可能です。

ただし、

・「通信設定」-「メール設定」-「メールサーバー設定」の「パスワード」
に関しては、

| 下1桁 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|----|-------|---|---|---|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | A | B | C | D | E | F | |
| 上 1 桁 | 20 | space | ! | " | # | \$ | % | & | ' | (|) | * | + | , | - | . | / |
| | 30 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | : | ; | < | = | > | ? |
| | 40 | @ | A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K | L | M | N | O |
| | 50 | P | Q | R | S | T | U | V | W | X | Y | Z | [| ¥ |] | ^ | _ |
| | 60 | ' | a | b | c | d | e | f | g | h | i | j | k | l | m | n | o |
| | 70 | p | q | r | s | t | u | v | w | x | y | z | { | | } | ~ | |

→使える文字 →使えない文字

となります。

[1] 基本設定

(1) 基本設定

- 1) 画面左側設定項目の「基本設定」をクリックします。
基本設定画面が表示されます。

基本設定画面

機器設定

※特殊記号は利用できません。

| No. | アウトレット名称 | OFF遅延 | 再投入 | ON遅延 | 起動時 | 連動 |
|-----|----------|-------|-----|------|-----|----|
| 1 | Outlet1 | 0 | 10 | 1 | 1 | -▼ |
| 2 | Outlet2 | 0 | 10 | 2 | 2 | -▼ |
| 3 | Outlet3 | 0 | 10 | 3 | 3 | -▼ |
| 4 | Outlet4 | 0 | 10 | 4 | 4 | -▼ |

全アウトレット再投入 (単位:秒)

※OFF遅延を「-1」にするとOFF操作を使用不可にします。
※ON遅延を「-1」にすると自動で電源出力を開始しません。

LEDによる状態表示機能 無効 有効

Wake on LAN設定

| MACアドレス | |
|-------------|---------------------------------|
| アウトレット1 | <input type="text"/> |
| アウトレット2 | <input type="text"/> |
| アウトレット3 | <input type="text"/> |
| アウトレット4 | <input type="text"/> |
| パケット送信回数 | <input type="text" value="2"/> |
| パケット送信間隔(秒) | <input type="text" value="15"/> |

送信テスト画面へ

※対象アウトレットがOFFからON動作時に送信されます。
※MACアドレスの形式 00:00:00:00:00:00

温度センサー設定

温度センサー 無効 有効

<1> 総合管理設定

1)総合管理設定の「時刻設定」をクリックします。時刻設定画面が表示されます。



PCの時刻による設定

「適用」をクリックすると接続されたPCの時刻に設定されます。

<2> 機器設定

機器に関する設定をします。

「機器名称」：機器名称を設定します。(全角9文字、半角19文字以内)

「設置場所」：設置場所を設定します。(全角31文字、半角63文字以内)

① 「アウトレット名称」：個別アウトレットの名称を設定します。

(全角10文字、半角20文字以内)

② 「OFF遅延」

個別アウトレットの電源出力を停止する際のOFF遅延時間を設定します。

「-1」設定は、電源OFF操作を禁止にし、リブート操作のみ有効とします。ルーターやハブなど誤操作による電源OFFを避けたい場合に便利です。(電源切断により、ネットワークへアクセスできなくなるケースを回避します。)

遅延時間は以下の操作を行う際に適用されます。

- ・個別アウトレット制御のOFF操作
- ・全アウトレット制御のOFF操作

デフォルト : 0

設定可能値 : -1 ~ 3600(秒)

「-1」 : アウトレット制御のOFF操作を使用不可にします。リブート操作のみ可能です。

「0」 : 即座に電源出力を停止します。

「1~3600」 : 指定した時間遅延させた後、電源出力を停止します。

③「再投入」

個別アウトレットの電源出力を停止してから開始するまでの時間を設定します。この設定により、接続された任意のデバイスに最適なリブート時間を確保できます。

再投入時間は以下の操作を行う際に適用されます。

- ・個別アウトレット制御のリブート操作

デフォルト : 10

設定可能値 : 8 ~ 3600(秒)

④「ON遅延」

個別アウトレットの電源出力を開始するまでの時間を設定します。この設定により、指定した順番に、指定したタイミングで個別アウトレットの電源出力を開始させることができます。

遅延時間は以下の操作を行う際に適用されます。

- ・全アウトレット制御のON操作

- ・全アウトレット制御のリブート操作(関連は「全アウトレットREBOOT時間」で)

デフォルト : No.1→1(秒) No.2→2(秒) No.3→3(秒)

No.4→4(秒)

設定可能値 : -1 ~ 3600(秒)

「-1」 : 自動で電源出力を開始しません。

「0」 : 即座に電源出力を開始します。

「1~3600」 : 指定した時間遅延させた後、電源出力を開始します。

⑤「起動時」

起動時の電源出力を開始するまでの時間を設定します。

設定方法は ④ON遅延 と同様です。

⑥「連動」

指定したアウトレットの動作に連動します。

⑦「全アウトレット再投入時間」

全アウトレットの電源出力を停止してから電源出力を開始するまでの時間を設定します。

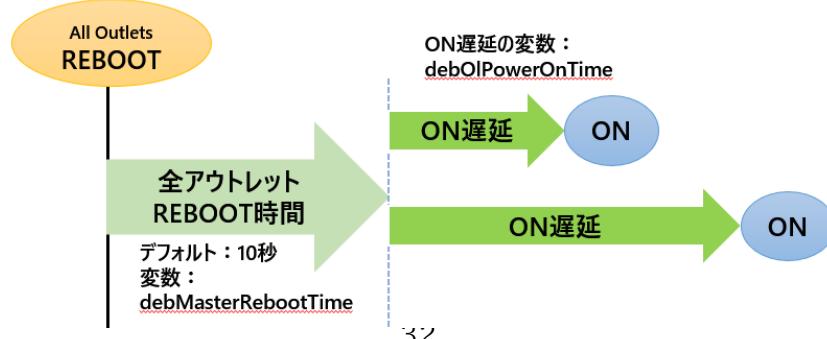
再投入時間は以下の操作を行う際に適用されます。

注)個別アウトレットの再投入時間は反映されません。

- ・全アウトレット制御のリブート操作

デフォルト : 10

設定可能値 : 8~3600(秒)



- ⑧ 「LEDによる状態表示機能」 デフォルト : [有効]
 有効:各LEDの状態表示が動作します。
 無効:PILOT, OUTLET LEDの点滅動作はなくなり、点灯または消灯となります。

<3> Wake on LAN設定

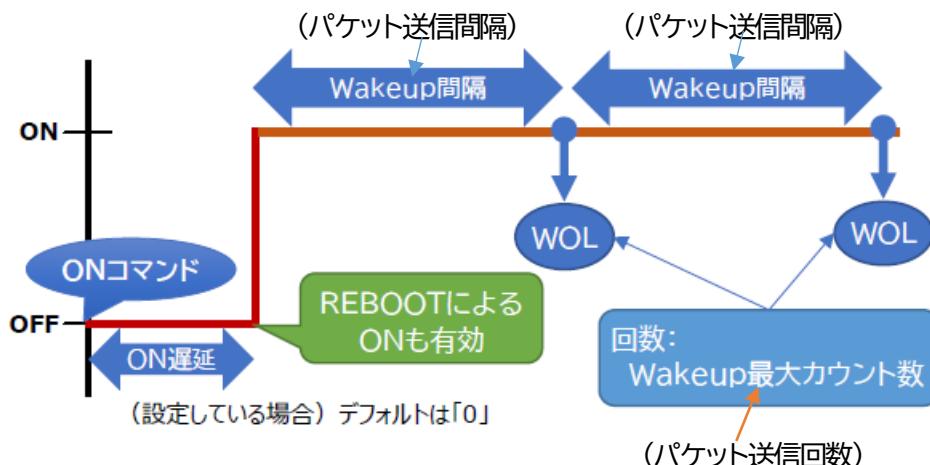
Wake on LANに関する設定をします。

Wake on LAN(WOL)機能について

Wake on LAN対応の機器を電源出力開始と同時にマジックパケットを送信し、ブートアップさせることができます。

注意 アウトレットの電源状態がOFFからONになるときにマジックパケットが送出されます。そのため、**アウトレットがONの状態時に「電源ONコマンド」を実行してもWOLは実行されません**。「電源REBOOTコマンド」であれば、WOLを実行できます。または、仮想アウトレット制御をご使用ください。

| | | | |
|--------------------------------|-------|---|-------------------|
| アウトレット1~4 | デフォルト | : | 00:00:00:00:00:00 |
| MACアドレス | | | |
| パケット送信回数(回) | デフォルト | : | 2 |
| パケット送信間隔(秒) | デフォルト | : | 15 |
| * パケット送信回数は仮想アウトレットと共にです。 | | | |
| * パケット送信間隔は仮想アウトレットと共にです。 | | | |
| * アウトレットがONした時、マジックパケットを送出します。 | | | |



1) 設定が終了しましたら「適用」をクリックします。

2) 「送信テスト画面へ」をクリックし、送信テスト画面を表示させWake on LAN送信テストの各アウトレットの「送信」をクリックすると設定されている「MACアドレス」へマジックパケットを送信します。



<4> 温度センサー設定

温度センサーに関する設定をします。

温度センサー : [無効] [有効] (デフォルト:無効)

注意 別売の温度センサー(RP-TS004)をご使用ください。

AUXには弊社温度センサー(RP-TS004)以外差し込まないでください。また、温度センサーを差し込んでいない時は「温度センサー」を「無効」にしておいてください。

また、温度センサーを接続せずにこの項目を[有効]にすると、「0.0°C」という計測になります。

注意 「適用」ボタンをクリックしないと設定した内容が有効になりません。設定によっては、「CPUリセット」ボタンをクリックしないと設定した内容が有効になりません。

(2) 詳細設定

本装置のシャットダウンスクリプト、仮想アウトレット、COM.1ポートに関する設定をします。

基本設定項目の「詳細設定」をクリックします。詳細設定画面が表示されます。

The screenshot shows the 'Advanced Settings' page with the following sections:

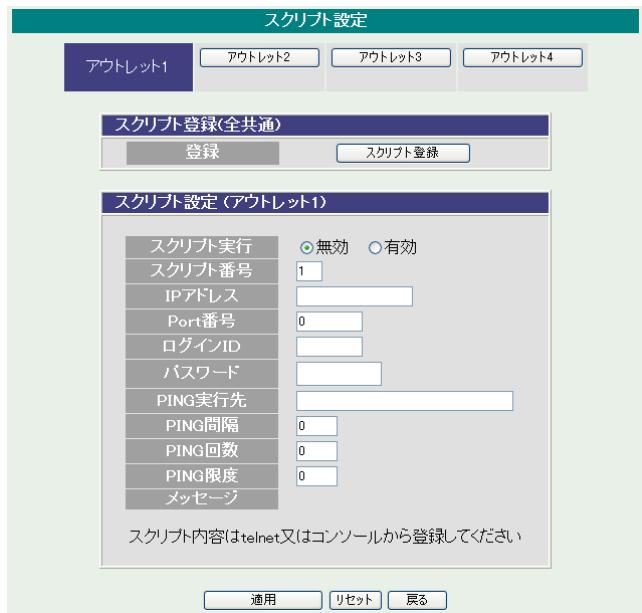
- External Connection Settings**:
 - Shutdown Script Setting**:
 - No. 1: MAC Address 00:00:00:00:00:00, ON Delay 0 seconds
 - No. 2: MAC Address 00:00:00:00:00:00, ON Delay 0 seconds
 - No. 3: MAC Address 00:00:00:00:00:00, ON Delay 0 seconds
 - No. 4: MAC Address 00:00:00:00:00:00, ON Delay 0 seconds
 - No. 5: MAC Address 00:00:00:00:00:00, ON Delay 0 seconds
 - No. 6: MAC Address 00:00:00:00:00:00, ON Delay 0 seconds
 - No. 7: MAC Address 00:00:00:00:00:00, ON Delay 0 seconds
 - No. 8: MAC Address 00:00:00:00:00:00, ON Delay 0 seconds
 - ※MACアドレスの形式 00:00:00:00:00:00
 - Packet Transmission Count**: 2 times
 - Packet Transmission Interval**: 15 seconds- COM Port Setting**:
 - COM1 通信速度: 38400bps
 - COM1 キャラクター長: 8 bits
 - COM1 ストップビット: 1 bit
 - COM1 パリティ: none

Buttons at the bottom: 適用 (Apply), リセット (Reset)

<1> 外部接続設定

本装置にシャットダウンスクリプトに関する設定をします。

1)「スクリプト設定」をクリックします。スクリプト設定画面が表示されます。



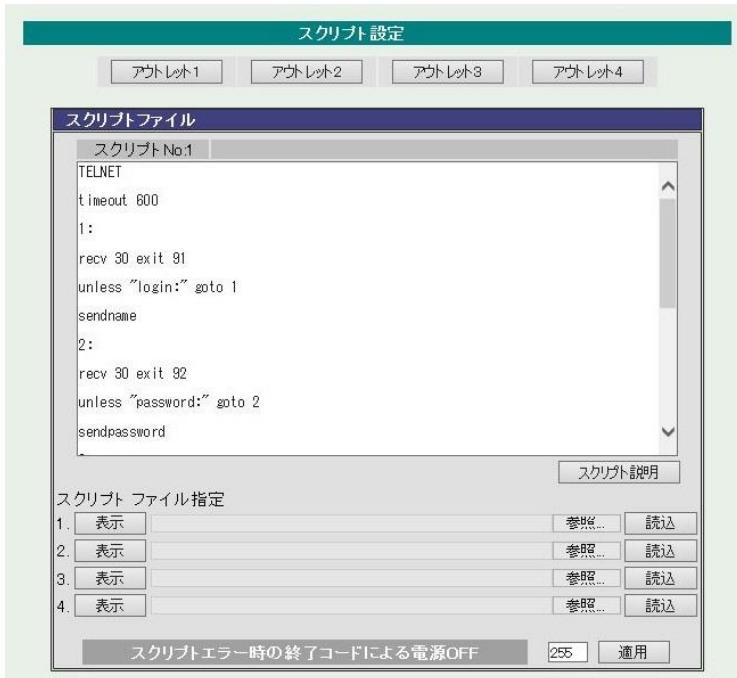
詳細は「[第8章シャットダウンスクリプト](#)」をご参照ください。

① スクリプト設定(アウトレット*)

- | | | |
|---------|---|---|
| スクリプト実行 | : | [無効] [有効] |
| スクリプト番号 | : | 1(デフォルト Windows用スクリプトが登録済) |
| IPアドレス | : | シャットダウン対象IPアドレスを設定します。 |
| Port番号 | : | 0(デフォルト) |
| ログインID | : | 半角英数記号16文字以内 |
| パスワード | : | 半角英数記号16文字以内 |
| PING実行先 | : | シャットダウン確認としてのICMPエコー要求(以下「シャットダウンPING」と呼ぶ)を送信したいアドレスを設定します。 |
| PING間隔 | : | シャットダウンPINGを送信する間隔。 (デフォルト:0秒) |
| PING回数 | : | アウトレットOFFを実行する、シャットダウンPINGへの無応答連続回数。 (デフォルト:0(回)) |
| PING限度 | : | アウトレットOFFを実行する、シャットダウンPING連続回数(応答の有無に関わらず)。 (デフォルト:0(回)) |
| メッセージ | : | スクリプトで「set [文字列]」を組み込むと、その[文字列]が表示されます。 |

2)「スクリプト登録」をクリックします。スクリプトファイル画面が表示されます。

スクリプトファイル画面



スクリプトファイル指定項目に、スクリプトファイルを選択します。

スクリプトエラー時の終了コードによる電源OFF

終了コードがこの値を超えていたら、電源をOFFしません。

「0」なら、終了コードが0のときだけOFFにします。

「255」なら、どんなときにもOFFにします。

詳細は「第8章シャットダウンスクリプト」をご参照ください。

<2> 仮想アウトレット設定

仮想アウトレットに関する設定をします。

仮想アウトレットについて

仮想アウトレットとは、実際には存在しないアウトレットであり、関連付けされたMACアドレスへマジックパケットを送出して、Wake on LAN機能を実現させるためのものです。

仮想アウトレット名称 : 仮想アウトレット名称を設定します。

全角10文字、半角20文字以内

MACアドレス デフォルト : 00:00:00:00:00:00

ON遅延(※)(秒) デフォルト : 0

(詳しくは下図にて)

パケット送信回数(回) デフォルト : 2

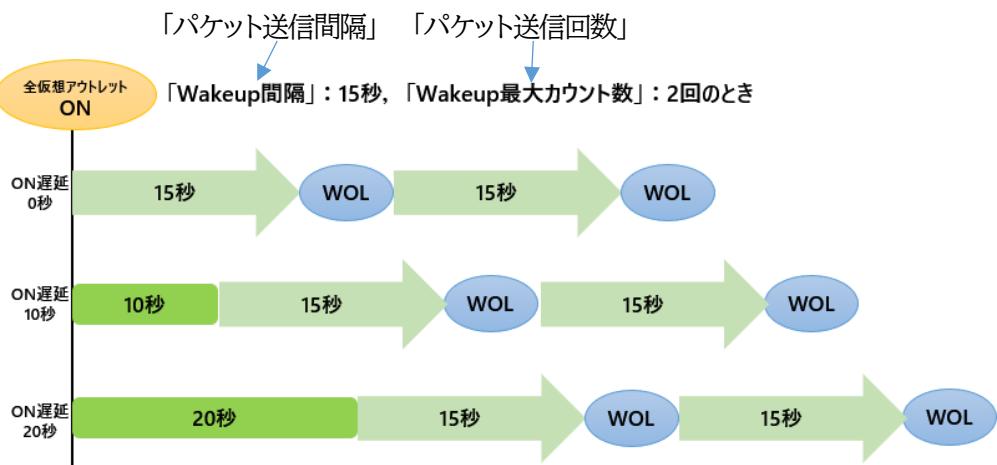
パケット送信間隔(秒) デフォルト : 15

注意

本製品の仕様で、本体主電源投入時に「全仮想アウトレットON」のコマンドが発報されます。（「イベントログ」記録開始前に実行されるため、ログには記録されずに実行されます。）

●(※)「ON遅延」について●

「電源制御-仮想アウトレット制御-仮想アウトレット情報」で「全仮想アウトレット」を[電源ON]にしたときに、このON遅延が発生します。



<3> COMポート設定

COMポートに関する設定をします。

| | | | |
|-------------|-------|---|----------|
| COM1通信速度 | デフォルト | : | 38400bps |
| COM1キャラクター長 | デフォルト | : | 8bits |
| COM1ストップビット | デフォルト | : | 1bit |
| COM1パリティ | デフォルト | : | none |

設定が終了したら「適用」をクリックします。

注意 「適用」ボタンをクリックしないと設定した内容が有効になりません。

(3) セキュリティ設定

本装置にセキュリティに関する設定をします。

<1> ユーザーアカウント設定

(WEBからのログイン時に有効)

●TELNETでのログインで使用するID、パスワードはここでは設定できません。

1)「ユーザーアカウント設定」をクリックします。

ユーザーアカウント設定画面が表示されます。

ユーザーアカウント設定画面

| セキュリティ設定 | | | | | |
|---|--------|----------------------------|-----|-------------------------|-------|
| ユーザーアカウント設定 | | セキュリティ詳細設定 | | 基本設定に戻る | |
| ※ 入力項目は半角英数のみ有効 | | | | | |
| Ident (システム情報の参照のみ) | | | | | |
| HTTP 接続用 | | | | | |
| No. | ユーザーID | パスワード | No. | ユーザーID | パスワード |
| 1 | | | 6 | | |
| 2 | | | 7 | | |
| 3 | | | 8 | | |
| 4 | | | 9 | | |
| 5 | | | 10 | | |
| Control (システム情報参照と電源の制御のみ) | | | | | |
| HTTP 接続用 | | | | | |
| No. | ユーザーID | パスワード | No. | ユーザーID | パスワード |
| 1 | | | 6 | | |
| 2 | | | 7 | | |
| 3 | | | 8 | | |
| 4 | | | 9 | | |
| 5 | | | 10 | | |
| Admin | | | | | |
| HTTP 接続用 | | | | | |
| No. | ユーザーID | パスワード | No. | ユーザーID | パスワード |
| 1 | admin | ***** | 4 | | |
| 2 | | | 5 | | |
| 3 | | | | | |
| Supervisor | | | | | |
| HTTP接続用 | | | | | |
| No. | ユーザーID | パスワード | No. | ユーザーID | パスワード |
| 1 | super | ***** | 4 | | |
| 2 | | | 5 | | |
| 3 | | | | | |
| <input type="button" value="適用"/> <input type="button" value="リセット"/> | | | | | |

Ident : (HTTP接続用)システム情報の参照のみ(※ 最大10件登録)

Control : (HTTP接続用)システム情報参照と電源の制御のみ(※ 最大10件登録)

Admin : (HTTP接続用)全ての権限 (※ 最大5件登録)
ユーザーID(デフォルト : admin) パスワード(デフォルト: magic)

Supervisor: (HTTP接続用)Ident権限にCPUリセット機能を追加
(※最大 5件登録)

ユーザーID(デフォルト : super) パスワード(デフォルト: illusion)

ユーザーID : 最大半角英数記号8文字 (重複不可) (@は不可)
パスワード : 最大半角英数記号16文字 (重複可)

| | Ident | Control | Admin | Supervisor |
|---------|-------|---------|-------|------------|
| 簡易状態表示 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 監視状態表示 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| イベントログ | × | × | ○ | ○ |
| 電源制御 | × | ○ | ○ | × |
| 各種設定 | × | × | ○ | × |
| CPUリセット | × | × | ○ | ○ |

2) 設定が終了しましたら「適用」をクリックします。

注意 “COMポート/TELNET接続用”ID、パスワードに関しては「第6章 その他の制御」をご確認ください。

<2> セキュリティ詳細設定

1)「セキュリティ詳細設定」をクリックします。セキュリティ詳細設定画面が表示されます。

セキュリティ詳細設定画面

| セキュリティ設定 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|-------------------------|------------|--|------------|--|--------|--|---------|--|----------|--|-----------|--|------------|--|------------|--|------------|--|------------|--|--------------|--|
| ユーザーアカウント設定 | セキュリティ詳細設定 | 基本設定に戻る | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| IPフィルター設定 <table border="1"> <thead> <tr> <th>IPフィルター機能</th> <th><input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>アドレス1</td><td>192.168.10.0</td></tr> <tr><td>アドレス2</td><td></td></tr> <tr><td>アドレス3</td><td></td></tr> <tr><td>アドレス4</td><td></td></tr> <tr><td>アドレス5</td><td></td></tr> <tr><td>アドレス6</td><td></td></tr> <tr><td>アドレス7</td><td></td></tr> <tr><td>アドレス8</td><td></td></tr> <tr><td>アドレス9</td><td></td></tr> <tr><td>アドレス10</td><td></td></tr> </tbody> </table> | | | IPフィルター機能 | <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効 | アドレス1 | 192.168.10.0 | アドレス2 | | アドレス3 | | アドレス4 | | アドレス5 | | アドレス6 | | アドレス7 | | アドレス8 | | アドレス9 | | アドレス10 | |
| IPフィルター機能 | <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| アドレス1 | 192.168.10.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| アドレス2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| アドレス3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| アドレス4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| アドレス5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| アドレス6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| アドレス7 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| アドレス8 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| アドレス9 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| アドレス10 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Ident Control権限の表示操作制限 <table border="1"> <tbody> <tr><td>監視状態表示</td><td><input type="radio"/> 隠す <input checked="" type="radio"/> 表示</td></tr> <tr><td>仮想アウトレット制御</td><td><input type="radio"/> 隠す <input checked="" type="radio"/> 表示</td></tr> <tr><td>一斉電源制御</td><td><input type="radio"/> 隠す <input checked="" type="radio"/> 表示</td></tr> <tr><td>電源ONボタン</td><td><input type="radio"/> 隠す <input checked="" type="radio"/> 表示</td></tr> <tr><td>電源OFFボタン</td><td><input type="radio"/> 隱す <input checked="" type="radio"/> 表示</td></tr> <tr><td>電源リブートボタン</td><td><input type="radio"/> 隱す <input checked="" type="radio"/> 表示</td></tr> <tr><td>アウトレット1 関連</td><td><input type="radio"/> 隱す <input checked="" type="radio"/> 表示</td></tr> <tr><td>アウトレット2 関連</td><td><input type="radio"/> 隱す <input checked="" type="radio"/> 表示</td></tr> <tr><td>アウトレット3 関連</td><td><input type="radio"/> 隱す <input checked="" type="radio"/> 表示</td></tr> <tr><td>アウトレット4 関連</td><td><input type="radio"/> 隱す <input checked="" type="radio"/> 表示</td></tr> <tr><td>全アウトレット制御ボタン</td><td><input type="radio"/> 隱す <input checked="" type="radio"/> 表示</td></tr> </tbody> </table> | | | 監視状態表示 | <input type="radio"/> 隠す <input checked="" type="radio"/> 表示 | 仮想アウトレット制御 | <input type="radio"/> 隠す <input checked="" type="radio"/> 表示 | 一斉電源制御 | <input type="radio"/> 隠す <input checked="" type="radio"/> 表示 | 電源ONボタン | <input type="radio"/> 隠す <input checked="" type="radio"/> 表示 | 電源OFFボタン | <input type="radio"/> 隱す <input checked="" type="radio"/> 表示 | 電源リブートボタン | <input type="radio"/> 隱す <input checked="" type="radio"/> 表示 | アウトレット1 関連 | <input type="radio"/> 隱す <input checked="" type="radio"/> 表示 | アウトレット2 関連 | <input type="radio"/> 隱す <input checked="" type="radio"/> 表示 | アウトレット3 関連 | <input type="radio"/> 隱す <input checked="" type="radio"/> 表示 | アウトレット4 関連 | <input type="radio"/> 隱す <input checked="" type="radio"/> 表示 | 全アウトレット制御ボタン | <input type="radio"/> 隱す <input checked="" type="radio"/> 表示 |
| 監視状態表示 | <input type="radio"/> 隠す <input checked="" type="radio"/> 表示 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 仮想アウトレット制御 | <input type="radio"/> 隠す <input checked="" type="radio"/> 表示 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 一斉電源制御 | <input type="radio"/> 隠す <input checked="" type="radio"/> 表示 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電源ONボタン | <input type="radio"/> 隠す <input checked="" type="radio"/> 表示 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電源OFFボタン | <input type="radio"/> 隱す <input checked="" type="radio"/> 表示 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電源リブートボタン | <input type="radio"/> 隱す <input checked="" type="radio"/> 表示 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| アウトレット1 関連 | <input type="radio"/> 隱す <input checked="" type="radio"/> 表示 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| アウトレット2 関連 | <input type="radio"/> 隱す <input checked="" type="radio"/> 表示 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| アウトレット3 関連 | <input type="radio"/> 隱す <input checked="" type="radio"/> 表示 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| アウトレット4 関連 | <input type="radio"/> 隱す <input checked="" type="radio"/> 表示 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 全アウトレット制御ボタン | <input type="radio"/> 隱す <input checked="" type="radio"/> 表示 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 機器制御 <table border="1"> <tbody> <tr><td>バージョンアップ機能</td><td>有効</td></tr> </tbody> </table> | | | バージョンアップ機能 | 有効 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| バージョンアップ機能 | 有効 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <input type="button" value="適用"/> <input type="button" value="リセット"/> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

① IPフィルター設定

| | |
|-----------|-------------------------------------|
| IPフィルター機能 | : [有効] [無効] |
| アドレス | : 192.168.10.0(デフォルト) (最大10アドレス) |

★「IPフィルター」に関して、次のページに詳細説明があります。

② Ident Control権限の表示制限

| | |
|--------------|---------|
| 監視状態表示 | : 隠す 表示 |
| 仮想アウトレット制御 | : 隠す 表示 |
| 一斉電源制御 | |
| 電源ONボタン | : 隠す 表示 |
| 電源OFFボタン | : 隱す 表示 |
| 電源リブートボタン | : 隱す 表示 |
| アウトレット1-4関連 | : 隱す 表示 |
| 全アウトレット制御ボタン | : 隱す 表示 |

「隠す」にチェックするとWEB接続時、Ident Control権限での各表示を隠すことが出来ます。

③ 機器制御：バージョンアップ機能

| | |
|--------------|------------------------------------|
| [無効] | : フームウェア更新機能を無効にします。 |
| [ローカルファイルのみ] | : フームウェア更新をローカルからのみ有効にします。 |
| [オンラインのみ] | : フームウェア更新を明京サーバーからのみ有効にします。 |
| [有効] | : フームウェア更新をローカル/明京サーバーの両方から有効にします。 |

2) 設定が終了しましたら「適用」をクリックします。

注意 「適用」をクリックしないと設定した内容が有効になりません。

■IPフィルターについて

細かに設定する場合、TELNETで変数を用いて設定する必要が出てきます。

関係する変数名

| | |
|-------------|-------------------------------|
| IPフィルターアドレス | : ipFilterAddr (WEB画面でも設定可能) |
| IPフィルターマスク | : ipFilterMask (WEB画面には項目がない) |

IPフィルター機能はビット単位のマスク機能です。(IPv4のサブネットマスク)

基本的にマスクを「255」にすると「必ずその値でなければならぬ」となり、

「0」にすると「その部分はあらゆる数値をとれる」となります。

ですので、ipFilterMask=255.255.255.0

ipFilterAddr=192.168.10.0 とすると、

「192.168.10.1～192.168.10.254」から接続可能になります。

(1)指定のIPアドレスからのみアクセスできるようにする場合

例: 「192.168.1.119」「10.149.15.12」「10.46.48.111」の3つのアドレスからのアクセスのみ受け付けたい。

ipFilterMask=255.255.255.255 にすることで、そのアドレスのみ可能になります。

TELNETやシリアルコンソールで、次の変数を書き込みます。

(変数なので、初めに「.(ピリオド)」が必要です。)(区切りに「,(コンマ)」を使っています)

.ipFilterMask=255.255.255255,255.255.255255,255.255.255255

.ipFilterAddr=192.168.1.119,10.149.15.12,10.46.48.111

この後「>」の後に「write」を入力してEnterを押すことで設定が書き込まれます。

(2)ある範囲のIPアドレスからのみアクセスできるようにする場合

例1 「192.168.10.1～192.168.10.150」まで接続可能にしたい場合

まず「192.168.10.」の部分は「必ずその値であるべき」なのでマスクは「255.255.255.」で始めます。最後の一桁に関して2進法を使って設定していきます。

「150」を2進法で表すと「10010110」となります。つまり、 $128 + 16 + 4 + 2$ です。【2進法の「1」に注目しています。】

このとき「128」、「128+16=144」、「128+16+4=148」、「128+16+4+2=150」の4つを区切りとして考えます。

【ipFilterMaskルール】

2進法にして「0」→「0,1両方可」、「1」→「固定部分」とマスクをかける。

| x=0,1どちらでも 網掛け=固定 | | ipFilterMask 2進法 | ipFilterAddr 2進法 | | ipFilterMask 10進法 | ipFilterAddr 10進法 |
|----------------------|----------|---------------------|---------------------|---|----------------------|----------------------|
| 1~127 | 0xxxxxxx | 1 0 0 0 0 0 0 0 | 0 0 0 0 0 0 0 0 | → | 128 | 0 |
| 128~143 | 1000xxxx | 1 1 1 1 0 0 0 0 | 1 0 0 0 0 0 0 0 | → | 240 | 128 |
| 144~147 | 100100xx | 1 1 1 1 1 1 0 0 | 1 0 0 1 0 0 0 0 | → | 252 | 144 |
| 148~149 | 1001010x | 1 1 1 1 1 1 1 0 | 1 0 0 1 0 1 0 0 | → | 254 | 148 |
| 150 | 10010110 | 1 1 1 1 1 1 1 1 | 1 0 0 1 0 1 1 0 | → | 255 | 150 |

となるので、TELNETやシリアルコンソールで、次の変数を書き込みます。

(変数なので、初めに「.(ピリオド)」が必要です。)(区切りに「,(コンマ)」を使っています)

.ipFilterMask=255.255.255.128,255.255.255.240,255.255.255.252,255.255.255.254,255.255.255.255

.ipFilterAddr=192.168.10.0,192.168.10.128,192.168.10.144,192.168.10.148,192.168.10.150

この後「>」の後に「write」を入力してEnterを押すことで設定が書き込まれます。

例2 「192.168.10.151~192.168.10.254」まで接続可能にしたい場合

これも最後の一枠だけ考えます。

「151」を2進法で表すと「10010111」となります。この数字から255を目指すので、今度は2進法の「0」に注目すると、あと「8+32+64」あれば255になります。(IPアドレスで255は使用しません。ただフィルターのマスクを考えるにあたっては便宜上255をイメージします)

このとき「151」、「151+8=159」、「151+8+32=191」、「151+8+32+64=255」の4つで考えます。

【ipFilterMaskルール】

2進法にして「0」→「0,1両方可」、「1」→「固定部分」とマスクをかける。

| x=0,1どちらでも 網掛け=固定 | | ipFilterMask 2進法 | ipFilterAddr 2進法 | | ipFilterMask 10進法 | ipFilterAddr 10進法 |
|----------------------|----------|---------------------|---------------------|---|----------------------|----------------------|
| 151 | 10010111 | 1 1 1 1 1 1 1 1 | 1 0 0 1 0 1 1 1 | → | 255 | 151 |
| 152~159 | 10011xxx | 1 1 1 1 1 0 0 0 | 1 0 0 1 1 0 0 0 | → | 248 | 152 |
| 160~191 | 101xxxxx | 1 1 1 0 0 0 0 0 | 1 0 1 0 0 0 0 0 | → | 224 | 160 |
| 192~255 | 11xxxxxx | 1 1 0 0 0 0 0 0 | 1 1 0 0 0 0 0 0 | → | 192 | 192 |

となるので、TELNETやシリアルコンソールで、次の変数を書き込みます。

(変数なので、初めに「.(ピリオド)」が必要です。)(区切りに「,(コンマ)」を使っています)

.ipFilterMask=255.255.255.255,255.255.255.248,255.255.255.224,255.255.255.192

.ipFilterAddr=192.168.10.151,192.168.10.152,192.168.10.160,192.168.10.192

この後「>」の後に「write」を入力してEnterを押すことで設定が書き込まれます。

これで「192.168.10.151~192.168.10.254」だけが接続できるようになりました。

[2] 通信設定

本装置のネットワークに関する設定をします。

(1) 通信基本設定

1)「通信基本設定」をクリックします。通信基本設定画面が表示されます。

通信基本設定画面

| 通信基本設定 | |
|---|--|
| 通信設定 | 通信詳細設定 |
| ※ 入力項目は半角英数のみ有効 | |
| ネットワーク設定 | |
| IPアドレス | 192.168.10.1 |
| サブネットマスク | 255.255.255.0 |
| デフォルトゲートウェイ | |
| DNSサーバーアドレス | |
| DHCP機能 | <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効 |
| NTPサーバー | |
| NTP更新間隔 | 6 (1~10分) |
| HTTP機能 | <input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効 |
| HTTP認証 | Digest |
| 認証領域realm)名称 | RPC-MDCS |
| nonce有効時間 | 180 |
| HTTPポート | 80 |
| TELNET機能 | <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効 |
| TELNETポート | 23 |
| TELNET中継先IP | |
| TELNET中継先ポート | 23 |
| リンク速度とDuplex | 自動検知 |
| 自動ログアウト監視 | <input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効 |
| ※ネットワーク設定はCPUリセット後に有効になります。 | |
| 関連項目 | |
| 無通信タイマー(秒) | 600 |
| WEB自動更新機能 | <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効 |
| WEB自動更新間隔(秒) | 30 |
| ダイレクトWEBコマンド制御 | |
| ダイレクトWEBコマンド | <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効 [?] |
| 実行後の動作 | 標準 |
| アウトレット表示制限 | 1 2 3 4 ✓ ✓ ✓ ✓ |
| 表示制限 | 死活表示 温度表示 |
| <input type="button" value="適用"/> <input type="button" value="リセット"/> | |

① ネットワーク設定

| | | | |
|--------------|-------|---|------------------------------|
| IPアドレス | デフォルト | : | 192.168.10.1 |
| サブネットマスク | デフォルト | : | 255.255.255.0 |
| デフォルトゲートウェイ | デフォルト | : | 0.0.0.0 |
| DNSサーバーアドレス | デフォルト | : | 0.0.0.0 |
| DHCP機能 | デフォルト | : | 無効 |
| NTPサーバー | デフォルト | : | 0.0.0.0 |
| NTP更新間隔 | デフォルト | : | 6(×10分) |
| HTTP機能 | デフォルト | : | 有効 |
| HTTP認証 | デフォルト | : | Digest認証 |
| 認証領域realm)名称 | デフォルト | : | RPC-M5CS (半角20文字以内) |
| nonce有効時間 | デフォルト | : | 180 (秒) 設定可能値 30~30000 |
| HTTPポート | デフォルト | : | 80 |
| TELNET機能 | デフォルト | : | 無効 |
| TELNETポート | デフォルト | : | 23 |
| TELNET中継先IP | デフォルト | : | 0.0.0.0 |
| TELNET中継先ポート | デフォルト | : | 23 |
| リンク速度とDuplex | デフォルト | : | 自動検知 |
| 自動ログアウト監視 | デフォルト | : | 有効 |

注意

HTTP認証を「none」に設定するとブラウザーでアクセス時にログイン画面が表示されます。
 「Basic」または「Digest」に設定するとブラウザー依存のポップアップ画面にIDとパスワードを入力する方式になります。

外部のネットワークから接続するため、IPアドレスを固定にしてルーターのポートフォワーディング機能を利用する場合は、DHCPを無効にしてください。

注意

DHCP利用中、IPアドレスの取り直しが行われると本装置は自動的にCPURESETを行います。

② 関連項目

無通信タイマー : 自動ログアウトまでの時間を設定します。

デフォルト : 600

設定可能値 : 30 ~ 30000 (秒)

WEB自動更新機能 : デフォルト 無効

(「無効」にしても、電源制御画面だけは必ず
自動更新されます。)

WEB自動更新間隔 : WEBと電源制御画面の自動更新間隔時間を設定しま
す。

デフォルト : 30

③ ダイレクトWEBコマンド制御

ダイレクトWEBコマンド : デフォルト 無効

実行後の動作 : 実行後の動作を設定します。

アウトレット表示制限 : チェックしたアウトレットを表示します。

表示制限 : チェックした表示制限項目を表示します。

注意

ダイレクトWEBコマンドについては「第6章 その他の制御」の
「5. WEBコマンドからの制御」をご確認ください。

2) 設定が終了しましたら「適用」をクリックします。

(2) 通信詳細設定

1) 「通信詳細設定」をクリックします。通信詳細設定画面が表示されます。

通信詳細設定画面

| 通信詳細設定 | |
|---|--|
| <input type="button" value="通信設定"/> | <input checked="" type="button" value="通信詳細設定"/> |
| <input type="button" value="メール設定"/> | |
| ※ 入力項目は半角英数のみ有効 | |
| SNMP基本設定 | |
| SET GET設定 | <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効 GETコミュニティ名: public SETコミュニティ名: public TRAPコミュニティ名: public マネージャーTrap: ○有効 <input checked="" type="radio"/> 無効 Authen Trap: ○有効 <input checked="" type="radio"/> 無効 トラップIPアドレス1: _____ トラップIPアドレス2: _____ トラップIPアドレス3: _____ トラップIPアドレス4: _____ トラップIPアドレス5: _____ トラップIPアドレス6: _____ トラップIPアドレス7: _____ トラップIPアドレス8: _____ |
| ※ネットワーク設定はCPUリセット後に有効になります。 | |
| SNMPフィルター設定 | |
| SNMPフィルター機能 | <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効 |
| フィルターIPアドレス | フィルターマスク |
| 1: _____ | 255.255.255.255 |
| 2: _____ | 255.255.255.255 |
| 3: _____ | 255.255.255.255 |
| 4: _____ | 255.255.255.255 |
| 5: _____ | 255.255.255.255 |
| 6: _____ | 255.255.255.255 |
| 7: _____ | 255.255.255.255 |
| 8: _____ | 255.255.255.255 |
| 9: _____ | 255.255.255.255 |
| 10: _____ | 255.255.255.255 |
| 状態通知機能 | |
| 状態通知機能 | <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効 |
| 1: IPアドレス: _____ | ポート: 5000 |
| 2: IPアドレス: _____ | ポート: 5000 |
| 3: IPアドレス: _____ | ポート: 5000 |
| 送信間隔(秒) | 300 |
| <input type="button" value="適用"/> <input type="button" value="リセット"/> | |

<1> SNMP基本設定

SNMPに関する設定をします。

① SNMP基本設定

| | | |
|-------------|-------|----------------------------------|
| SETGET設定 | : | 有効 無効 |
| GETコミュニティ名 | デフォルト | : Public (全角10文字 半角20文字以内) |
| SETコミュニティ名 | デフォルト | : Public (全角10文字 半角20文字以内) |
| TRAPコミュニティ名 | デフォルト | : Public (全角10文字 半角20文字以内) |
| マネージャーTrap | : | 有効 無効 |
| AuthenTrap | : | 有効 無効 |
| トラップIPアドレス | デフォルト | : 0.0.0.0 (最大8IPアドレス) |

注意 「SET GET設定」を変更するには、「適用」クリック後、「CPUリセット」を行う必要があります。

② SNMPフィルター設定

| | | |
|-------------|-------|---------------------------------|
| SNMPフィルター機能 | : | 有効 無効 |
| フィルターIPアドレス | デフォルト | : 0.0.0.0 |
| フィルターマスク | デフォルト | : 255.255.255.255 (最大10アドレス) |

<2> 状態通知機能

| | | |
|---------------|-------|-----------|
| 状態通知機能 | : | 有効 無効 |
| 通知先 IPアドレス1-3 | デフォルト | : 0.0.0.0 |
| 通知先 ポート1-3 | デフォルト | : 5000 |
| 送信間隔(秒) | デフォルト | : 300 |

注意 状態通知機能については「第10章 ネットワーク稼動監視」をご確認ください。

2) 設定が終了しましたら「適用」をクリックし、CPUリセットを実行します。

注意 「適用」ボタンをクリックしないと設定した内容が有効になりません。設定によっては、「CPUリセット」ボタンをクリックしないと設定した内容が有効なりません。

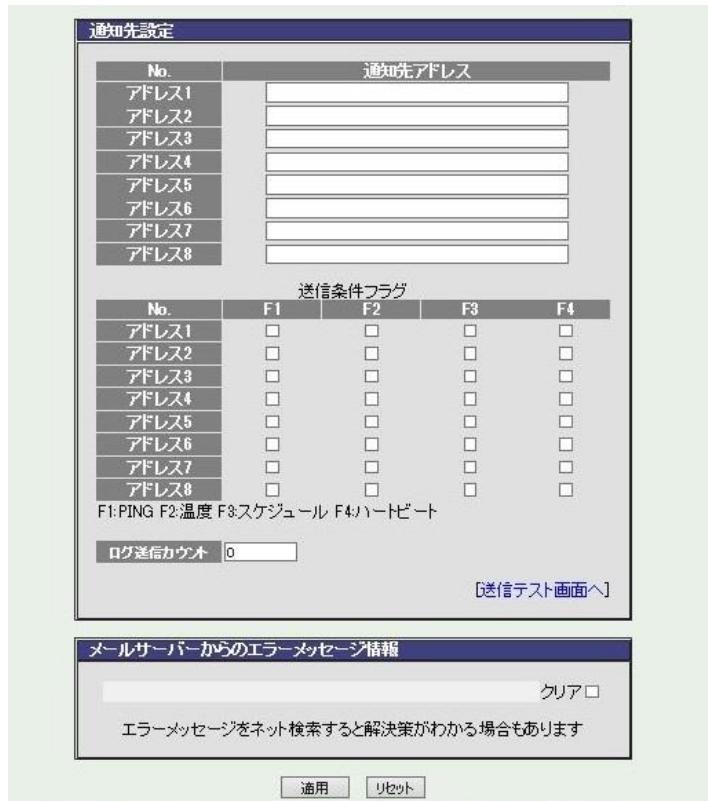
(3) メール設定

メール機能に関する設定をします。

1)「メール設定」をクリックします。

メール設定画面

| メール設定 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|-------|--|-------|--|---------|--|--------|--|-------|-----|--------|--|-------|----|--------------|----|--------------|---|--------------|----|----------|--|--|--|--|--|---|--|-----------------|--|------------|--|------------|--|----------|------|-------------|----------|-------------|------|-------------|----------|-------------|---------|-------------|---------|-------------|--------|-------------|------|-------------|------|---------|------|---------|--|---------|--|
| 通信設定 | 通信詳細設定 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>※ 入力項目は半角英数のみ有効</p> <p>メールサーバ設定</p> <table border="1"> <tr><td>ユーザー名</td><td></td></tr> <tr><td>パスワード</td><td></td></tr> <tr><td>メールアドレス</td><td></td></tr> <tr><td>受信サーバ名</td><td></td></tr> <tr><td>受信ポート</td><td>110</td></tr> <tr><td>送信サーバ名</td><td></td></tr> <tr><td>送信ポート</td><td>25</td></tr> <tr><td>自動ログアウト時間(分)</td><td>10</td></tr> <tr><td>メールチェック間隔(分)</td><td>3</td></tr> <tr><td>メールリトライ間隔(秒)</td><td>10</td></tr> <tr><td>メールサーバ形式</td><td><input type="radio"/> IMAP <input checked="" type="radio"/> POP3</td></tr> <tr> <td colspan="2"> SMTP認証 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="checkbox"/> CRAM-MD5 <input checked="" type="checkbox"/> LOGIN <input checked="" type="checkbox"/> PLAIN </td></tr> <tr> <td colspan="2"> IMAP認証 <input checked="" type="checkbox"/> CRAM-MD5 <input checked="" type="checkbox"/> LOGIN </td></tr> <tr> <td colspan="2"> APOP利用 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効 </td></tr> </table> <p>メール制御設定</p> <table border="1"> <tr><td>メール制御コマンド有効 [?]</td><td><input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効</td></tr> <tr><td>メール制御ユーザー名</td><td></td></tr> <tr><td>メール制御パスワード</td><td></td></tr> <tr> <td>送信メール 件名</td> <td>機器名称</td> </tr> <tr> <td>送信メール 本文1行目</td> <td>日時又は積算時間</td> </tr> <tr> <td>送信メール 本文2行目</td> <td>設置場所</td> </tr> <tr> <td>送信メール 本文3行目</td> <td>機器IPアドレス</td> </tr> <tr> <td>送信メール 本文4行目</td> <td>MACアドレス</td> </tr> <tr> <td>送信メール 本文5行目</td> <td>ユーザー任意1</td> </tr> <tr> <td>送信メール 本文6行目</td> <td>イベント内容</td> </tr> <tr> <td>送信メール 本文7行目</td> <td>表示無し</td> </tr> <tr> <td>送信メール 本文8行目</td> <td>表示無し</td> </tr> <tr> <td>ユーザー任意1</td> <td>¥r¥n</td> </tr> <tr> <td>ユーザー任意2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ユーザー任意3</td> <td></td> </tr> </table> | | ユーザー名 | | パスワード | | メールアドレス | | 受信サーバ名 | | 受信ポート | 110 | 送信サーバ名 | | 送信ポート | 25 | 自動ログアウト時間(分) | 10 | メールチェック間隔(分) | 3 | メールリトライ間隔(秒) | 10 | メールサーバ形式 | <input type="radio"/> IMAP <input checked="" type="radio"/> POP3 | SMTP認証 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="checkbox"/> CRAM-MD5 <input checked="" type="checkbox"/> LOGIN <input checked="" type="checkbox"/> PLAIN | | IMAP認証 <input checked="" type="checkbox"/> CRAM-MD5 <input checked="" type="checkbox"/> LOGIN | | APOP利用 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効 | | メール制御コマンド有効 [?] | <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効 | メール制御ユーザー名 | | メール制御パスワード | | 送信メール 件名 | 機器名称 | 送信メール 本文1行目 | 日時又は積算時間 | 送信メール 本文2行目 | 設置場所 | 送信メール 本文3行目 | 機器IPアドレス | 送信メール 本文4行目 | MACアドレス | 送信メール 本文5行目 | ユーザー任意1 | 送信メール 本文6行目 | イベント内容 | 送信メール 本文7行目 | 表示無し | 送信メール 本文8行目 | 表示無し | ユーザー任意1 | ¥r¥n | ユーザー任意2 | | ユーザー任意3 | |
| ユーザー名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| パスワード | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| メールアドレス | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 受信サーバ名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 受信ポート | 110 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 送信サーバ名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 送信ポート | 25 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 自動ログアウト時間(分) | 10 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| メールチェック間隔(分) | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| メールリトライ間隔(秒) | 10 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| メールサーバ形式 | <input type="radio"/> IMAP <input checked="" type="radio"/> POP3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| SMTP認証 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="checkbox"/> CRAM-MD5 <input checked="" type="checkbox"/> LOGIN <input checked="" type="checkbox"/> PLAIN | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| IMAP認証 <input checked="" type="checkbox"/> CRAM-MD5 <input checked="" type="checkbox"/> LOGIN | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| APOP利用 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| メール制御コマンド有効 [?] | <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| メール制御ユーザー名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| メール制御パスワード | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 送信メール 件名 | 機器名称 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 送信メール 本文1行目 | 日時又は積算時間 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 送信メール 本文2行目 | 設置場所 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 送信メール 本文3行目 | 機器IPアドレス | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 送信メール 本文4行目 | MACアドレス | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 送信メール 本文5行目 | ユーザー任意1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 送信メール 本文6行目 | イベント内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 送信メール 本文7行目 | 表示無し | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 送信メール 本文8行目 | 表示無し | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ユーザー任意1 | ¥r¥n | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ユーザー任意2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ユーザー任意3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |



① メールサーバー設定

ユーザー名、パスワード、メールアドレス、受信サーバー名、受信ポート
送信サーバー名、送信ポートは、プロバイダからのメール資料に基づき設定します。

注意 **本製品はSSL/TLS通信に対応しておりません。**そのため、この「メールサーバー設定」(リブーター側に設定するメールアドレス)にGmailなどのSSL/TLSを用いたメールを設定することはできません。

ただし、「通知先アドレス」には、SSL/TLSを用いたメールを設定することができます。

| | | |
|---|-------|------------------------|
| 自動ログアウト時間(分) | デフォルト | : 10 |
| メールチェック間隔(分) | デフォルト | : 3 |
| メールリトライ間隔(秒) | デフォルト | : 10 |
| (変数mailRetryCountで設定した回数送信します。デフォルト:3回) | | |
| メールサーバ形式 | | : POP3 IMAPを選択 |
| SMTP認証 | | : 認証方法を選択 |
| | | CRAM-MD5, LOGIN, PLAIN |
| IMAP認証 | | : 認証方法を選択 |
| | | CRAM-MD5, LOGIN |
| APOP利用 | | : 有効 無効 |

② メール制御設定

メール制御コマンド

： [有効] [無効]

★③の「通知先設定」に設定したメールアドレスからのみ制御できます。

メール制御ユーザー名

： 半角英数記号63文字以内

メール制御パスワード

： 半角英数記号63文字以内

★使用可能な文字は「第4章2.[0]参照。

送信メール 件名

[表示無し][機器名称][設置場所]

[機器IPアドレス][MACアドレス]

[イベント内容][ユーザー任意1~3]……(*)

より選択します。

送信メール 本文1行目

日時又は積算時間

送信メール 本文2行目

送信メール 本文3行目

送信メール 本文4行目

送信メール 本文5行目

上記(*)の9つより選択

送信メール 本文6行目

送信メール 本文7行目

送信メール 本文8行目

ユーザー任意1~3

任意のメール通知文を設定

全角21文字、半角英数43文字以内

③ 通知先設定

通知先アドレス

通知するメールアドレスを設定します。

★メール制御は、ここに登録されているメールアドレスからしか実行できません。

最大8件設定できます。

TOで送信します。

(CC,BCCで送信する場合はTELNETで変数から設定します)

●「通知先アドレス」には、SSL/TLSを用いたメールを設定することができます

送信条件フラグ

3種類(PING/スケジュール/ハートビート)から選択できます。

チェックしたフラグに連動してメールが送信されます。

例えば、「PING」では死活監視が[異常]または[回復]に変化した時にメールを送信します。

ログ送信カウント

： 設定した数だけログが更新されると通知先アドレスにログを送信します。

(MAX:20 「0」の時は送信しません。)

④ メールサーバーのエラーメッセージ情報

メールに失敗した場合、エラー情報を表示します。

クリアにチェックして「適用」をクリックすると消去できます。

2) 設定が終了したら「適用」をクリックします。

3) 「送信テスト画面へ」をクリックし、送信テスト画面を表示させ、テスト
メール送信の「送信」をクリックすると設定されている通知先アドレスに
テストメールを送信します。

送信テスト画面



注意

「適用」ボタンをクリックしないと設定した内容が有効になりません。設定によっては、「CPUリセット」ボタンをクリックしないと設定した内容が有効なりません。

リブーターの仕様上、「ユーザー名」「パスワード」が空欄の場合、リブーターからのメール送信は実行されません。そのため、メール制御は実行しないがメール通知は実行したい場合は、「ユーザー名」「パスワード」にダミーデータを設定する必要があります。

リブーター側に設定したメールアドレスのメールサーバー内のメールは、メールチェック間隔でメールサーバー内のメールを**チェックした後、削除**されます。
ですので、**リブーターに設定するメールアドレスは専用のものを1つご用意ください。**

[3] 監視設定

本装置の監視に関する設定をします。

(1) PING監視

1)「監視設定」をクリックします。PING監視設定画面が表示されます。

PING監視設定画面

| 監視先 | DG | 送信 | 無答 |
|-----|--------------------------|----|----|
| 1 | <input type="checkbox"/> | 10 | 10 |
| 2 | <input type="checkbox"/> | 10 | 10 |
| 3 | <input type="checkbox"/> | 10 | 10 |
| 4 | <input type="checkbox"/> | 10 | 10 |

※ 入力項目は半角英数のみ有効

PING 送信間隔(分) 死活監視リブートによる警告(回)

※PILOT LEDを赤点灯させる全アウトレットの死活監視リブート回数

回復不可時の1時間ごとの繰り返し回数制限(回)

1 2 3 4 無制限

- ・(監視先)に対してICMPを(PING 送信間隔)分毎に1個送信します。
(送信)回数内に(無答)回数回、応答が無いと異常と判断し(動作)を実行します。
- ・DGをチェックする事により、Default Gateway(ルータ等)を監視対象にします。
- ・アウトレット電源OFFの場所はPING監視は行いません。
- ・リブート復旧しない場合1時間毎に動作を繰り返します。

「詳細設定」にチェックし、「適用」をクリックします。
PING監視詳細設定画面が表示されます。

PING監視詳細設定画面

| 監視設定 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--------------------------|-----------|-----|--|----|----|----|---|--------------------------|----|----|------------------------------------|---|--------------------------|--|--|--|---|--------------------------|--|--|--|---|--------------------------|--|--|---|--|--|--|-----|----|----|----|----|---|--------------------------|----|----|------------------------------------|---|--------------------------|--|--|--|---|--------------------------|--|--|--|---|--------------------------|--|--|---|
| PING監視 | | メールサーバー監視 | | ハートビート | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| PING監視 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 詳細設定 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ※ 入力項目は半角英数のみ有効 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>監視先</th> <th>DG</th> <th>送信</th> <th>無答</th> <th>対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>10</td> <td>10</td> <td>1 <input type="button" value="▼"/></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> <td>動作 <input type="button" value="▼"/> 回数 <input type="button" value="間隔"/></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> <td>無動作 <input type="button" value="▼"/> 1 <input type="button" value="1"/></td> </tr> </tbody> </table> | | | 監視先 | DG | 送信 | 無答 | 対象 | 1 | <input type="checkbox"/> | 10 | 10 | 1 <input type="button" value="▼"/> | 2 | <input type="checkbox"/> | | | | 3 | <input type="checkbox"/> | | | 動作 <input type="button" value="▼"/> 回数 <input type="button" value="間隔"/> | 4 | <input type="checkbox"/> | | | 無動作 <input type="button" value="▼"/> 1 <input type="button" value="1"/> | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>監視先</th> <th>DG</th> <th>送信</th> <th>無答</th> <th>対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>10</td> <td>10</td> <td>1 <input type="button" value="▼"/></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> <td>動作 <input type="button" value="▼"/> 回数 <input type="button" value="間隔"/></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> <td>無動作 <input type="button" value="▼"/> 1 <input type="button" value="1"/></td> </tr> </tbody> </table> | | | 監視先 | DG | 送信 | 無答 | 対象 | 1 | <input type="checkbox"/> | 10 | 10 | 1 <input type="button" value="▼"/> | 2 | <input type="checkbox"/> | | | | 3 | <input type="checkbox"/> | | | 動作 <input type="button" value="▼"/> 回数 <input type="button" value="間隔"/> | 4 | <input type="checkbox"/> | | | 無動作 <input type="button" value="▼"/> 1 <input type="button" value="1"/> |
| 監視先 | DG | 送信 | 無答 | 対象 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | <input type="checkbox"/> | 10 | 10 | 1 <input type="button" value="▼"/> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | <input type="checkbox"/> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | <input type="checkbox"/> | | | 動作 <input type="button" value="▼"/> 回数 <input type="button" value="間隔"/> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | <input type="checkbox"/> | | | 無動作 <input type="button" value="▼"/> 1 <input type="button" value="1"/> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 監視先 | DG | 送信 | 無答 | 対象 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | <input type="checkbox"/> | 10 | 10 | 1 <input type="button" value="▼"/> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | <input type="checkbox"/> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | <input type="checkbox"/> | | | 動作 <input type="button" value="▼"/> 回数 <input type="button" value="間隔"/> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | <input type="checkbox"/> | | | 無動作 <input type="button" value="▼"/> 1 <input type="button" value="1"/> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ▲ アウトレット番号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>監視先</th> <th>DG</th> <th>送信</th> <th>無答</th> <th>対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>10</td> <td>10</td> <td>1 <input type="button" value="▼"/></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> <td>動作 <input type="button" value="▼"/> 回数 <input type="button" value="間隔"/></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> <td>無動作 <input type="button" value="▼"/> 1 <input type="button" value="1"/></td> </tr> </tbody> </table> | | | 監視先 | DG | 送信 | 無答 | 対象 | 1 | <input type="checkbox"/> | 10 | 10 | 1 <input type="button" value="▼"/> | 2 | <input type="checkbox"/> | | | | 3 | <input type="checkbox"/> | | | 動作 <input type="button" value="▼"/> 回数 <input type="button" value="間隔"/> | 4 | <input type="checkbox"/> | | | 無動作 <input type="button" value="▼"/> 1 <input type="button" value="1"/> | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>監視先</th> <th>DG</th> <th>送信</th> <th>無答</th> <th>対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>10</td> <td>10</td> <td>1 <input type="button" value="▼"/></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> <td>動作 <input type="button" value="▼"/> 回数 <input type="button" value="間隔"/></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> <td>無動作 <input type="button" value="▼"/> 1 <input type="button" value="1"/></td> </tr> </tbody> </table> | | | 監視先 | DG | 送信 | 無答 | 対象 | 1 | <input type="checkbox"/> | 10 | 10 | 1 <input type="button" value="▼"/> | 2 | <input type="checkbox"/> | | | | 3 | <input type="checkbox"/> | | | 動作 <input type="button" value="▼"/> 回数 <input type="button" value="間隔"/> | 4 | <input type="checkbox"/> | | | 無動作 <input type="button" value="▼"/> 1 <input type="button" value="1"/> |
| 監視先 | DG | 送信 | 無答 | 対象 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | <input type="checkbox"/> | 10 | 10 | 1 <input type="button" value="▼"/> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | <input type="checkbox"/> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | <input type="checkbox"/> | | | 動作 <input type="button" value="▼"/> 回数 <input type="button" value="間隔"/> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | <input type="checkbox"/> | | | 無動作 <input type="button" value="▼"/> 1 <input type="button" value="1"/> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 監視先 | DG | 送信 | 無答 | 対象 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | <input type="checkbox"/> | 10 | 10 | 1 <input type="button" value="▼"/> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | <input type="checkbox"/> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | <input type="checkbox"/> | | | 動作 <input type="button" value="▼"/> 回数 <input type="button" value="間隔"/> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | <input type="checkbox"/> | | | 無動作 <input type="button" value="▼"/> 1 <input type="button" value="1"/> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ▲ アウトレット番号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| PING 送信間隔(分) <input type="text" value="1"/> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 死活監視リブートによる警告(回) <input type="text" value="12"/> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ※ PILOT LEDを赤点灯させる全アウトレットの死活監視リブート回数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 回復不可時の1時間ごとの繰り返し回数制限(回) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 <input type="text" value="0"/> 2 <input type="text" value="0"/> 3 <input type="text" value="0"/> 4 <input type="text" value="0"/> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ※0:無制限 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>・(監視先)に対してICMPが(PING 送信間隔)分毎に1個送信します。 (送信)回数内に(無答)回数回、応答が無いと異常と判断します。 異常と判断した監視先が(対象)数に達すると異常と判定し(動作)を実行します。</p> <p>・DGをチェックする事により、Default Gateway(ルータ等)を監視対象にします。 ・アウトレット電源OFFの場所はPING監視は行いません。 ・動作後も応答がない場合は、動作を(間隔)分間隔で(回数)回を行い、以降は1時間周期で動作を繰り返します。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <input type="button" value="適用"/> <input type="button" value="リセット"/> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

- ① 監視先：監視するIPアドレスまたはドメイン名を設定します。
各アウトレットに最大4ヶ所設定できます。(詳細設定のみ)
例 IPアドレス : 192.168.0.1
例 ドメイン名 : www.meikyo.co.jp
- ② DG：チェックでデフォルトゲートウェイを監視先に指定します。
- ③ 送信：判断するための送信する回数を設定します。
設定可能値 : 1~100 (回)
- ④ 無答：送信回数内で異常と判断する無応答回数を設定します。
設定可能値 : 1~100 (回)

⑤ 対象：動作を実行させるための異常な監視先アドレスの数を設定します。
1～4(詳細設定のみ)

⑥ 動作：動作を選択します。

| | |
|------|-------------------------|
| 無動作 | :PING監視を行いません。 |
| リブート | :ログに記録し、電源出力をOFF→ONします。 |
| ログのみ | :ログに記録します。電源は制御しません。 |

⑦ PING送信間隔(分):ICMPエコー要求パケットの送信間隔を設定します。
設定可能値 :1～60

⑧ 死活監視リブートによる警告(回): デフォルト 12
PILOT LEDを点滅させる全アウトレットの死活監視リブート回数

⑨ 回復不可時の1時間ごとの繰り返し回数制限(回):デフォルト 0(無制限)

2) 設定が終了しましたら「適用」をクリックします。

監視設定が有効なアウトレットはアウトレット番号の背景色が「青色」に変わります。
また、PING監視が正常な場合は監視番号の背景色が「青色」に変わり、異常が発生している場合は「赤色」、回復中は「黄色」に変わります。

注意 指定したアウトレットが電源OFF状態の時はPING監視を行いません。(ICMPエコー要求パケットも送信しません)

応答のない状態が続いた場合は、約1時間ごとに設定された動作を実行します。再度、条件が成立しても動作は1時間に1度しか実行しません。
(詳しくは次ページをご覧ください。)

温度監視やハートビート監視が有効設定されているアウトレットには、PING監視は実行されません。(メールサーバー監視とは併用できます。)

■PING監視の仕組みと動作

監視先アドレスに対して[PING送信間隔(分)]で設定した間隔でICMPエコー要求パケットを1個出し、応答を待ちます。

設定した[送信]回数内で設定した[無答]回数、無応答であるとその監視先を異常と判断します。
異常と判断された監視先が[対象]数に達すると、そのアウトレットを異常と判定し、設定した[動作]を実行します。

[動作]が[リブート]の場合、「再Reboot間隔(分)」ごとに「再Reboot回数」だけリブートを繰り返します。

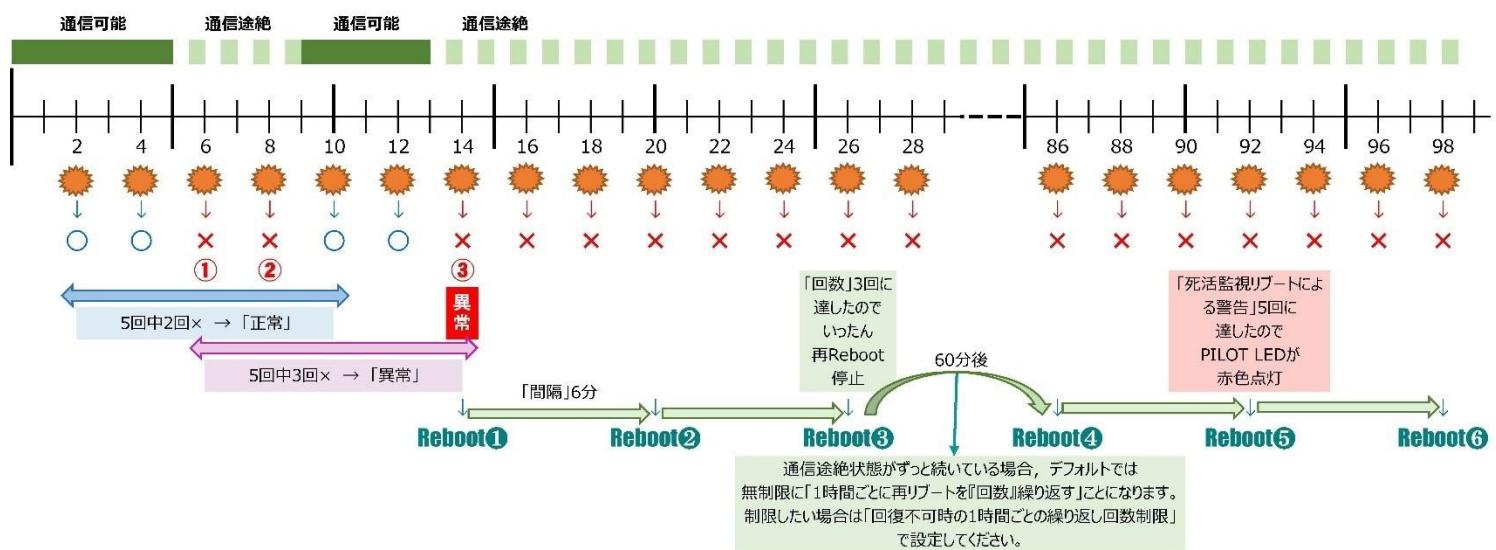
(例)「PING送信間隔(分)」を「2(分)」,
 「死活監視リブートによる警告(回)」
 を「5(回)」,
 「送信」を「5(回)」,
 「無答」を「3(回)」,
 「動作」を「リブート」,
 「回数」を「3(回)」,
 「間隔」を「6(分)」に設定した場合。

| | 監視先 | DG | 送信 | 無答 | 対象 |
|---|---------------|--------------------------|------|----|-----|
| 1 | 192.168.1.xxx | <input type="checkbox"/> | 5 | 3 | 1 ▼ |
| 2 | | <input type="checkbox"/> | | | |
| 3 | | <input type="checkbox"/> | | 動作 | 回数 |
| 4 | | <input type="checkbox"/> | リブート | 3 | 6 |

▲ アウトレット番号

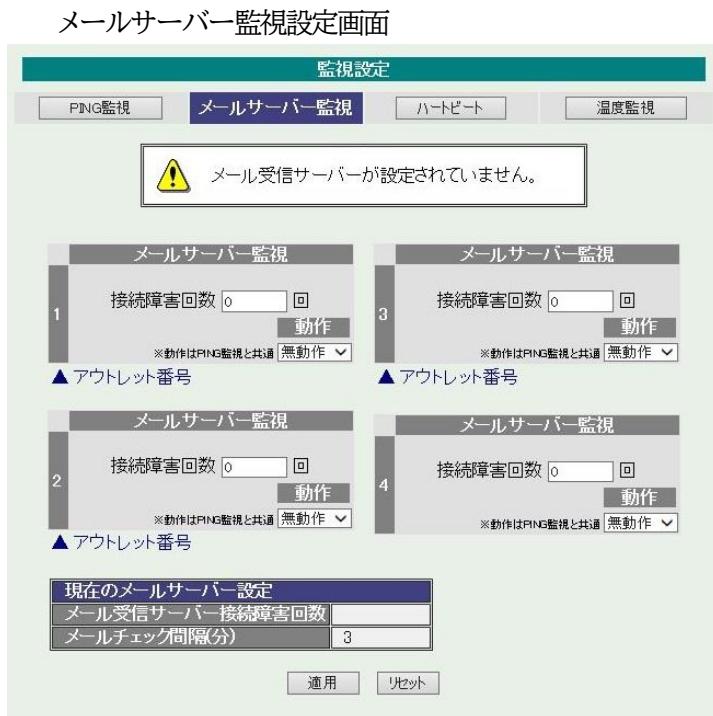
| | |
|-------------------|---|
| PING 送信間隔 (分) | 2 |
| 死活監視リブートによる警告 (回) | 5 |

※PILOT LEDを赤点灯させる全アウトレットの死活監視リブート回数



(2) メールサーバー監視

1)「メールサーバー監視」をクリックします。メールサーバー監視設定画面が表示されます。



① メールサーバー監視

- 接続障害回数 : メールサーバーを異常と判断する回数を設定します。
 動作 : [無動作]: 監視を行いません。
 [リブート]: ログに記録し、電源出力をOFF→ONします。
 [ログのみ]: ログに記録します。電源は制御しません。
 動作はPING監視と共に共通の設定になります。

② 現在のメールサーバー設定

- メール受信サーバー接続障害回数 : メール受信サーバー接続障害回数を表示します。
 メールチェック間隔(分) : メールサーバーのチェック間隔
 デフォルト 3分
 (「通信設定-メール設定」の「メールチェック間隔(分)」の設定が反映されます)

2)設定が終了しましたら「適用」をクリックします。

注意 メールサーバー監視を行う場合は「メールサーバ設定」で受信サーバーを正しく設定する必要があります。また「メール制御設定」でメール制御コマンドを有効にしておく必要があります。(「通知先設定」のメールアドレスは空白でも構いません。)

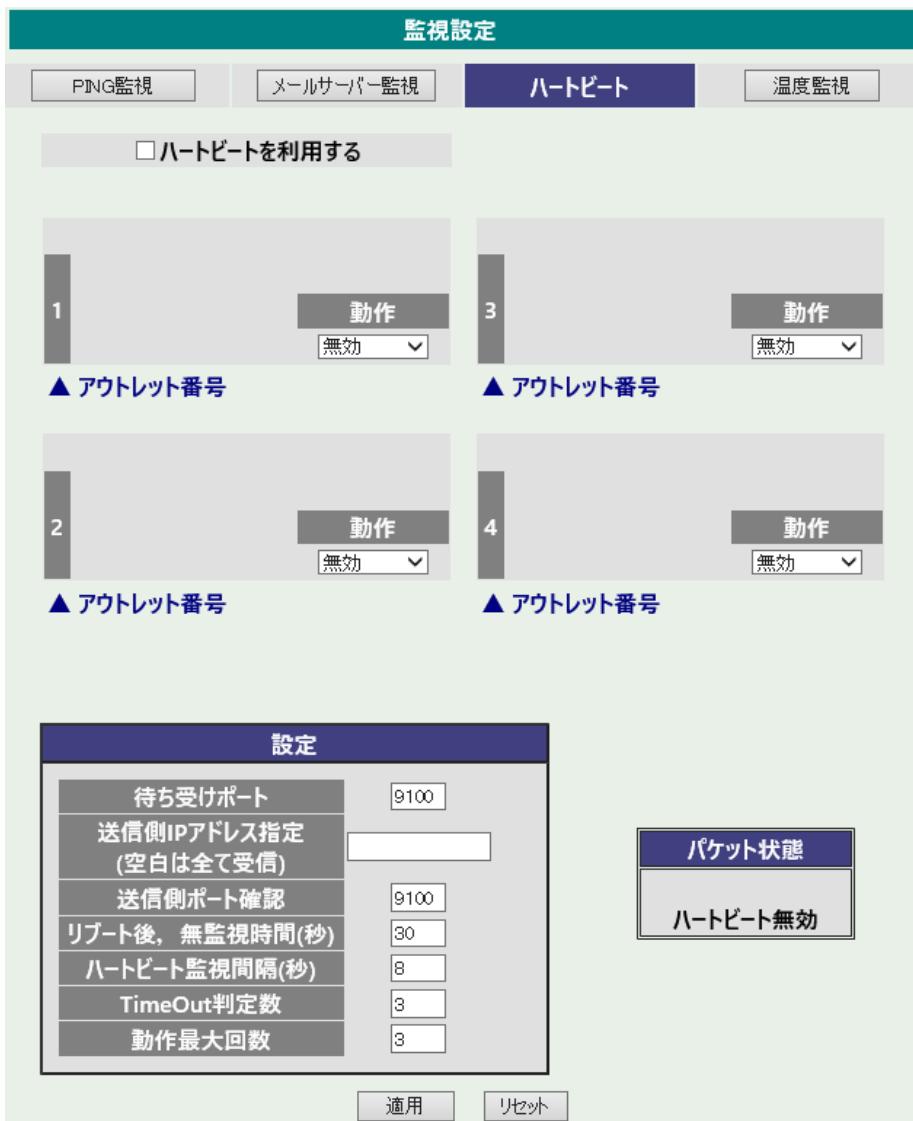
メールサーバー監視とPING監視の両方を設定すると、いずれかが異常になった時点で動作を実行します。

温度監視、ハートビート監視を有効にしたアウトレットでは、PING監視・メールサーバー監視は実行されません。

(3) ハートビート

1)「ハートビート」をクリックします。ハートビート設定画面が表示されます。

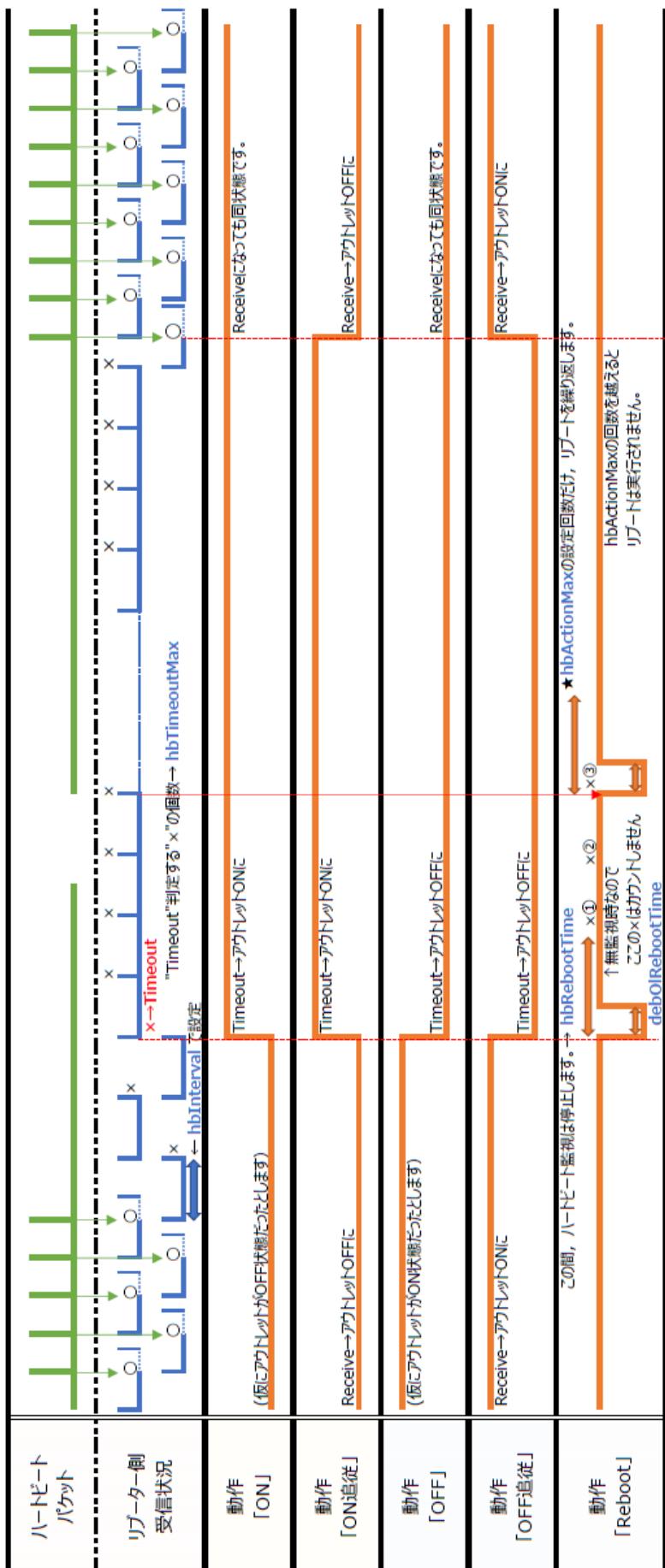
ハートビート設定画面



- 3) ハートビートを利用するには「ハートビートを利用する」にチェックし
「適用」をクリックします。

アウトレット毎の動作を選択します。

| | Receive | TimeOut |
|-------|---------|---------|
| 無効 | 無変化 | 無変化 |
| ON | 無変化 | ONに変化 |
| ON追従 | On→Offへ | Off→Onへ |
| OFF | 無変化 | Offに変化 |
| OFF追従 | Off→Onへ | On→Offへ |
| リブート | 無変化 | リブート |



ハートビートを設定します。

- | | |
|-----------------------------|---|
| 待ち受けポート | ： リブーター側のパケット待ち受けポート デフォルト:9100 (推奨値:9100~9199) |
| 送信側IPアドレス指定 (空白は全て受信) | ： ハートビートパケットを受け付ける送信側アドレス (空白は全てパケットを受け付ける) |
| 送信側ポート確認 | ： PC側(HB側)の送信ポート デフォルト:9100 (推奨値:9100~9199) |
| リブート後, 無監視時間 (秒) | ： TimeOut判定によって「リブート」動作実行になった時点からハートビートパケットを待ち受ける間隔(秒) デフォルト:30 (WEB画面での)設定可能値:1~99(秒) 100~999の値を設定する場合は, 変数 [hbRebootTime]で設定してください。 |
| ハートビート監視間隔 (秒) | ： ハートビートパケットを受ける間隔 デフォルト:8 設定可能値1~99(秒) |
| TimeOut判定数 | ： 「TimeOut」と判定する「未受信カウント(※)」数。 デフォルト:3 設定可能値1~99(回) (※)未受信カウント:「ハートビート監視間隔」で設定した秒数内にハートビートパケットが受信できなかった時、「未受信カウント」が1つ上がります。ハートビートパケットを受信すると、「未受信カウント」は「0」に戻ります。 |
| 動作最大回数 | ： 「動作」が「リブート」の場合の実行回数限度 デフォルト:3 設定可能値1~99(回) |

パケット状態

パケット状態([待機中], [パケットを受信], [TimeOut発生中]), 送信元IP, 未受信カウントを表示します。

3)設定が終了しましたら「適用」をクリックします。

注意 ハートビート監視を実行しているアウトレットでは, PING監視・メールサーバー監視を実行することは出来ません。

温度監視を実行しているアウトレットでは, ハートビート監視は実行できません。

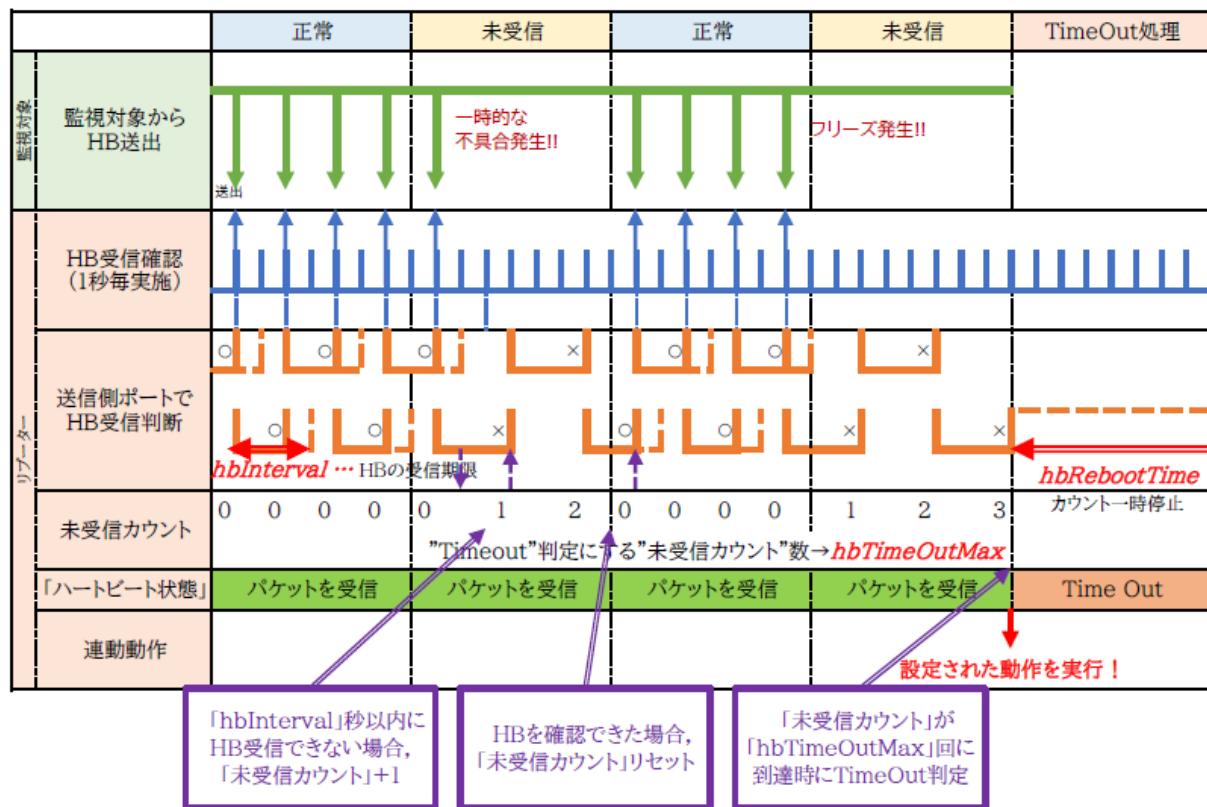
【ハートビートに必要なパケット形式】

UDPパケットのデータ“xxxxxHB”+CRLFの9文字を受け, “xxxxxACK”の8文字を返します。(xxxxxは任意)

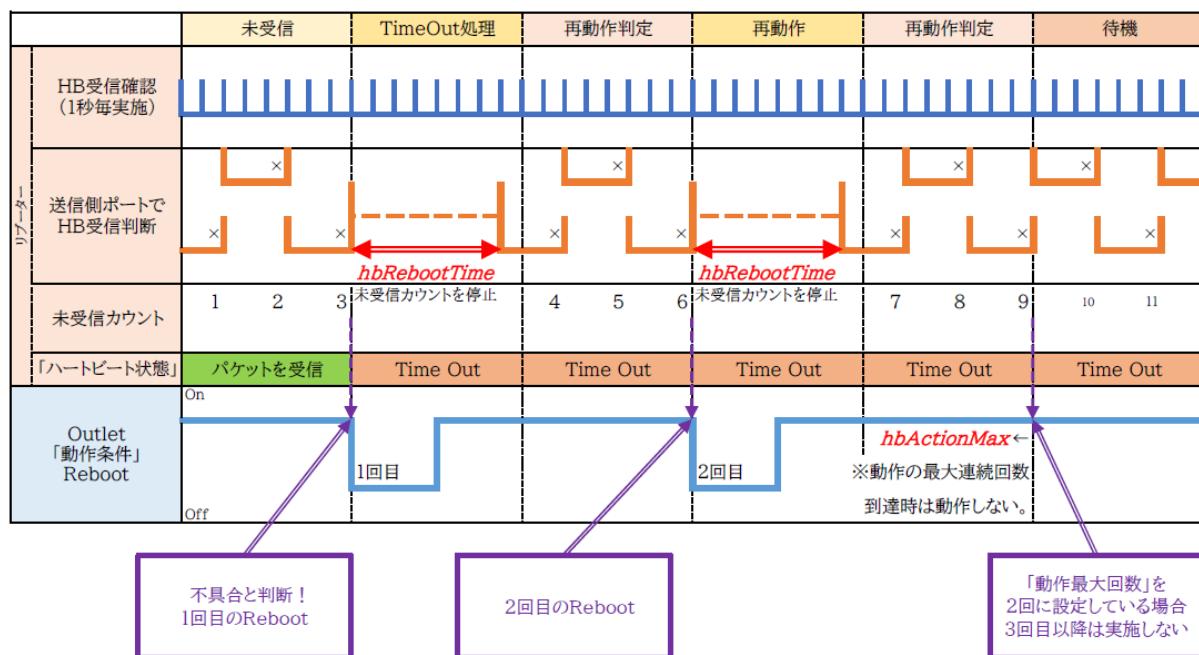
★「ハートビート監視間隔」「TimeOut判定数」「リブート判定後、無監視時間」の設定がどのように連関しているかは下の図をご覧ください。

図中では変数名で表記されています。

変数 hbInterval → 「ハートビート監視間隔」
 hbRebootTime → 「リブート後、無監視時間」
 hbTimeoutMax → 「TimeOut判定数」



●ハートビートパケットが受信できない状態が続くようになった時



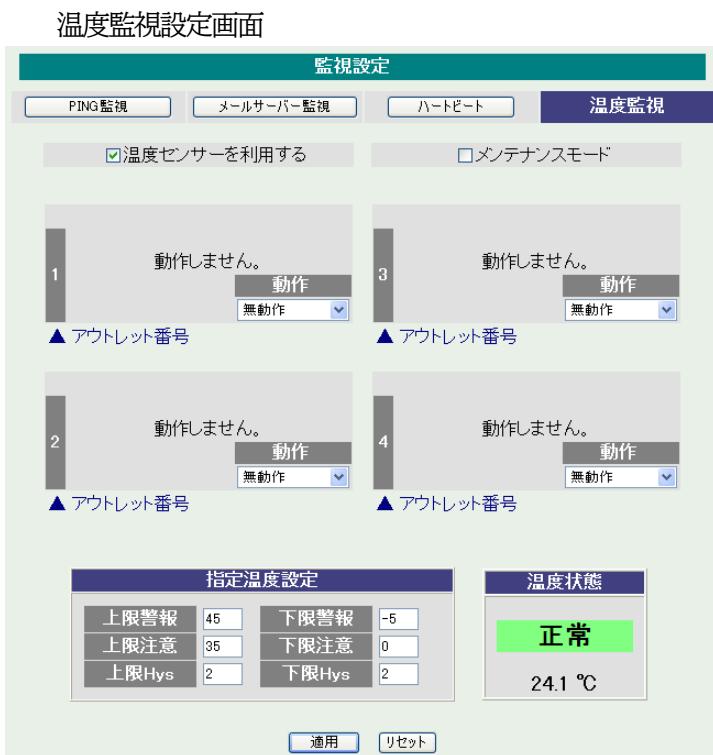
(4) 温度監視

「温度監視」を行うには別売の温度センサー(RP-TS004)が必要です。

また、「基本設定」→「温度センサー設定」で「温度センサー」の項目を「有効」にしなければなりません。

注意 AUXには弊社温度センサー(RP-TS004)以外差し込まないでください。また、温度センサーを差し込んでいない時は「温度センサー」を「無効」にしておいてください。

1)「温度監視」をクリックします。温度監視設定画面が表示されます。



2)本装置と温度センサー(別売)を接続します。

① 温度に関する設定をします。

上限警報 : 高温の警報温度を設定します。
(デフォルト:45°C)

上限注意 : 高温の注意温度を設定します。
(デフォルト:35°C)

上限Hys : 高温のヒステリシス温度を設定します。
(デフォルト: 2°C)

下限警報 : 低温の警報温度を設定します。
(デフォルト:-5°C)

| | | |
|-------|---|--|
| 下限注意 | : | 低温の注意温度を設定します。 (デフォルト: 0°C) |
| 下限Hys | : | 低温のヒステリシス温度を設定します。 (デフォルト: 2°C) |
| 動作 | : | 警報の時の動作を設定します。 無動作 上限警報ON 下限警報ON 上限警報OFF 下限警報OFF |

② 温度範囲(測定温度範囲は-10~80°C)

| | | |
|------|---|--|
| 正常範囲 | : | 下限注意 から 上限注意 までの温度 |
| 注意範囲 | : | 上限注意 から 上限警報 までの温度 下限警報 から 下限注意 までの温度 |
| 異常範囲 | : | 上限警報 以上の温度 下限警報 以下の温度 |

3) 温度センサーを利用する

チェックすると温度センサーが利用でき、温度データを表示します。

4)メンテナنسモード

チェックすると温度監視による電源変化は行われません。

注意

別売の温度センサー(RP-TS004)をご使用ください。

→温度センサーを接続せずに、「温度センサーを利用する」にチェックを入れ、適用すると「0.0°C」の計測になります。

温度監視を有効にしたアウトレットでは、PING監視、メールサーバー監視、ハートビート監視は設定できません。

温度監視の仕組みと動作

状態は、指定した温度により、「正常」から「注意」、「注意」から「警報」に変化します。

しかし、「警報」から「注意」、「注意」から「正常」への状態変化には、指定した温度にヒステリシス温度を加えた変化が必要です。これにより閾値近辺で状態が頻繁に変化することを防ぎます。

メールは、温度にチェックがあると、「正常」「注意」「警報」の状態に変化すると送信されます。

電源制御は、「警報」になった場合に実施されます。

[4] スケジュール設定

本装置のスケジュールに関する設定をします。最大20件登録できます。

- 1)「スケジュール設定」をクリックします。

スケジュール設定画面

| スケジュールリスト | | | | | | |
|-----------|--------------------------|---------|----|---|---|-----|
| No. | 有効 | アウトレット | 曜日 | 時 | 分 | 動作 |
| 1 | <input type="checkbox"/> | 全アウトレット | 毎日 | 0 | 0 | 無動作 |
| 2 | <input type="checkbox"/> | 全アウトレット | 毎日 | 0 | 0 | 無動作 |
| 3 | <input type="checkbox"/> | 全アウトレット | 毎日 | 0 | 0 | 無動作 |
| 4 | <input type="checkbox"/> | 全アウトレット | 毎日 | 0 | 0 | 無動作 |
| 5 | <input type="checkbox"/> | 全アウトレット | 毎日 | 0 | 0 | 無動作 |
| 6 | <input type="checkbox"/> | 全アウトレット | 毎日 | 0 | 0 | 無動作 |
| 7 | <input type="checkbox"/> | 全アウトレット | 毎日 | 0 | 0 | 無動作 |
| 8 | <input type="checkbox"/> | 全アウトレット | 毎日 | 0 | 0 | 無動作 |
| 9 | <input type="checkbox"/> | 全アウトレット | 毎日 | 0 | 0 | 無動作 |
| 10 | <input type="checkbox"/> | 全アウトレット | 毎日 | 0 | 0 | 無動作 |
| 11 | <input type="checkbox"/> | 全アウトレット | 毎日 | 0 | 0 | 無動作 |
| 12 | <input type="checkbox"/> | 全アウトレット | 毎日 | 0 | 0 | 無動作 |
| 13 | <input type="checkbox"/> | 全アウトレット | 毎日 | 0 | 0 | 無動作 |
| 14 | <input type="checkbox"/> | 全アウトレット | 毎日 | 0 | 0 | 無動作 |
| 15 | <input type="checkbox"/> | 全アウトレット | 毎日 | 0 | 0 | 無動作 |
| 16 | <input type="checkbox"/> | 全アウトレット | 毎日 | 0 | 0 | 無動作 |
| 17 | <input type="checkbox"/> | 全アウトレット | 毎日 | 0 | 0 | 無動作 |
| 18 | <input type="checkbox"/> | 全アウトレット | 毎日 | 0 | 0 | 無動作 |
| 19 | <input type="checkbox"/> | 全アウトレット | 毎日 | 0 | 0 | 無動作 |
| 20 | <input type="checkbox"/> | 全アウトレット | 毎日 | 0 | 0 | 無動作 |

注意！仮想アウトレットの場合、「電源ON」のみ動作します。
動作にて「メール」設定時、[通信設定]-[メール設定]の送信条件フラグにて
[F3 スケジュール]をチェックしてください。

[適用] [リセット]

- ① 有効 : 設定したスケジュールの有効/無効
チェックしたNo.が有効になります。
- ② アウトレット : 制御するアウトレットNo.
全アウトレット、アウトレット1~4
全仮想アウトレット、仮想アウトレット1~8
- ③ 曜日 : 実行する曜日(毎日または指定曜日)
毎日 日曜 月曜 火曜 水曜
木曜 金曜 土曜
- ④ 時 : 実行する時間
0 ~ 23

⑤ 分 : 実行する分

0 ~ 59

⑥ 動作 : 実行する動作

無動作 リブート 電源ON 電源OFF 定時メール
(仮想アウトレットではONのみ有効)

2) 設定が終了しましたら「適用」をクリックします。

注意 スケジュール設定を使う場合はNTPサーバーの設定が必要になります。
通信基本設定で設定してください。

NTPサーバーの接続に失敗した場合は、エラーメッセージが表示されます。

[5] システム情報

本装置に設定された各項目の概要情報を一覧で確認できます。

- 1)「システム情報」をクリックします。

システム情報画面

| システム情報 | | 更新 |
|--|-----------------------------|----|
| システム基本 | | |
| <input type="button" value="設定詳細表示"/> <input type="button" value="ファームウェア更新"/> | | |
| 機器名称 | None | |
| バージョン | 1.00F.220720/HTMLOCS.220322 | |
| モデル名 | RPC-M5CS | |
| アウトレット数 | 4 | |
| アウトレット1名称 | Outlet1 | |
| アウトレット2名称 | Outlet2 | |
| アウトレット3名称 | Outlet3 | |
| アウトレット4名称 | Outlet4 | |
| 機器内部時間 | | |
| 仮想アウトレット1名称 | | |
| 仮想アウトレット2名称 | | |
| 仮想アウトレット3名称 | | |
| 仮想アウトレット4名称 | | |
| 仮想アウトレット5名称 | | |
| 仮想アウトレット6名称 | | |
| 仮想アウトレット7名称 | | |
| 仮想アウトレット8名称 | | |
| MACアドレス | 00:09:EE:00:B6:1C | |
| IPアドレス | 192.168.10.1 | |
| サブネットマスク | 255.255.255.0 | |
| デフォルトゲートウェイ | (NG) | |
| NTPサーバーアドレス | | |
| HTTP機能 | 有効 | |
| HTTPポート | 80 | |
| TELNET機能 | 無効 | |
| TELNETポート | 23 | |
| LAN接続速度 | 100.0Mbps | |
| RS-232C 通信速度 | 38400bps | |
| RS-232C キャラクター長 | 8 bits | |
| RS-232C ストップビット | 1 bit(s) | |
| RS-232C パリティ | None | |

(1) 設定詳細表示

- 1)「設定詳細表示」をクリックします。
- 2)WEB画面に全変数が表示されます。

(2) ファームウェア更新

ファームウェア更新は「オンライン(明京サーバー)自動アップデート」か「ローカルファイルの選択」からバージョンアップ方法の選択をし、実行します。

- 1)「ファームウェア更新」をクリックします。
- 2)バージョンアップ方法の選択画面が表示されます。

バージョンアップ方法の選択画面

ファームウェアバージョンアップ

バージョンアップ方法の選択

| | |
|---------------|--|
| バージョン | 1.00E 220303 |
| モデル名 | RPC-M5CS |
| オンライン自動アップデート | <input type="button" value="ファームの確認"/> |
| ローカルファイルの選択 | <input type="button" value="ファイル選択"/> |

明京サーバーからダウンロード画面

ファームウェアバージョンアップ

明京サーバーからダウンロード

| |
|-------------|
| バージョンアップ処理中 |
| ダウンロード中 |

※実行結果画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。

バージョンアップ用ファイルの送信画面

ファームウェアバージョンアップ

バージョンアップ用ファイルの送信

| | |
|--------------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="button" value="参照..."/> | <input type="button" value="送信"/> |
|--------------------------------------|-----------------------------------|

※バージョンアップ用ファイルを選択し、[送信]ボタンを押してください。
その後、実行結果画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。

画面の指示に従って実行してください。

実行後、バージョンアップ結果の画面が表示されます。

バージョンアップ結果画面

ファームウェアバージョンアップ

バージョンアップ結果

| |
|-----------|
| Error = 3 |
|-----------|

※ファームは書き換えられていません。初期画面へ戻ることが出来ます。

バージョンアップ時のエラーコード

| code | 内容 |
|-------|------------------------|
| 0 | 正常終了 |
| 1 | 現在のバージョンが最新である |
| 2 | 設定でバージョンアップが許可されていない |
| 3 | DNS エラーを検出した |
| 4 | 明京電機サーバーへのアクセスエラーが発生した |
| 5 | バージョンアップファイルが見つからなかった |
| 11-15 | ヘッダ情報が不正確である |
| 21-30 | ファイル構成が不正確である |
| 31 | CRCが不正確である |
| 32-36 | ヘッダ情報と実際のファームが一致していない |

★「(00)正常終了」にならず、「(21)」や「(27)」が表示された場合、次の接続方法のいずれかにして再度実行をお願いいたします。

- ・PCと本装置をスイッチングハブ経由で接続する
- ・通信速度を100Mbps半二重に固定する

注意 バージョンアップ機能の制御については「第4章 Webブラウザーでの設定、制御」の「セキュリティ詳細設定」をご確認ください

★何かのアクシデントでバージョンアップに失敗した場合★

本装置は、バージョンアップに失敗しても、「データ再送」画面が表示されるか、バージョンアップ前のファームウェアで動作する仕様となっています。アップデートの途中で停電や通信途絶が発生し、バージョンアップに失敗した場合、以下の手順でデータ再送を行ってください。

この時に、**本装置のRESETボタンを押さないようにしてください。**

通信途絶/回復の頻度とタイミングによっては、RESETボタンを押すとお客様の手元での再書き込みが不可能な状態になってしまうおそれがあります。(不可能状態に陥った場合、弊社カスタマーサポートにご連絡ください。)

発生した状況に合わせて、以下の対応を行ってください。

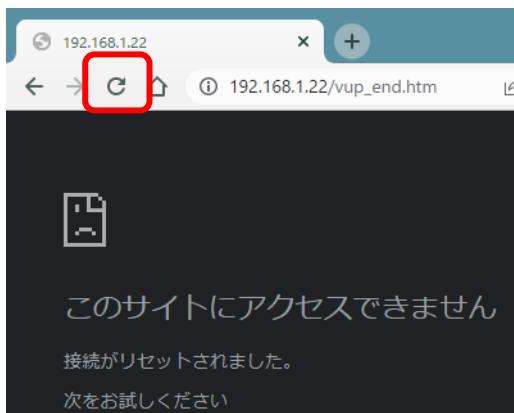
●通信途絶したが、WEBブラウザーが待機中となっている場合



↑待機中はそのままお待ちください。

●通信途絶の時間が長く、WEBブラウザーからHTTPリクエストが途絶えた場合

例) Chromeの場合



↑「再読み込み」ボタンをクリック(その後、[続行]やそれに類するボタンをクリック)してください。

●停電やコンセント抜けてリブーターの電源がOFFとなった場合

一度WEBブラウザーを閉じてから、再度WEBブラウザーを開いてリブーターにアクセスしてください。ログアウト画面が表示された場合は、ログインボタンをクリックしてください。

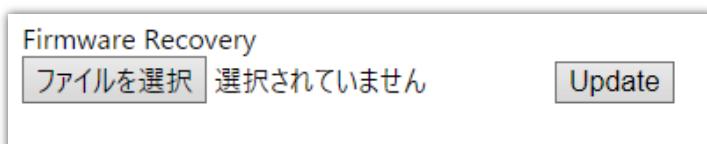
●更新中にWEBブラウザーを閉じた場合

WEBブラウザーを開き、リブーターにアクセスしてください。

そうしますと、WEB画面に以下のいずれかの画面が表示されます。

- ログイン画面が表示され、ログイン後はメニューと簡易情報表示画面になる
そのままご使用いただけますが、使用前にシステム情報を開き、バージョンを確認してください。旧バージョンの場合は、再度バージョンアップを行ってください。

- WEB画面に以下の表示が出る



この場合は「ローカルファイル選択によるアップデート」を実施する必要があります。

バージョンアップファイルは明京電機株式会社ホームページにあります。

<https://www.meikyo.co.jp/archive/> の、「アップデート(ファームウェア &ソフトウェア)」のセクションから該当機種のバージョンアップファイルをダウンロードしてください。

WEB画面の「ファイルを選択」をクリックし、用意したバージョンアップファイルを選択します。

その後、「Update」をクリックし、アップデートを実施します。

「Update」クリック後は、しばらくお待ちください。

↓ Webブラウザーにて「待機中」になっている間はそのままお待ちください。



1分以上経過しても表示が変わらない場合のみ、本体RESETボタンを押して再び実行してください。

(初期化は絶対にしないでください。正常稼働しなくなります。)

成功すると、

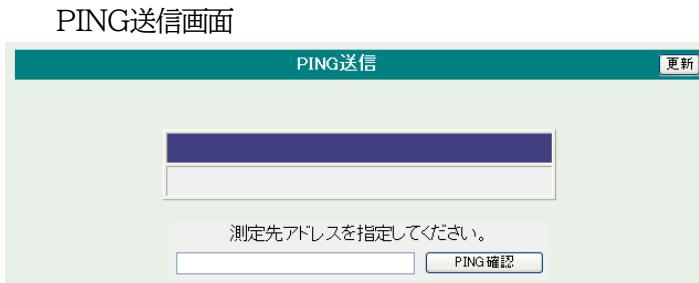


と表示されます。この後、リブーターのIPアドレスにアクセスし、「CPUリセット」を実行します。

[6] PING送信

本装置からのPING送信の確認できます。

- 1)「PING送信」をクリックします。



- ① 「測定先アドレスを指定してください。」の欄に、測定先アドレスを入力し、「PING確認」をクリックして下さい。
- ② 測定中は「測定中」の表示がされます。
- ③ 測定結果が表示されます。

正常 :Reply from xxx.xxx.xxx.xxx --- time=yyyms
 xxx.xxx.xxx.xxx :測定先アドレス
 yyy :応答時間(ミリ秒)

異常 :Request timed out.
 応答が異常時

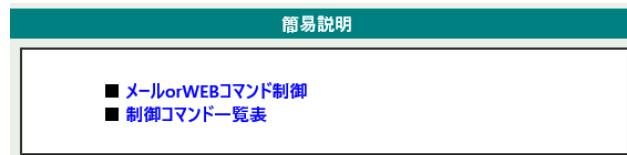
異常 :Domain name not found.
 ドメイン名が存在しない

[7] 簡易説明

本装置の簡易説明が確認できます。

「簡易説明」をクリックします。

簡易説明画面



メールorWEBコマンド制御

メールからの制御

メールを利用して電源制御

WEBからダイレクトコマンド制御

WEBコマンドでの制御方法

利用可能コマンド

制御コマンド一覧表

3. 状態表示項目

[1] 簡易情報表示

現在の本装置の電源情報、温度状態を表示します。

1)「簡易情報表示」をクリックします。

簡易情報表示画面

| No. | アウトレット名称 | 監視 | 電源 |
|-----|----------|----|-----------|
| 1 | Outlet1 | | ON |
| 2 | Outlet2 | | ON |
| 3 | Outlet3 | | ON |
| 4 | Outlet4 | | ON |

温度状態
 2017/01/12 20:58:34
24.5°C
 正常
 2017/01/11 09:46
MAX 29.30 °C
 2017/01/12 05:37
MIN 17.40 °C

機器情報

| 機器名称 |
|--------|
| Noname |

注意 簡易情報表示は現在の本装置の状態を表示する画面で実際に制御することは出来ません。

温度センサーを「有効」に設定しないと温度状態は表示されません。(温度センサーを接続した状態で「有効」にしてください。)

- 温度センサーを接続せずに、温度センサーの項目を「有効」にすると「0.0°C」の計測になります。
- NTPサーバーの設定をしたり、「PCと時刻同期」を実行したりすると、「温度状態」の部分に年月日 時刻が表示されます。それらの設定をしなかった場合は、「機器の通電経過秒数」が表示されます。

[2] 監視状態表示

現在の本装置の監視状態を表示します。

- 1)「監視状態表示」をクリックします。

監視状態表示画面

| 監視状態表示 | | | | | | | | | 更新 |
|-----------------|------|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------|----|
| アウトレット監視状態／判定条件 | | | | | | | | | |
| No. | 電源 | 死活判定 温度判定 | 実行数 現在温度 | 送信数 動作設定 | 無応答 警報温度 | 対象数 注意温度 | 動作 Hys温度 | | |
| 1 | | 正常 | 0 | 10 | 10 | 1 | 無動作 | | |
| 2 | | 正常 | 0 | 10 | 10 | 1 | 無動作 | | |
| 3 | | 正常 | 0 | 10 | 10 | 1 | 無動作 | | |
| 4 | | 正常 | 0 | 10 | 10 | 1 | 無動作 | | |
| ▲ アウトレット番号 | | | | | | | | | |
| 監視先状態 | | | | | | | | | |
| No. | 監視先1 | | 監視先2 | | 監視先3 | | 監視先4 | | |
| | 状態 | 無応答数 | 状態 | 無応答数 | 状態 | 無応答数 | 状態 | 無応答数 | |
| 1 | | | | | | | | | |
| 2 | | | | | | | | | |
| 3 | | | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | | | |
| ▲ アウトレット番号 | | | | | | | | | |
| PING応答時間 | | | | | | | | | |
| No. | 監視先1 | | 監視先2 | | 監視先3 | | 監視先4 | | |
| | 応答時間 | | 応答時間 | | 応答時間 | | 応答時間 | | |
| 1 | | | | | | | | | |
| 2 | | | | | | | | | |
| 3 | | | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | | | |
| ▲ アウトレット番号 | | | | | | | | | |
| ハートビート状態 | | | | | | | | | |
| No. | 動作 | 実行数 | | パケット状態 | | | | | |
| 1 | 無効 | 0 | | ハートビート無効 | | | | | |
| 2 | 無効 | 0 | | | | | | | |
| 3 | 無効 | 0 | | | | | | | |
| 4 | 無効 | 0 | | | | | | | |
| ▲ アウトレット番号 | | | | | | | | | |
| 機器情報 | | | | | | | | | |
| メール受信接続障害回数 | | | | | | | | | |

① アウトレット監視状態／判定条件

- 電源 : 電源の状態を表示します。
- 死活判定 : 「PING監視」および「メールサーバー監視」の判定結果を表示します。
正常：異常な監視先が対象数未満、かつメールサーバー正常。
異常：異常な監視先が対象数以上、またはメールサーバー異常。
回復中：動作後、異常な監視先が対象数未満だが、異常な監視先が残っている。メールサーバー正常。
- 温度判定 : 「温度監視」の判断結果を表示します。
- 実行数 : 「PING監視」と「メールサーバー監視」の実行された動作の回数を表示します。
- 現在温度 : 「温度監視」の現在温度を表示します。
- 送信数 : 「PING監視」のPING送信回数の設定値を表示します。
- 動作設定 : 「温度監視」の動作設定を表示します。
- 無応答 : 「PING監視」の無応答回数の設定値を表示します。
- 警報温度 : 「温度監視」の警報温度を表示します。
- 対象数 : 「PING監視」の対象数の設定値を表示します。
- 注意温度 : 「温度監視」の注意温度を表示します。
- 動作 : 「PING監視」と「メールサーバー監視」の動作を表示します。
- Hys温度 : 「温度監視」のヒステリシス温度を表示します。

② 監視先状態

- 状態 : アウトレット毎に各監視先の応答状態を表示します。
- 無応答数 : ICMPエコー要求送信に対する無応答回数を表示します。

③ PING応答時間

- 応答時間 : 監視先の応答時間を表示します。

④ ハートビート状態

- 動作 : 動作状態を表示します。
- 実行数 : 実行数を表示します。
- パケット状態 : パケット状態を表示します。

⑤ 機器情報

- メール受信接続障害回数 : メール受信サーバーへの接続障害回数を表示します。

[3] イベントログ表示

現在までのイベントログを表示します。

1)「イベントログ表示」をクリックします。



2)「更新」を押すと最新状態に更新します。

| | | |
|--------|---|---------------------|
| 前ページ | : | 前ページを表示します。 |
| 次ページ | : | 次ページを表示します。 |
| 先頭ページ | : | 先頭ページを表示します。 |
| 最終ページ | : | 最終ページを表示します。 |
| 全ログクリア | : | ログを消去します。 |
| TEXT表示 | : | WEB画面にイベントログを表示します。 |

注意 1ページは100項目単位で表示します。
最大10ページ、1000項目のログを表示可能です。

主電源を切ったり、CPUリセットをかけたりするとログは消去されます。

4. 電源制御

本装置に接続されたデバイスの電源制御をします。

[1] 電源制御

- 1)「電源制御」をクリックします。

電源制御画面

| No. | アウトレット名称 | 制御 | 電源 |
|---------|----------|-----------------------|--|
| 1 | Outlet1 | 電源ON 電源OFF リブート | ON |
| 2 | Outlet2 | 電源ON 電源OFF リブート | ON |
| 3 | Outlet3 | 電源ON 電源OFF リブート | ON |
| 4 | Outlet4 | 電源ON 電源OFF リブート | ON |
| 全アウトレット | | 電源ON 電源OFF リブート | ON |

機器情報
機器名称 Noname

① 電源

現在の電源の状態を表します。

② 個別アウトレット制御の動作

- | | | |
|-------|---|-----------------|
| 電源ON | : | 電源出力を開始します。 |
| 電源OFF | : | 電源出力を停止します。 |
| リブート | : | 電源出力をOFF→ONします。 |

③ 全アウトレット制御の動作

- | | | |
|-------|---|-------------------------|
| 電源ON | : | 全アウトレットの電源出力を開始します。 |
| 電源OFF | : | 全アウトレットの電源出力を停止します。 |
| リブート | : | 全アウトレットの電源出力をOFF→ONします。 |

- 2) 「更新」をクリックすると最新の電源状態を取得します。

注意

電源制御画面は「通信設定」の「WEB自動更新間隔」に基づき([「WEB自動更新機能」が「無効」になっていたとしても](#))常時自動で更新されます。

注意 「更新」をクリックしないと画面表示とアウトレットが違う場合がありますので電源状態は「更新」をクリックして最新の状態を確認してください。
全アウトレットONの時、個別アウトレットは1秒の遅延間隔でONします。(デフォルト)

[2] 仮想アウトレット制御

- 1)「仮想アウトレット制御」をクリックします。

仮想アウトレット制御画面

| No. | 仮想アウトレット名称 | 電源制御 |
|-----------|------------|------|
| 1 | | 電源ON |
| 2 | | 電源ON |
| 3 | | 電源ON |
| 4 | | 電源ON |
| 5 | | 電源ON |
| 6 | | 電源ON |
| 7 | | 電源ON |
| 8 | | 電源ON |
| 全仮想アウトレット | | 電源ON |

仮想アウトレットについて

仮想アウトレットとは、実際には存在しないアウトレットであり、関連付けされたMACアドレスへマジックパケットを送出して、Wake on LAN機能を実現させるためのものです。

注意 本製品の仕様で、本体主電源投入時に「全仮想アウトレットON」のコマンドが発報されます。「イベントログ」記録開始前に実行されるため、ログには記録されずに実行されます。)

① 個別仮想アウトレット制御の動作

電源ON : マジックパケットを送出します。

② 全仮想アウトレット制御の動作

電源ON : 全仮想アウトレットへマジックパケットを送出します。

[3] 一斉電源制御

1)「一斉電源制御」をクリックします。



一斉電源制御

一斉電源制御とは、複数の本装置を最大8グループに分けて、各グループ単位で一斉制御コマンドを送り、電源を制御することができます。

- | | | |
|------|---|---------------------------|
| 制御対象 | : | 制御するグループを選択します。 |
| 動作 | : | 実行する動作 電源ON 電源OFF リブート |
| 送信 | : | 一斉制御コマンドを送信します。 |

★本装置を、**一斉電源制御を受け付ける状態**に設定したい場合はメンテナンスマード(DIPスイッチ3がON)にてグループ設定をする必要があります。(一斉電源制御を受け付ける状態になると、WEB画面での操作はできなくなります。TELNET通信もしくはシリアル通信においてSupervisor権限でのログインは可能です。)設定方法は本書の第3章3.をご覧ください。

| | |
|----|---|
| 注意 | 「更新」をクリックしないと画面表示とアウトレットが違う場合がありますので電源状態は「更新」をクリックして最新の状態を確認してください。 全アウトレットONの時、個別アウトレットは1秒の遅延間隔でONします。 (デフォルト) リブートのOFF時間は10秒です。(デフォルト) 遅延時間、OFF時間及びOFF禁止などの設定は変数の変更により可能です。 |
|----|---|

5. CPUリセット

本装置の設定変更を有効にします。

- 1)「CPUリセット」をクリックします。



- 2)CPUリセット画面の「CPUリセット」をクリックします。

注意

CPUリセットを必要とする内容の場合、「設定項目」の「CPUリセット」の背景色が黄色になります。

「CPUリセット」をクリックすると設定した内容が有効になり、通信が切断されますが、アウトレットの状態は現状のまま保持されます。

第5章 その他の設定

1. TELNETによる設定

[1] 設定方法

- 1)「スタート」から「ファイル名を指定して実行」を選択し、テキストボックスを開きます。
「初期設定」で設定したIPアドレスを以下のように指定し、本装置にアクセスします。

192.168.10.1の場合

| | |
|-------------|----------------|
| IPアドレス | : 192.168.10.1 |
| TELNETポート番号 | : 23 |

「telnet_192.168.10.1_23」

※_はスペースを表します。

- 2)プログラムが起動し、下図のとおり表示されます。

「Noname」は機器名称の設定が反映されます。

220 RPC-M5CS (Noname) server ready

- 3)任意のキーを入力します。IDとパスワードが要求されます。

- 4)ユーザーID(デフォルト:admin)とパスワード(デフォルト:magic)を入力し、<Enter>キーで実行します。「OK」の応答があります。

注意

ブラウザ接続時のIDとパスワードはTELNETとシリアル接続時のIDとパスワードとは別になります。
デフォルトのままでするとセキュリティホールになる危険があります。
★コマンド(ID, PASS)により変更して利用することをおすすめします。

注意

電源制御可能な他のユーザー(Admin, Control権限)がWEB, TELNET, シリアルいずれかでログイン中の場合、当該方法にて新たにログインすることはできません。
ただし、supervisor権限ではログインすることが可能です。

[2] TELNETコマンドによる設定

- 1)「スタート」から「ファイル名を指定して実行」を選択し、テキストボックスを開きます。「初期設定」で設定したIPアドレスを指定し、TELNETで本装置にログインします。
- 2)コマンドや変数などを入力し<Enter>キーで実行します。
(IPアドレスなど一部の設定はCPUリセット後に反映されます。)

■ TELNET通信の設定関係コマンド

| コマンド | 内 容 |
|------------|-----------------------------|
| LIST | 全ての変数の値を表示します。 |
| WRITE | 変数の設定をFROMに書き込みます。 |
| &SAVE | 設定された変数の待避・復元ができるデータを出力します。 |
| LOAD BEGIN | 設定データの読み込みを始めます。 |
| LOAD END | 設定データの読み込みを終了します。 |
| ?変数名 | 変数の値を表示します。 |
| .変数名=値 | 変数を設定し、設定された変数を表示します。 |
| CPURESET | CPUをリセットします。(電源状態は変化しません。) |

※変数については「■変数一覧表」参照

■ 「&SAVE」コマンドについて

環境(変数全体)を一括して待避・復元するためのコマンドです。

「&SAVE」を実行すると、最初に「LOAD BEGIN」、それに続いて一連の変数設定コマンド、最後に「LOAD END」をテキストデータとして出力します。このテキストデータを設定データとして保存し、のちに送信しますと、保存した設定になります。TELNET用のパスワードなど、いくつかの変数は保存されませんのでご注意ください。設定データをテキストエディタで変更して利用することもできます。なお、「&SAVE」には、エコーバックがありません。変数設定コマンドでは、エラーがあっても無くても表示しません。長いコマンドは分割されます。(最後にハイフンがあると、次に継続することを意味します。)ファイルからのコマンドを実行するときは、「promptMode」を0または1とします。

■ プロンプトやコマンドについて

TELNETからアクセスしたときは、コマンド入力のプロンプトが表示されます。プロンプト表示の有無または表示形式は、コマンドで指定します。制御ユーティリティでは、常に「>」のプロンプトが表示されます。また、「?」だけのコマンドにより、ヘルプとしてコマンドの一覧を表示します。どのコマンドでも最初に「&」をつけることによりエコーバックが無くなります。設定の取得、書き込みのときは、「promptMode」を0または1とします。

| | | |
|-----|---|-----------------------|
| 変数名 | : | promptMode |
| 値 | : | 0(プロンプト表示無し) |
| | : | 1(' >' のプロンプト表示) |
| | : | 2(' 機器名 >' のプロンプト表示) |

2. ターミナルソフトによる設定

1) 本体前面のCOMポートと設定用PCのCOMポートをパソコン用クロスケーブル(Dsub9ピンメス)で接続します。

2) ターミナルソフトを起動し、ポート設定をします。

通信速度 : 38400bps
データビット : 8ビット
ストップビット : 1ビット
parity : なし

3) 任意のキーを入力します。IDとパスワードが要求されます。

4) ユーザーID(デフォルト:admin)とパスワード(デフォルト:magic)を入力し、<Enter>キーで実行します。「OK」の応答があります。

5) 設定したいコマンドや変数などを入力し<Enter>キーで実行します。

6) 設定内容を有効化します。

「write」コマンドを入力し、<Enter>キーを押します。

注意

電源制御可能な他のユーザー(Admin, Control権限)がWEB, TELNET,シリアルいずれかでログイン中の場合、当該方法にて新たにログインすることはできません。
ただし、supervisor権限ではログインすることが可能です。

7) 設定終了後、ターミナルソフトを閉じます。

シリアル通信のコマンドはTELNETと共に通です。ただしIDコマンドとPASSコマンドはご利用いただけません。

第6章 その他の制御

1. TELNET接続による制御

本装置はTELNETサーバープログラムへ接続して、遠隔から電源制御および状態取得ができます。セキュリティ制御の設定がされている場合はその制限内での操作となります。

[1] TELNET接続による制御

- 「スタート」から「ファイル名を指定して実行」を選択し、テキストボックスを開きます。「初期設定」で設定したIPアドレスを以下のように指定し、TELNETで本装置にログインします。

192.168.10.1の場合

| | |
|-------------|----------------|
| IPアドレス | : 192.168.10.1 |
| TELNETポート番号 | : 23 |

「telnet_192.168.10.1_23」

※_はスペースを表します。

- プログラムが起動し、下図のとおり表示されます。

「Noname」は機器名称の設定が反映されます。

| |
|------------------------------------|
| 220 RPC-M5CS (Noname) server ready |
|------------------------------------|

- 任意のキーを入力します。IDとパスワードが要求されます。

- ユーザーID(デフォルト:admin)とパスワード(デフォルト:magic)を入力し、<Enter>キーで実行します。「OK」の応答があります。

- 制御コマンドを入力して、<Enter>キーで実行します。

| |
|--|
| 注意 電源制御可能な他のユーザー（Admin, Control権限）がWEB, TELNET, シリアルなどでログイン中の場合、当該方法にて新たにログインすることはできません。 ただし、supervisor権限ではログインすることが可能です。 |
|--|

■ 応答コマンド

| | |
|--------------------------|--|
| 正常受付 | : Command OK |
| 不正なコマンド | : Unrecognized command |
| 前コマンドの処理中のため コマンド実行せず | : Last command is pending. Command failed. |

2. シリアルからの制御

シリアルポートからコマンド入力で電源制御ができます。

1)本体前面のCOMポートと設定用PCのCOMポートをパソコン用クロスケーブル(Dsub9ピンメス)で接続します。

2)ターミナルソフトを起動し、ポート設定をします。

通信速度 : 38400bps
データビット : 8ビット
ストップビット : 1ビット
パリティ : なし

3)任意のキーを入力します。IDとパスワードが要求されます。

4)ユーザーID(デフォルト:admin)とパスワード(デフォルト:magic)を入力し、<Enter>キーで実行します。「OK」の応答があります。

5)制御コマンドを入力し<Enter>キーで実行します。コマンドは「1.TELNET接続による制御」と共通です。

※詳しくは「■ 制御コマンド一覧表」参照

注意

電源制御可能な他のユーザー（Admin, Control権限）がWEB, TELNET, シリアルなどでログイン中の場合、当該方法にて新たにログインすることはできません。

ただし、supervisor権限ではログインすることが可能です。

3. モデムからの制御

モデム経由で電源制御ができます。

- 1) 本装置COMポートを接続するモデムに合わせて設定します。
- 2) 本体前面のCOMポートとモデムをストレートケーブル(Dsub9ピンメス)で接続します。
- 3) 遠隔地のモデムから接続します。
- 4) 接続されるとIDとパスワードが要求されます。(TELNETと共にです。)
- 5) ユーザーID(デフォルト:admin)とパスワード(デフォルト:magic)を入力します。コマンド入力状態になります。
- 6) 制御コマンドを入力し、<Enter>キーで実行します。
コマンドは「1.TELNET接続による制御」と共通です。
※詳しくは「■ 制御コマンド一覧表」参照

注意

モデム制御ではストレートケーブルが必要です。

電源制御可能な他のユーザー（Admin, Control権限）がWEB, TELNET, シリアルなどでログイン中の場合、当該方法にて新たにログインすることはできません。

ただし、supervisor権限ではログインすることが可能です。

4. メールからの制御

メールを利用して電源制御ができます。

メールからのコマンドを利用するには、通信設定ならびにメール設定を正しく行う必要があります。

注意

●「通信設定-メール設定-通知先設定」の【通知先アドレス】に設定したメールアドレスからのみメール制御できます。

●HTMLメールではメール制御できません。必ずテキスト形式メールをご使用ください。

1. 本装置に、テキスト形式メールを送信します。

件名(タイトル)は特に必要ありません。

本文1行目に「メール制御ユーザー名」を入力します。

本文2行目に「メール制御パスワード」を入力します。

本文3行目以降にコマンドを入力します。

コマンドを入力し改行を入れます。

●コマンドの「LIST」と「&SAVE」は使えません。

(使えるコマンドは「第10章」■制御コマンド一覧表をご覧ください)

本文最終行に「QUIT」コマンドを入力します。

「Q」または「E」の1文字だけでもログアウトできます。

2. 数分後、本装置から結果を知らせるメールが届きます。

注意

メール制御ユーザー名とパスワードについては

「第4章 Webブラウザーでの設定、制御」の「メール設定」をご確認ください。

電源制御可能な他のユーザーがWEBブラウザー、TELNET接続などで、ログイン中の場合、メール制御はできません。WEBブラウザー、TELNET接続などから必ずログアウトしてから、メール制御を実行してください。

5. WEBコマンドからの制御

WEBからダイレクトコマンドで電源制御ができます。

WEBコマンドでの制御方法

WEBコマンドは主に電源制御のためのコマンドであり、設定の変更は出来ません。

cmd.htm の後に下記のフォーマットで記入します。

- 「cmd.htm」の部分を「cmdres.htm」にすると、応答がテキスト形式のみになります。

[「HTTP認証」が「None」の場合]

?userid=[ユーザーID] &password=[パスワード] &command=[利用コマンド]

例:) ユーザーID:admin / パスワード:magic / コマンド:por3

http://192.168.10.1/cmd.htm?userid=admin&password=magic&command=por3

(変数名は省略可能です。「userid」→「i」、「password」→「p」、「command」→「c」)

→ http://192.168.10.1/cmd.htm?i=admin&p=magic&c=por3

- 1回実行するごとに、HTTPのセッションが切れ、ログアウト状態に戻ります。

[「HTTP認証」が「Basic」「Digest」の場合]

?command=[利用コマンド]

例:) コマンド:por3

http://192.168.10.1/cmd.htm?command=por3

(変数名は省略可能です。「userid」→「i」、「password」→「p」、「command」→「c」)

→ http://192.168.10.1/cmd.htm?c=por3

- 実行時、ポップアップでID、PASSが求められます。実行後もHTTPのセッションを保持します。

ログアウトする場合、[http://\[IPアドレス\]/logout](http://[IPアドレス]/logout) を実行してください。

■ダイレクトWEBコマンドでの利用可能コマンド

(第10章 ■制御コマンド一覧表 もご覧ください)

利用可能ユーザーLv[ident control admin supervisor]

| | | | |
|------|------|------|------|
| VER | POS | XPOS | OLS |
| OLSn | TEMP | TOS | TOSn |
| TSP | | | |

利用可能ユーザーLv[control admin]

| | | | |
|--------|------|------|-------|
| PONn | POFn | PORn | MPON |
| MPOF | MPOR | PSRn | PONVn |
| MPONVn | | | |

注意

第4章 3. [3](1)<1>機器情報、[4](1)<3>ダイレクトWEBコマンドの各項目を設定してご利用ください。

第7章 ロギング機能

1. ロギング機能の設定・表示

デバイスの監視やその他のイベントログを1000件記録します。1000件を超えた場合は古いログから消去し、新しいログを記録します。記録されたログは、コマンドで表示・確認できます。

1) TELNETによる設定と表示

記録モード・表示モードの設定及び記録されたログの表示は、それぞれのコマンドを入力し<Enter>キーで実行します。ログインして制御する方法で操作します。

① 記録モードの変数名とコマンド

| | | |
|------|---|----------|
| 変数名 | : | logMode |
| コマンド | : | .logMode |

② 表示モードの変数名とコマンド

| | | |
|------|---|----------|
| 変数名 | : | logDisp |
| コマンド | : | .logDisp |

③ 接続中の表示のみを変更するコマンド

(通信が終了すると「logDisp」の値に戻ります。)

| | | |
|------|---|---------|
| コマンド | : | LOGDISP |
|------|---|---------|

■ ログ制御変数のビット構成

値は最下位を0ビットとし、31ビットの構成になっています。

0:無, 1:有

| ビット | ビット |
|---------------------|-----------------------|
| 31 : 未使用 | 14 : モデム接続・切断 |
| 30 : 未使用 | 13 : TELNETログイン・ログアウト |
| 29 : 未使用 | 12 : TELNET接続・切断 |
| 28 : 未使用 | 11 : Webログイン・ログアウト |
| 27 : 未使用 | 10 : Web接続 |
| 26 : 未使用 | 9 : メールログイン・ログアウト |
| 25 : スクリプト実行/失敗 | 8 : メール不正アクセス |
| 24 : 未使用 | 7 : 未使用 |
| 23 : 未使用 | 6 : 未使用 |
| 22 : 未使用 | 5 : 未使用 |
| 21 : NTPアクセス | 4 : 電源制御コマンド |
| 20 : シリアルログイン・ログアウト | 3 : 未使用 |
| 19 : 未使用 | 2 : ping監視によるイベント |
| 18 : 温度状態変化 | 1 : ping無応答 |
| 17 : 変数設定, write | 0 : ping送信 |
| 16 : 未使用 | |
| 15 : モデムログイン・ログアウト | |

TELNET通信による設定例

- ping監視によるイベント, 電源制御コマンド, 電源障害のログを記録する場合
.logMode=00000000000000000000000000000000110100

- 全て表示する場合

- .logDisp=11111111111111111111111111111111(デフォルト)

- 接続中に「変数設定」だけ表示とする場合

- 変数を変更せずにLOGDISPコマンドで表示を変更できます。

- LOGDISP=00000000000001000000000000000000

■ ログ表示コマンド

| コマンド | 内 容 |
|------------|--|
| LOG | ログの表示(連番号順) |
| LOG n | ログの表示(最新n個) |
| LOGTIME | e = t ログ開始からの経過秒=現在時刻 e0 = t0 NTP接続までの経過秒=最初の取得時刻 NTP無効の場合はeのみ表示 |
| LOGCLEAR | ログのクリア |
| LOGCLEAR T | ログのクリア及び記録時間のリセット |

ログの表示数は20項目です。

<Enter>キーで続きの20項目を表示します。

■ ログの表示形式

nnn ttt a b xxxxxxxx c

| | |
|-------------------|-----------------------|
| nnn | : 連番号 |
| ttt | : NTP無効時:記録開始からの時間(秒) |
| yy.mm.dd hh:mm:ss | : NTP有効時:年月日時分秒 |
| a | : アウトレット番号 |
| b | : PING送信先番号(1~4番) |
| xxxxxxx | : イベント |
| c | : IPアドレス |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|----|----------------|----------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| RPC-M5CS | 0 | Ping送信 | .logMode | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | 1 | Ping無応答 | .logDisp | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | 2 | Ping監視によるイベント | LOGDISP | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | 3 | 不使用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 4 | 電源制御コマンド | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 5 | 不使用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 6 | (UTY接続/切断) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 7 | (UTYログイン/アウト) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 8 | メール不正アクセス | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 9 | メールログイン/アウト | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 10 | WEB接続 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 11 | WEBログイン/アウト | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 12 | Telnet接続/切断 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 13 | Telnetログイン/アウト | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 14 | モデム接続/切断 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 15 | モデムログイン/アウト | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 16 | 不使用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 17 | 変数設定,write | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 18 | 温度状態変化 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 19 | 不使用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 20 | シリアルログイン/アウト | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 21 | NTPアクセス | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 22 | 不使用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 23 | 不使用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 24 | 不使用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 25 | スクリプト実行/失敗 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 26 | 不使用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 27 | 不使用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 28 | 不使用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 29 | 不使用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 30 | 不使用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 31 | 不使用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(表内はデジタルト値)

■ 記録ログ一覧表

| | |
|----------------------------------|-------------------------------|
| 監視設定に基づくイベント(記録・表示のモード設定があります。) | |
| Ping | ping送信 |
| No Echo | ping無応答 |
| 監視設定(Action)に基づくイベント | |
| No Action | 処理なし |
| Outlet Reboot | 電源リブート |
| Outlet On | 電源ON |
| Outlet Off | 電源OFF |
| スケジュールの場合は、「by Schedule」と表示されます。 | |
| 電源制御によるイベント | |
| MPON | 全アウトレットの電源出力開始 |
| MPOF | 全アウトレットの電源出力停止 |
| MPOR | 全アウトレットの電源リブート |
| PON | 指定されたアウトレットの電源出力開始 |
| POF | 指定されたアウトレットの電源出力停止 |
| POR | 指定されたアウトレットの電源リブート |
| アクセスによるイベント(接続先IDが表示されます。) | |
| --> Web | Web接続 |
| ==> Web | Webログイン |
| <== Web | Webログアウト(切断) |
| <-- Web | ログインしないで切断 |
| MAIL,TELNETの接続、ログインなどもこれに準じます | |
| NTPServerAccessError | NTPサーバー接続エラー (3回続けて失敗した場合) |
| NTP --- hh:mm:ss | NTPサーバー接続 |
| modeに関係のない表示 | |
| Mail Error | メール送信エラー |

第8章

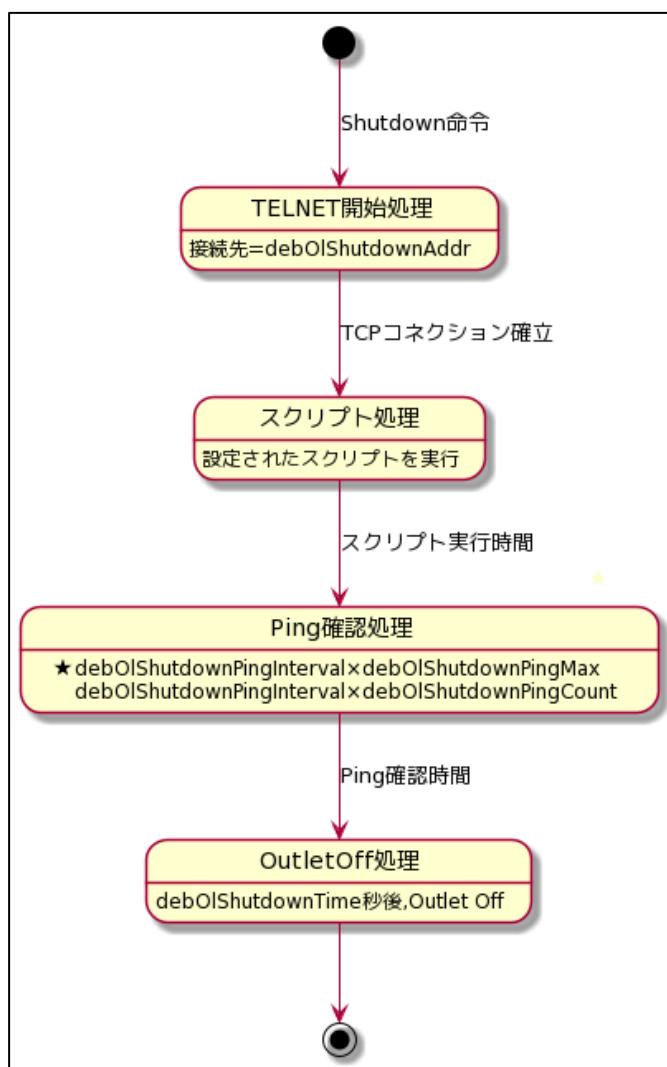
シャットダウン スクリプト

1. スクリプト仕様について

本装置はシャットダウンスクリプトを搭載しています。この機能により、接続された機器を正常にシャットダウンさせて終了させた後で本装置のアウトレットをOFFにすることができます。

[1] スクリプト実行機能の基本動作

- ① アウトレットがOFF命令を受け、シャットダウン遅延中に動作します。OFF命令はコマンド、温度監視、スケジュール、死活監視、ハートビート監視より出されます。(リブートによるOFF時は実行されません。)
- ② 指定のIPアドレス、ポートにTELNET接続を行います。
- ③ 接続後、設定したスクリプトを実行します。スクリプトの終了コードにより電源OFF条件を定めることができます。
- ④ スクリプト実行後、シャットダウンPING実行先を指定しているなら、指定秒数間隔でPING監視を行い、無応答が指定回数[シャットダウンPING回数]に達した、またはICMPエコー要求を指定回数[シャットダウンPING最大送信数]発信した時、PING応答確認を終了します。（[6]参照）
- ⑤ アウトレットOFF処理を開始します。（OFF遅延時間経過後、OFFにします）



[2] 設定

(第1章2.[1](2)<1>[1]シャットダウンスクリプト設定をご参考ください。ブラウザから設定できます。)
本機をTELNET接続、シリアルポートからターミナルソフトにて下記の項目を設定してください。(アウトレットごとに以下の設定をします。)

| | | |
|-------------|---|---|
| IPアドレス | : | debOlShutdownAddr |
| Port番号 | : | debOlShutdownPort 0を指定すると、23と見なします。 |
| スクリプト番号 | : | debOlShutdownScript |
| スクリプトの有効／無効 | : | debOlShutdownEnabled |
| サーバー名(ID) | : | debOlShutdownName |
| パスワード | : | debOlShutdownPassword |
| PING実行先 | : | debOlShutdownPingAddr PINGでシャットダウン終了を確認します。 IPアドレスまたはドメイン名を設定します。 |
| PING間隔 | : | debOlShutdownPingInterval |
| PING回数 | : | debOlShutdownPingCount |
| PING限度 | : | debOlShutdownPingMax |
| 電源OFF条件 | | debOlShutdownOffMax |

[3] ログ

- ① スクリプトの成功または失敗をログと変数に残します。
変数はdebOlShutdownExitとdebOlShutdownMsg
この変数の値は保存されます。

[4] テキスト仕様

① 条件

- ・ テキストサイズは、2Kbyteまでです。
- ・ テキスト行数は250行までです。
- ・ テキストの第1行は、TELNETとします。
- ・ 行の先頭やパラメータの区切りに任意個のタブや空白を入れてもかまいません。
- ・ スクリプト関数は大文字でも小文字でも可能です。
- ・ 2バイト文字にも対応しています。

② スクリプト関数詳細

| | | |
|------------|---|---|
| 文字列 | : | 二重引用符「”」で囲みます。 CRコードは ¥r LFコードは ¥n で表します。 また、1個の ¥は ¥¥ 1個の ”は ¥”で表します。 制御コード等は ¥xnn nnは2桁の16進数で表します。 (長さは最大63バイト) |
| timeout 時間 | : | 単位(秒)スクリプトタイムアウト 最大1023(秒)(スクリプト例は600秒) 時間が来たら強制的にスクリプトを終了します。 (終了コードは255) |

| | | |
|-----------------------|---|---|
| delay 時間 | : | 単位100ミリ(秒),一時停止,最大1023 |
| goto ラベル | : | 指定ラベルに飛びます。 |
| ラベル | : | ラベルは1~99 行の残りにはコメントしか書くことはできません。 |
| exit 終了コード | : | スクリプト終了 終了コードは0~255。省略は0 変数debOlShutdownExitに設定されます。 |
| send 文字列 | : | 文字列を送信します。 |
| recv | : | データを受信バッファに受信します。 |
| recv 時間 goto ラベル | : | データを受信バッファに受信します。時間単位(秒) 時間内に受信できなければラベルに飛びます。 |
| recv 時間 exit 終了コード | : | |
| if 文字列 goto ラベル | : | 受信バッファに文字列があればラベルに飛びます。 |
| if 文字列 exit 終了コード | : | 受信バッファに文字列があれば終了します。 |
| unless 文字列 goto ラベル | : | 受信バッファに文字列が無ければラベルに飛びます。 |
| unless 文字列 exit 終了コード | : | |
| / | : | コメント 各文の終わりにも / を置いてコメントを書くことができます。 |
| set 文字列 | : | メッセージ変数debOlShutdownMsgに文字列を入れます。 |
| sendname | : | サーバー名(ID)をCRコードつきで送信します。 |
| sendpassword | : | パスワードをCRコードつきで送信します。 |

(3) スクリプト例(Wiindows用)

```

TELNET
//強制タイムアウト時間 600秒
timeout 600
//ユーザーログイン, パスワード確認
1:
recv 30 exit 91
unless "login:" goto 1
sendname
2:
recv 30 exit 92
unless "password:" goto 2
sendpassword
3:
recv
unless ">" goto 3

//シャットダウンコマンド送信
send "shutdown /s$^r"
4:
recv
unless ">" goto 4
send "exit$^r"
exit

```

④ スクリプト入力

SCRIPTコマンドで始めます。

SCRIPT 番号

番号は1~4

ENDSCRIPTコマンドで終わります。

変数script1~script4に格納します。コメントや余分のタブ・空白は格納しません。

エラーがある場合は、エラーを表示し、格納しません。

[5] エラー処理

スクリプト実行時にエラーが生じた時、下記のエラーコードで終了します。

1~252 : ユーザーが定義可能なエラーコード

スクリプト関数を利用して、独自のエラーコードを定めることができます。

253 : ログインエラー

TELNETでの接続はできたが、IDもしくはパスワードが異なっていた。

254 : 接続エラー

TELNETでの接続ができなかった。

255 : タイムアウトエラー

スクリプト実行中にtimeoutコマンドで設定した時間が経過してしまった。

注意

ログインは管理者権限で行う必要があります。

シャットダウンされる側のパソコンは、TELNETサーバー機能が有効になっている必要があります。

弊社のホームページで公開している「MRCシャットダウンSv」をご利用いただくことも可能です。[\(https://www.meikyo.co.jp/archive/\)](https://www.meikyo.co.jp/archive/)

[6] PING確認について

スクリプト実行が終了すると、終了コードが何であってもPING確認を実行します。

PING確認では、PING実行先が指定されていれば、指定間隔でPINGを送信します。

PING回数だけ連続して未応答の場合、PING確認を終了します。

PING限度だけ送信すると、PING確認を終了します。

PING実行先が指定されていなければ、すぐにPING確認を終了します。

PING確認を終了すると、debOlShutdownTimeの遅延後にアウトレットの電源をOFFします。

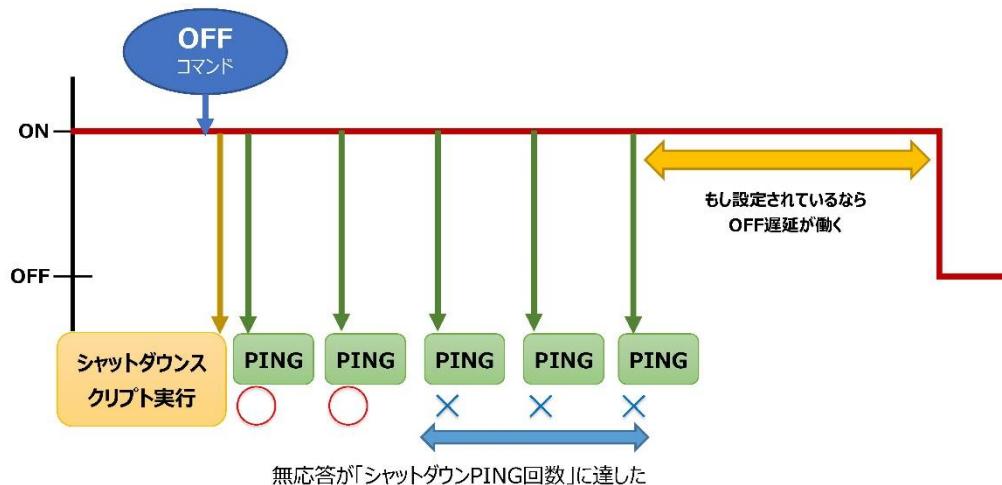
●シャットダウンPING監視先が設定されている場合の流れ

次のような設定をしている場合

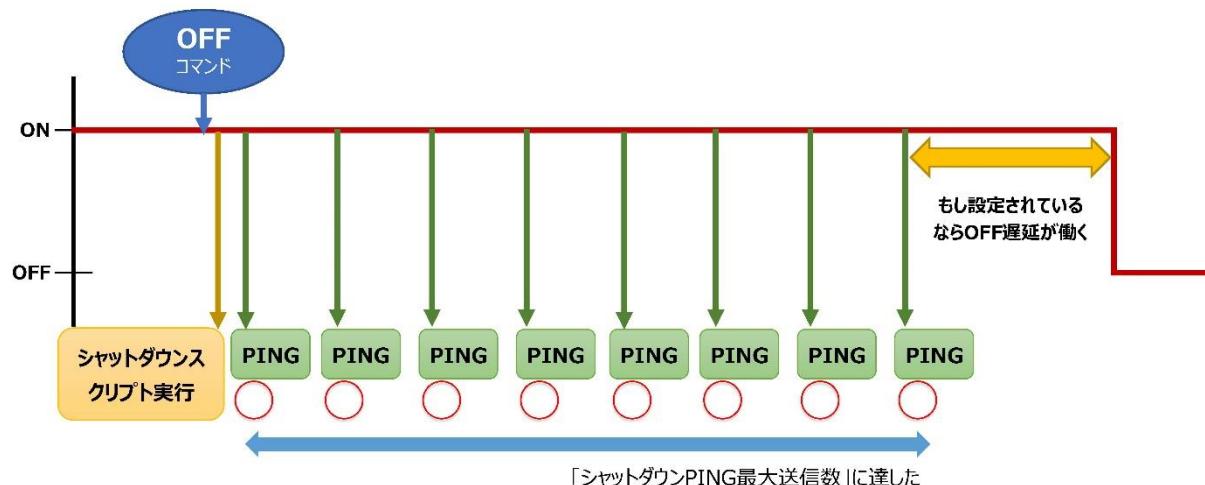
| | |
|---------|--------------|
| PING実行先 | 192.168.1.90 |
| PING間隔 | 5 |
| PING回数 | 3 |
| PING限度 | 8 |

(シャットダウンしたいPCのIPアドレスが192.168.1.90だとします)

◆PCが安全にシャットダウンでき、PING監視が無応答になった場合



◆PING監視に対して応答がある場合



第9章 SNMPについて

1. SNMPについて

本装置はSNMPエージェント機能を装備しています。SNMPマネージャーを利用して、ネットワークシステムの電源管理を行うことができます。

●SNMPでは電源制御は行えません。

2. 機器設定

本装置をTELNET接続にて下記の項目を設定してください。「その他の制御」を参照してください。

① SNMPのSET, GET有効化

| | | |
|-------|---|-------------------|
| 変数 | : | snmpGetSetEnabled |
| デフォルト | : | 0 (0:無効 1:有効) |

② SNMP TRAPの有効化

| | | |
|-------|---|------------------|
| 変数 | : | snmpTrapEnabled |
| デフォルト | : | 0 (0:無効 1:有効) |

③ SNMP不正アクセス時の
TRAP通知

| | | |
|-------|---|-----------------------|
| 変数 | : | snmpAuthenTrapEnabled |
| デフォルト | : | 2 (1:有効 2:無効) |

④ TRAP送信回数

| | | |
|-------|---|---------------|
| 変数 | : | snmpTrapSendN |
| デフォルト | : | 1 (1~9) |

⑤ TRAP送信間隔(秒)

| | | |
|-------|---|----------------------|
| 変数 | : | snmpTrapSendInterval |
| デフォルト | : | 1 (1~9) |

⑥ TRAP送信先アドレス

| | | |
|-------|---|--|
| 変数 | : | snmpTrapAddr |
| デフォルト | : | 0.0.0.0,0.0.0.0,0.0.0.0,0.0.0.0, 0.0.0.0,0.0.0.0,0.0.0.0,0.0.0.0 (8箇所) |

⑦ SNMP用フィルターの有効化

変数 : snmpFilterEnabled
 デフォルト : 0
 (0:無効 1:有効)

⑧ フィルター有効時許可するアドレス

変数 : snmpFilterAddr
 デフォルト : 0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0,
 0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0,
 0.0.0.0.0.0.0.0
 (10箇所)

⑨ フィルター有効時のMask

変数 : snmpFilterEnabled
 デフォルト : 255.255.255.255,255.255.255.255,
 255.255.255.255,255.255.255.255,
 255.255.255.255,255.255.255.255,
 255.255.255.255,255.255.255.255,
 255.255.255.255,255.255.255.255
 (10箇所)

⑩ SNMP GETコミュニティ名

変数 : getCommunity
 デフォルト : Public

⑪ SNMP SETコミュニティ名

変数 : setCommunity
 デフォルト : Public

⑫ SNMP TRAPコミュニティ名

変数 : trapCommunity
 デフォルト : Public

3. MIBについて

本機を管理するためのプライベートMIBを準備しています。

当社ホームページ(<https://www.meikyo.co.jp/download/>)よりMEIKYO.MIBをダウンロードし
ご利用ください。

プライベートMIBファイルをNMSにロード・コンパイルすることにより、本機の管理をNMS上で
行うことができます。

注意

MIBのロード・コンパイル使用方法についての詳細は、ご利用される
NMSのマニュアルを参照してください。

第10章

ネットワーク

稼動監視

1. 機器設定

本装置からUDPのパケットを送出し、電源状態を通知することができます。

「RPC EYE V4」「RPC EYE V4 Pro」(オプション 有償ソフトウェア)を利用すれば、各機器からのパケットを受信し一元管理することができます。

下記の変数を設定してください。(①～④はWEB通信詳細画面により設定できます)

① 状態通知機能

| | | |
|-------|---|------------------|
| 変数 | : | msrpEnabled |
| デフォルト | : | 0 (0:無効 1:有効) |

RPC EYE V4を使用するパソコンのアドレスを設定します。

② 送信先アドレス

| | | |
|-------|---|----------------------------------|
| 変数 | : | ipAdCenter |
| デフォルト | : | 0.0.0.0,0.0.0.0,0.0.0.0 (3箇所) |

RPC EYE V4を使用するパソコンのポート番号を設定します。

③ ポート番号

| | | |
|-------|---|------------|
| 変数 | : | centerPort |
| デフォルト | : | 5000 |

情報を通知する間隔を設定します。

④ 定期通知の送信間隔(秒)

| | | |
|-------|---|-----------------|
| 変数 | : | centerSendTimer |
| デフォルト | : | 300 |

電源変化時は、定期通知間隔を待たず直ちに通知します。その時の通知回数を設定します。

⑤ 電源変化時の通知回数

| | | |
|-------|---|-----------------------|
| 変数 | : | centerChangeSendCount |
| デフォルト | : | 3 |

電源変化時の通知の2回目以降の通知間隔を設定します。

⑥ 電源変化時の通知間隔(秒)

| | | |
|-------|---|-----------------------|
| 変数 | : | centerChangeSendTimer |
| デフォルト | : | 10 |

2. RPC EYE V4の利用

RPC EYE V4は、RPCシリーズからの送信情報をを利用して、各拠点のネットワークの稼動状態をリアルタイムで監視するネットワーク稼動監視ソフトです。

以下の特長があります。

- ・死活監視 温度状態 電源状態の表示と監視
- ・アイコンによるビジュアルな状態表示
- ・リアルタイムに見られる詳細な情報ビューア
- ・温度状態のグラフによる表示
- ・受信情報のデータ保存(CSV形式)
- ・状態変化時にE-MAILまたは音による通知機能
- ・個別の機器への接続機能(HTML or TELNET)
- ・1本のソフトでPC3台まで利用できます。
- ・(PRO版)グループ単位での設定書き込み
- ・(PRO版)グループ電源制御

詳細、購入方法等は下記のアドレスで確認ください。

<https://www.meikyo.co.jp/download/>

設定前の確認

設定用PCと本装置をLANで確実に接続してください。

RPC EYE V4をPCにインストールしてください。

RPC EYE V4はWindows対応ソフトです。

RPC EYE V4の設定、利用方法は、RPC EYE V4説明書(PDFファイル)をご覧下さい。

第11章 仕様一覧

■変数一覧表

| 変 数 名 | 初 期 値 | 内 容 | 備 考 |
|-----------------------|---|-------------------------|--------------------|
| ipAdEntAddr | 192.168.10.1 | IPアドレス | |
| ifPhysAddress | (機器毎) | MACアドレス(ReadOnly) | |
| serialNo | | 未使用 | |
| sysName | Noname | 機器名称 | 全角9文字 半角19文字以内 |
| snmpGetSetEnabled | 0 | SNMPのSET, GETの有効化 | 0:無効 1:有効 |
| snmpTrapEnabled | 0 | SNMP TRAPの有効化 | 0:無効 1:有効 |
| snmpAuthenTrapEnabled | 2 | SNMP不正アクセス時のTRAP通知 | 1:有効 2:無効 |
| snmpTrapSendN | 1 | TRAP送信回数 | 1~9 |
| snmpTrapSendInterval | 1 | TRAP送信間隔(秒) | 1~9 |
| snmpTrapAddr | | TRAP送信先アドレス | ,” 区切りで8箇所まで |
| snmpFilterEnabled | 0 | SNMP用フィルターの有効化 | 0:無効 1:有効 |
| snmpFilterAddr | | SNMP用フィルター有効時許可するアドレス | ,” 区切りで10箇所まで |
| snmpFilterMask | 255.255.255.255, 255.255.255.255, 255.255.255.255, 255.255.255.255, 255.255.255.255, 255.255.255.255, 255.255.255.255, 255.255.255.255, 255.255.255.255, 255.255.255.255 | SNMP用フィルター有効時のMask | 10箇所 |
| getCommunity | public | SNMP GETコミュニティ名 | 半角20文字以内 |
| setCommunity | public | SNMP SETコミュニティ名 | 半角20文字以内 |
| trapCommunity | public | SNMP TRAPコミュニティ名 | 半角20文字以内 |
| sysDescr | *1文字列 | (ReadOnly) | |
| sysContact | form@meikyo.co.jp | 連絡先 | |
| sysLocation | Nowhere | 設置場所 | 全角31文字 半角63文字以内 |
| ifDescr | *2文字列 | (ReadOnly) | |
| ipAdEntNetMask | 255.255.255.0 | ネットマスク | |
| ipRouteDest | | デフォルトゲートウェイ | |
| netBootpRetry | 0 | BOOTPリトライ回数 | |
| netRarpRetry | 0 | RARPリトライ回数 | |
| telnetEnabled | 0 | TELNETの有効化 | 0:無効 1:有効 |
| telnetPort | 23 | TELNETのポート番号 | |
| rshdEnabled | 0 | リモートシェル(rsh)設定 | 0:無効 1:有効 |
| rshdPort | 514 | リモートシェル(rsh)に使用する着信ポート | |
| rshErrPort | 1000 | リモートシェル(rsh)に使用するエラーポート | |
| utilityPort | 9000 | UTYのポート番号 | |
| fileLoadPort | 9200 | HTMLファイルをロードするポート | |
| httpEnabled | 1 | HTTPの有効化 | 0:無効 1:有効 |
| httpPort | 80 | HTTPのポート番号 | |
| httpRefreshInterval | 30 | HTTP自動更新間隔(秒) | |
| httpRefreshEnabled | 0 | HTTP自動更新の有効化 | 0:無効 1:有効 |
| httpCommandEnabled | 0 | HTTPコマンドの有効化 | 0:無効 1:有効 |
| dhcpEnabled | 0 | DHCPの有効化 | 0:無効 1:有効 |

| | | | |
|---------------------|---|---------------------------------|--|
| ipFilterEnabled | 0 | IPフィルターの有効化 | 0:無効 1:有効 |
| ipFilterAddr | 192.168.10.0 | IPフィルターアドレス | ,” 区切りで10箇所まで |
| ipFilterMask | 255.255.255.0, 255.255.255.255, 255.255.255.255, 255.255.255.255, 255.255.255.255, 255.255.255.255, 255.255.255.255, 255.255.255.255, 255.255.255.255, 255.255.255.255 | IPフィルターマスク | 10箇所 |
| model | RPC-M5CS | モデル名(ReadOnly) | |
| com1Speed | 3 | シリアル通信速度 | 1:9600Bps 2:19200Bps 3:38400Bps |
| com1DataBits | 8 | シリアル通信ビット | 7,8 |
| com1StopBits | 1 | シリアル通信ストップビット | 1,2 |
| com1Parity | 0 | シリアル通信パリティ | 0:無 1:奇 2:偶 |
| version | | バージョン表示(ReadOnly) | |
| debTcpInactiveTimer | 10 | TELNET通信時の無通信タイマー(分) | |
| autoLogoutEnabled | 1 | 自動ログアウト監視の有効化 | 0:無効 1:有効 |
| userLoginTimeout | 600 | HTTP自動ログアウト時間 | 30~30000 |
| debMasterRebootTime | 10 | 全アウトレットリブート時のOFF時間(秒) | 8~3600 |
| debOlMaster | 1,2,3,4 | 各アウトレットの運動設定 | 左→右 1→4アウトレット デフォルト時, 運動無し |
| debOlPowerOnTime | 1,2,3,4 | 各アウトレットのON時間 | 左→右 1→4アウトレット -1~3600 |
| debOlPowerOnSTime | 1,2,3,4 | 本体運動時に適用する電源出力 ON遅延時間(単位:秒) | 左→右 1→4アウトレット -1~3600 |
| debOlPowerOnTTime | 0,0,0,0 | スケジュールに適用する電源出力 ON遅延時間(単位:秒) | 左→右 1→4アウトレット 0~3600 |
| debOlShutdownTime | 0,0,0,0 | 各アウトレットのOFF時間 | 左→右 1→4アウトレット -1~3600 |
| debOlRebootTime | 10,10,10,10 | 各アウトレットのREBOOT時間 | 左→右 1→4アウトレット 8~3600 |
| debOlWdogAddr | | 監視先IPアドレス | 左→右 1→4アウトレット ,” 区切りで4箇所まで |
| debOlWdogSendMax | 10,10,10,10 | PING監視 送信回数 | 左→右 1→4アウトレット 1~100 |
| debOlWdogNoResMax | 10,10,10,10 | PING監視 無応答回数 | 左→右 1→4アウトレット 1~100 |
| debOlWdogActCond | 1,1,1,1 | PING監視 監視対象数 | 左→右 1→4アウトレット 1~4 |
| debOlWdogAction | 0,0,0,0 | PING監視 Action | 左→右 1→4アウトレット 0:無動作 1:ログのみ 2:リブート 3:ON 4:OFF |
| debOlWdogActCount | 0,0,0,0 | PING監視 Action回数(ReadOnly) | 左→右 1→4アウトレット |
| debOlWdogStatus | 0,0,0,0 | PING監視判断(ReadOnly) | 左→右 1→4アウトレット 0:未設定 1:正常 2:異常 3:回復中 |
| debOlRebootCount | 1,1,1,1 | PING監視 再Reboot回数 | 左→右 1→4アウトレット 1~100 |
| debOlRebootInterval | 1,1,1,1 | PING監視 再Reboot間隔(分) | 左→右 1→4アウトレット 1~60 |
| debOlActionLimit | 0,0,0,0 | PING監視 異常時の1時間ごとに繰り返すリブート回数 | 左→右 1→4アウトレット 0:無制限 |

| | | | |
|---------------------------|-------------------------------------|--------------------------|---|
| debOlRecvErrorMax | 0,0,0,0 | メールサーバー監視 接続障害回数 | 左→右 1→4アウトレット 0:機能無効 |
| debOlWdogLastStatus | 0,0,0,0,0,0,0, 0,0,0,0,0,0,0,0 | PING監視 最終応答(ReadOnly) | 左→右 1→4アウトレット 0:未設定 1:正常 2:異常 ”,” 区切りでアウトレット×4 |
| debOlWdogDefGateway | 0,0,0,0,0,0,0, 0,0,0,0,0,0,0,0 | PING監視 デフォルトゲートウェイ | 左→右 1→4アウトレット 0:無効 1:有効 ”,” 区切りでアウトレット×4 |
| debOlNoResCount | 0,0,0,0,0,0,0, 0,0,0,0,0,0,0,0 | PING監視 無応答回数(ReadOnly) | 左→右 1→4アウトレット ”,” 区切りでアウトレット×4 |
| debOlRespTime | 0,0,0,0,0,0,0, 0,0,0,0,0,0,0,0 | PING監視 IPアドレスからの応答時間(ms) | 左→右 1→4アウトレット 0:未設定 1:PING応答の最小値 ”,” 区切りでアウトレット×4 |
| debOlActionMax | 12 | PING監視 異常回数 | |
| debOlNoEchoInterval | 5 | PING監視 無応答検出時間(秒) | 5~60 |
| debOlPingInterval | 1 | PING監視 送信間隔(分) | 1~60 |
| pingInterval2 | 0,0,0,0 | PING監視 送信間隔個毎(分) | 左→右 1→4アウトレット 0~60 0:未設定 |
| debOlName | Outlet1,Outlet2, Outlet3,Outlet4 | アウトレット名 | 全角10文字 半角20文字以内 |
| debOlNameV | | 仮想アウトレットの名称 | 全角10文字 半角20文字以内 |
| debOlPowerOnTimeV | 0,0,0,0,0,0,0 | 仮想アウトレット用のON遅延時間 | 左→右 1→8アウトレット -1~3600 |
| errorN | 0 | シャットダウンスクリプト中の検出エラー数 | |
| debOlShutdownAddr | | シャットダウンスクリプトの IPアドレス | |
| debOlShutdownPort | 0,0,0,0 | シャットダウンスクリプトのPort番号 | |
| debOlShutdownScript | 1,1,1,1 | シャットダウンスクリプトのスクリプト番号 | |
| debOlShutdownEnabled | 0,0,0,0 | シャットダウンスクリプトの有効化 | 0:無効 1:有効 |
| debOlShutdownName | | シャットダウンスクリプトのサーバー名(ID) | 半角16字以内 |
| debOlShutdownPassword | | シャットダウンスクリプトのパスワード | 半角16字以内 |
| debOlShutdownMsg | | シャットダウンスクリプトの成功,失敗ログ | |
| debOlShutdownExit | 0,0,0,0 | シャットダウンスクリプトの成功,失敗変数 | |
| debOlShutdownPingAddr | | シャットダウンスクリプトのPING実行先 | |
| debOlShutdownPingInterval | 0,0,0,0 | シャットダウンスクリプトのPING間隔 | |
| debOlShutdownPingCount | 0,0,0,0 | シャットダウンスクリプトのPING回数 | |
| debOlShutdownPingMax | 0,0,0,0 | シャットダウンスクリプトPING限度 | |
| debOlShutdownDebug | 0 | シャットダウンスクリプトのエラー処理 | 0:無効 1:有効 |
| debOlShutdownOffMax | 255 | シャットダウンスクリプトの電源OFF制限 | |
| debOlControlActivated | 0 | 電源制御制限同意フラグ | 0:非同意 1:同意 |
| tempEnabled | 0 | 温度監視の有効化 | 0:無効 1:有効 |
| tempTestMode | 0 | 温度テストモードの有効化 | 0:無効 1:有効 |
| tempSimMode | 0 | 温度シミュレーションモード | 0:無効 1:有効 |
| tempLowerA | -5 | 下限警報閾値 | 小数点以下は0.25の倍数となる。 |
| tempLowerW | 0 | 下限注意閾値 | |
| tempLowerH | 2 | 下限ヒステリシス | |
| tempLowerOff | 1 | 低温アウトレット解除 | 0:無効 1:有効 |
| tempUpperA | 45 | 上限警報閾値 | 小数点以下は0.25の倍数となる。 |
| tempUpperW | 35 | 上限注意閾値 | |
| tempUpperH | 2 | 上限ヒステリシス | |
| tempUpperOff | 1 | 高温アウトレット解除 | 0:無効 1:有効 |

| | | | |
|----------------------|--|--|--|
| tempOlControl | 0,0,0,0 | 温度によるアウトレット動作 | 0:無効 1:上限警報ON 2:下限警報ON 3:上限警報OFF 4:下限警報OFF |
| tempStatus | | 温度状態 | 0:正常 1:上限注意 2:上限警報 3:下限注意 4:下限警報 |
| tempActionStatus | 0 | 温度による動作状態 | 0:正常(解除済) 1:上限警報実行 2:下限警報実行 |
| tempDegree | | 温度測定値(°C) | 小数点第二位まで表示 |
| tempMaxDegree | | 最高温度 | |
| tempMinDegree | | 最低温度 | |
| tempMaxDegreeTime | | 最高温度記録時間 | |
| tempMinDegreeTime | | 最低温度記録時間 | |
| schEnabled | 0,0,0,0,0,0,0,0,0, 0,0,0,0,0,0,0,0,0 | スケジュールの有効化 | 0:無効 1:有効 |
| schDay | 0,0,0,0,0,0,0,0,0, 0,0,0,0,0,0,0,0,0 | スケジュール曜日(全20個) | 0:毎日 1:日 2:月 3:火 4:水 5:木 6:金 7:土 |
| schHour | 0,0,0,0,0,0,0,0,0, 0,0,0,0,0,0,0,0,0 | スケジュール時間(全20個) | 0~23 |
| schMinute | 0,0,0,0,0,0,0,0,0, 0,0,0,0,0,0,0,0,0 | スケジュール分(全20個) | 0~59 |
| schOutletNo | 0,0,0,0,0,0,0,0,0, 0,0,0,0,0,0,0,0,0 | スケジュールアウトレット(全20個) | 0:全アウトレット 1~4:アウトレットNo 100:全仮想アウトレット 101~108:仮想アウトレット1~8 |
| schAction | 0,0,0,0,0,0,0,0,0, 0,0,0,0,0,0,0,0,0 | スケジュールアクション(全20個) | 0:無動作 1:リブート 2:電源ON 3:電源OFF 4:定時メール |
| ipAdDnsServer | | DNSサーバーアドレス | |
| mailUserName | | メール ユーザー名 | 半角63文字以内 |
| mailPassword | | メール パスワード | 半角40文字以内 |
| mailCommandLoginName | | メール コマンドユーザ名 | 半角63文字以内 |
| mailCommandPassword | | メール コマンドパスワード | 半角63文字以内 |
| mailLastEvent | | 最新のイベント内容を保管 | |
| mailContent | sysName, sysLocation, ipAdEntAddr, ifPhysAddress, mailExtraMsg1, mailLastEvent | 通知メールの内容 | 最大8パターンまで SysName/sysLocation/ipAdEntAddr IfPhysAddress/mailLastEvent mailExtraMsg1/mailExtraMsg2 mailExtraMsg3” |
| mailAddr | | メールアドレス | |
| mailExtAddr | | 送信先メールアドレス | 24アドレス |
| mailInfoFlag | 1.1.1.1.1.1.1, 1.1.1.1.1.1.1, 1.1.1.1.1.1.1, 0.0.0.0.0.0.0, 0.0.0.0.0.0.0, 0.0.0.0.0.0.0, 0.0.0.0.0.0.0, | PING監視 メール送信有効化 コンマ区切りで表示。 イベント テスト 宛先タイプ TO 8アドレス分 イベント テスト 宛先タイプ CC 8アドレス分 イベント テスト 宛先タイプ BCC 8アドレス分 イベント PING 宛先タイプ TO 8アドレス分 イベント PING 宛先タイプ CC 8アドレス分 イベント PING 宛先タイプ BCC 8アドレス分 イベント 温度 宛先タイプ TO 8アドレス分 | 0:無効 1:有効 |

| | | | |
|------------------------|---|--|--|
| | 0.0.0.0.0.0.0, 0.0.0.0.0.0.0, 0.0.0.0.0.0.0, 0.0.0.0.0.0.0, 0.0.0.0.0.0.0, 0.0.0.0.0.0.0, 0.0.0.0.0.0.0, 0.0.0.0.0.0.0, 0.0.0.0.0.0.0, 0.0.0.0.0.0.0 | イベント 温度 宛先タイプ CC 8アドレス分 イベント 温度 宛先タイプ BCC 8アドレス分 イベント 定時メール 宛先タイプ TO 8アドレス分 イベント 定時メール 宛先タイプ CC 8アドレス分 イベント 定時メール 宛先タイプ BCC 8アドレス分 イベント ハートビート 宛先タイプ TO 8アドレス分 イベント ハートビート 宛先タイプ CC 8アドレス分 イベント ハートビート 宛先タイプ BCC 8アドレス分 | |
| mailCommandEnabled | 0 | メールコマンドの有効化 | 0:無効 1:有効 |
| mailCommandAddrEnabled | 1 | <不使用> | <不使用> |
| mailRecvProtocol | 1 | メール受信プロトコル | 1:POP3 2:IMAP |
| mailLogoutTime | 10 | <不使用> | <不使用> |
| mailCheckInterval | 3 | メールチェック間隔(分) | 1~60 |
| mailApopEnabled | 0 | APOPの有効化 | 0:無効 1:有効 |
| mailSsmtpAuthEnabled | 0 | SMTPAUTHの有効化 | 0:無効 1:有効 |
| mailSsmtpAuthMask | 7 | SMTPAUTHのMask | |
| mailImapAuthMask | 6 | IMAP AUTHのMask | |
| mailRetryCount | 3 | メールリトライ回数 | 1~99 |
| mailRetryInterval | 10 | メールリトライ間隔(秒) | 1~999 |
| mailRecvPort | 110 | メール受信ポート | 0~65535 |
| mailSendPort | 25 | メール送信ポート | 0~65535 |
| mailExtraMsg | ¥r¥n | 通知メール ユーザー定義文字列 | 最大3/パターンまで 全角21文字 半角40文字以内 (¥r¥nは改行コードの意味) |
| promptMode | 2 | TELNETプロンプトモード | 0:無し 1:>の表示 2:>[機器名]>の表示 |
| modemEnabled | 0 | モデムの有効化 | 0:無効 1:有効 |
| modemTimeout | 10 | モデムタイムアウト時間(分) | |
| logMode | 0111 1111 1111 1111 1111 1111 1111 0100 | ログ記録モード(31ビット) | 0:無効 1:有効 |
| logDisp | 0111 1111 1111 1111 1111 1111 1111 1111 | ログ表示モード(31ビット) | 0:無効 1:有効 |
| mailLogCount | 0 | メールで送信する更新されたログの数 | 0:無効 1~20:閾値 |
| mailLogDisp | 0111 1111 1111 1111 1111 1111 1111 1111 | メールログ表示モード(31ビット) | 0:無効 1:有効 |
| ipAdNtpServer | | NTPサーバーのIPアドレス | |
| ntpInterval | 6 | NTPサーバーへのアクセス間隔(×10分) | |
| msrpEnabled | 0 | 状態通知の有効化 | 0:無効 1:有効 |
| ipAdCenter | | MSRP送信先IPアドレス | 3箇所まで |
| centerPort | 5000,5000,5000 | MSRP送信先ポート番号 | |
| terminalId | 0 | <不使用> | <不使用> |
| centerSendTimer | 300 | 監視青報送信間隔(秒) | |
| centerChangeSendTimer | 10 | 状態変化時の送信間隔(×100ミリ秒) | |

| | | | |
|-----------------------|---|---|---|
| centerChangeSendCount | 3 | 状態変化時の送信回数 | |
| ipAdTelnetT | | TELNETからのTELNET中継先アドレス | |
| ipAdTelnetU | | UTYからのTELNET中継先アドレス | |
| remoteTelnetPortT | 23 | TELNETからのTELNET中継先ポート | |
| remoteTelnetPortU | 23 | UTYからのTELNET中継ポート | |
| remoteTelnetMyPort | 5000 | TELNET中継時の発信ポートベース番号 | |
| discChar | | 中継中の通信切断キャラクター | |
| debWakeUpPhysAddr | ,,, | WOL MACアドレス | ,,, 区切りで4箇所まで |
| debWakeUpMaxCount | 2 | マジックパケット送信回数 | |
| debWakeUpInterval | 15 | マジックパケット送信間隔(秒) | |
| debWakeUpPhysAddrV | ,,,,,, | 仮想アウトレット WOL MACアドレス | ,,, 区切りで8箇所まで |
| ipAdMailRecvServer | | メール受信サーバーアドレス | |
| ipAdMailSendServer | | メール送信サーバーアドレス | |
| etherSpeed | 2 | 接続速度 | 0:接続していない 1:10.0Mbps 2:100.0Mbps |
| pingPktSize | 16 | PINGパケットのデータ長 | 16~1472 |
| resetCause | | リセット原因表示 | |
| recvErrorCount | 0 | PING監視 メールサーバーへのアクセスエラー回数 | 0:表示のみ |
| ledBlinkEnabled | 1 | PILOT, OUTLET LEDの点滅の有効化 | 0:無効 1:有効 |
| broadGroup | 0 | 一斉電源制御の有効化 | 0:無効 1~8:グループ |
| broadPhysAddr | | 一斉電源制御側MACアドレス | |
| hbEnabled | 0 | ハートビートの有効化 | 0:無効 1:有効 |
| hbIpAddr | | ハートビートの対象IPアドレス | 0は無視 |
| hbPort | 9100 | ハートビートの待ち受けポート | |
| hbPcPort | 9100 | ハートビートの送信側ポート確認 | |
| hbInterval | 8 | ハートビートのパケットを受ける間隔(秒) | 1~99 |
| hbRebootTime | 30 | ハートビート リブート後, 無監視時間(秒) | 1~999 |
| hbTimeoutMax | 3 | ハートビートの動作を行うカウント | 1~99 |
| hbActionMax | 3 | ハートビートのリブート実行限度回数 | 1~99 |
| hbAction | 0,0,0,0 | ハートビートのアウトレット毎の動作 | 0:無効 1:ON 2:ON追従 3:OFF 4:OFF追従 5:リブート |
| hbTimeoutCount | 0 | タイムアウトの累積回数(ReadOnly) | |
| hbActionCount | 0,0,0,0 | アウトレット毎の動作を実行した回数(ReadOnly) | |
| hbStat | 0 | ハートビート状態(ReadOnly) | 0:待機中, 1:パケットを受信 |
| hbCallingIpAddr | | 最後にパケットを受信したIPアドレス(ReadOnly) | |
| httpCommandReturn | | ダイレクトWEBコマンド実行後の戻り用URL("http://"を省いて記述) | |
| httpCommandNo | 0 | ダイレクトWEB実行後に表示されるページの設定 | 0:コマンド実行結果を表示 1:元の画面に戻る 2:httpCommandReturnで指定したアドレスにジャンプ |
| httpCommandSet | 1,1,1,1,1,1,1, 1,1,1,1,1,1,1 | ダイレクトWEB実行後に表示されるページの表示制限設定 | 0:非表示 1:表示 |
| httpScreen | 1,1,1,1,1,1,1, 1,1,1,1,1,1,1, 1,1,1,1,1,1,1, 1,1,1,1,1,1,1 | ブラウザに表示される画面/項目の表示設定 | 0:非表示 1:表示 |
| httpPageType | 0 | PC, スマートフォン等端末の種類にあわせて画面を切り替えるための設定 | |

| | | | |
|------------------|----------|----------------------|--|
| httpPageStart | 0 | ログイン後に最初に表示されるページ | 0:簡易情報表示 1:監視状態表示 2:イベントログ表示 3:電源制御 |
| httpAuthMode | 2 | HTTP認証モード | 0:None 1:Basic認証 2:Digest認証 |
| realmName | RPC-M5CS | 認証領域 (realm) 名 | 半角英数字20文字以内 |
| nonceTime | 180 | nonceの有効時間 (秒) | 30~30000 |
| searchEnabled | 1 | RPCサーチソフトからの受信設定 | 0:無効, 1:有効 |
| versionupEnabled | 3 | バージョンアップの有効化 | 0:無効 1:ローカル更新のみ 2:オンライン更新のみ 3:有効 |
| revision | 01 | ファームウェアバージョンアップ機能コード | |

*1文字列 Meikyo Remote Power Controller, RPC-M5CS Ver. 1.00F

*2文字列 Meikyo 100BASE-TX Driver

■ログ一覧表

| 内 容 | 情 報 | TELNETなどのLOG |
|--|-----------------------|---------------------------|
| ログ開始 | | Log Start |
| PING送信 | outlet no. Ipaddr no. | ping |
| PING無応答 | outlet no. Ipaddr no. | No Echo |
| 死活判定(NoAction) | アウトレットno. | No Action |
| 死活判定(REBOOT) | アウトレットno. | Outlet Reboot |
| 死活判定(アウトレットON) | アウトレットno. | Outlet On |
| 死活判定(アウトレットOFF) | アウトレットno. | Outlet Off |
| 正常／回復中 | アウトレットno. | Outlet Recovered |
| スケジュール(REBOOT) | アウトレットno. | Outlet Reboot by Schedule |
| スケジュール(アウトレットON) | アウトレットno. | Outlet On by Schedule |
| スケジュール(アウトレットOFF) | アウトレットno. | Outlet Off by Schedule |
| 全アウトレットON | アウトレットALL ID (IDは接続者) | MPON |
| 全アウトレットOFF | アウトレットALL ID (IDは接続者) | MPOF |
| 全アウトレットREBOOT | アウトレットALL ID (IDは接続者) | MPOR |
| アウトレットON | アウトレットno.ID (IDは接続者) | PON |
| アウトレットOFF | アウトレットno.ID (IDは接続者) | POF |
| アウトレットREBOOT | アウトレットno.ID (IDは接続者) | POR |
| メールログイン要求 | no.(no.は[通知先アドレス]番号) | -->Mail |
| ●「メールログイン要求 0」と表示されている場合、[通知先アドレス]に登録されていないメールアドレスから送信があったことを意味します。(「メールログイン要求」の場合、メール制御コマンドは実行されなかったことになります。) | | |
| メールログイン | no.(no.は[通知先アドレス]番号) | -->Mail |
| メールログアウト | no.(no.は[通知先アドレス]番号) | <--Mail |
| TELNET接続 | IPAddr | -->Telnet |
| TELNET切断 | IPAddr | <--Telnet |
| TELNETログイン | IPAddr | -->Telnet |
| TELNETログアウト | IPAddr | <--Telnet |
| Web接続 | | -->Web |
| Webログイン | | -->Web |
| Webログアウト | | <--Web |
| 設定変更 | [変数名] ID (IDは接続者) | variable set (xxxxx) |
| 設定書き込み(WRITE) | ID (IDは接続者) | write to FROM |
| 温度状態変化 | 正常, °C | Temperature Normal |
| 温度状態変化 | 上限警報, °C | Temperature High Alarm |
| 温度状態変化 | 下限注意, °C | Temperature Low Warning |
| 温度状態変化 | 下限警報, °C | Temperature Low Alarm |
| NTPサーバー接続 | hour minute second | NTP --- hh:mm:ss |
| NTPサーバー接続エラー | | NTP Server Access Error |
| メールエラー | | Mail Error |

■制御コマンド一覧表

「TELNET」欄の「A」:Admin権限 「S」:Supervisor権限

「メール」:メール制御

「ダイレクト」:ダイレクトWEBコマンド A:Admin S:Supervisor C:Control I:Ident

| 制御コマンド | 内 容 | シリアル | TELNET | メール | ダイレクト |
|-------------|--|------|--------|-----|-------|
| MPON | 全アウトレットの電源出力開始 | A | A | ○ | AC |
| MPOF | 全アウトレットの電源出力停止 | A | A | ○ | AC |
| MPOR | 全アウトレットの電源リブート | A | A | ○ | AC |
| PONn | 指定されたアウトレットの電源出力開始 n=1~4 | A | A | ○ | AC |
| POFn | 指定されたアウトレットの電源出力停止 n=1~4 | A | A | ○ | AC |
| PORn | 指定されたアウトレットの電源リブート n=1~4 | A | A | ○ | AC |
| PSRn | 指定されたアウトレットの電源状態反転 n=1~4 | A | A | ○ | AC |
| MPONV | 全仮想アウトレットにマジックパケットを送信する。 | AS | AS | ○ | AC |
| PONVn | (nは1~8) debWakeupInterval後にマジックパケットを送信する。 | AS | AS | ○ | AC |
| OLSn OLS | 死活監視状態の表示 n=1~4 nを省略すると全てのアウトレットを表示します。 コンマ区切りで表示。 | | | | |
| | Outlet No. | | | | |
| | Power | | | | |
| | Judge | | | | |
| | Action Count | | | | |
| | Last Ping1 | | | | |
| | NoEchoCount1 | | | | |
| | NoEchoTime1 | | | | |
| | Last Ping2 | | | | |
| | NoEchoCount2 | | | | |
| | NoEchoTime2 | | | | |
| | Last Ping3 | | | | |
| | NoEchoCount3 | | | | |
| | NoEchoTime3 | | | | |
| | Last Ping4 | | | | |
| | NoEchoCount4 | | | | |
| | NoEchoTime4 | | | | |

| VER | バージョンの表示 | AS | AS | ○ | ASCII |
|----------|--|----|----|---|-------|
| POS | 全アウトレットの電源状態取得 応答:mmmm 左側からアウトレット1~4 m=0:OFF 1:ON | AS | AS | ○ | ASCII |
| XPOS | 全アウトレットの電源状態詳細の取得 応答:ABXXXX, ABXXXX, ABXXXX, ABXXXX 左側からアウトレット1~4 A=0:OFF 1:ON B=0:OFF 遅延中 1:ON 遅延中 XXXX=Bのタイマー残り時間 | AS | AS | ○ | ASCII |
| ID | (TELNET接続での)ユーザーIDの変更 ※入力を失敗すると変更されません。 1: Normal (Admin権限でのID名を変更します) 2: Supervisor(Supervisor権限でのID名を変更します) | × | AS | × | × |
| PASS | (TELNET接続での)パスワードの変更 新しいパスワードを2回入力します。※入力を失敗すると変更されません。 1: Normal (Admin権限でのID名を変更します) 2: Supervisor(Supervisor権限でのID名を変更します) | × | AS | × | × |
| TELNET | 変数「ipAdTelnetT」のアドレス, 変数「remoteTelnetPortT」のポートにTELNETクライアントとして接続します。 【中継を停止するには、通常と同じくexitやqで切断できます。】 一度に受信するデータは、概ね40Kバイト以下でご利用ください。 | × | AS | × | × |
| DATE | 年月日設定 例)DATE yy/mm/dd yy:年 mm:月 dd:日 | AS | AS | ○ | × |
| TIME | 現在時刻設定(秒は省略可) 例)TIME hh:mm:ss hh:時 mm:分 ss:秒 | AS | AS | ○ | × |
| PING | ICMPを4回送信します。 例)PING [IPアドレス] | AS | AS | × | × |
| IPCONFIG | LANの通信設定を表示します。 (例) Ip Address 192.168.10.1 Subnet Mask 255.255.255.0 Default Gateway 192.168.10.254 Ethernet Speed 100.0Mbps | AS | AS | ○ | × |
| CPURESET | CPUをリセットします。 コマンドを実行しても電源状態は変化しません。 | AS | AS | × | × |
| PROMPT=n | 0:(プロンプト表示無し) 1:(「>」のプロンプト表示) 2:(「機器名 >」のプロンプト表示) *変数「promptMode」により接続直後のモードが決まります。 | × | AS | × | × |
| EXIT | 回線切断 最初の文字がE, e, Q, qの場合はEXITと認識します。 | AS | AS | ○ | × |

| | | | | | |
|-------------|---|----|----|---|-------|
| TEMP | 現在の温度を表示します。 (温度センサー「有効」のとき) | AS | AS | ○ | ASCII |
| TOSn TOS | 温度監視の状態 5つの数字(①, ②, ③, ④, ⑤)が表示されます。 nを省略すると全てのアウトレットを表示します。 ①[アウトレット番号] ②[アウトレット状態(0:OFF, 1:ON)] ③[温度監視動作設定(0:無動作, 1:上限警報ON, 2:下限警報ON, 3:上限警報OFF, 4:下限警報OFF)] ④[温度監視状態(0:正常, 1:上限注意超過, 2:上限警報超過, 3:下限注意超過, 4:下限警報超過)] ⑤[温度監視動作状態(0:無動作, 1:上限動作, 2:下限動作)] | AS | AS | ○ | ASCII |
| TSP | 以下の変数の内容を一括で表示します。 tempEnabled tempTestMode tempSimMode tempLowerA tempLowerW tempLowerH tempLowerOff tempUpperA tempUpperW tempUpperH tempUpperOff | AS | AS | ○ | ASCII |

■仕様一覧表

| | | |
|-------|-------------------------------|--|
| 通信仕様 | LAN通信仕様 | ARP, TCP/IP, UDP/IP, ICMP, POP3, IMAP, BOOTP, DHCP, TELNET, SMTP, APOP, NTP, HTTP, SNMP, NTTCP |
| | LAN制御方法 | SNMPマネージャー, TELNET WEB E-mail |
| 機能 | 電源制御／管理 | 電源ON 電源OFF 電源リブート 電源状態取得 グループ制御 |
| | | 週間スケジュール機能(20個) NTPによる時刻同期機能 |
| | | スケジュールON/OFF機能 |
| | | ICMP送信 通報機能:SNMPトラップ, UDPパケット |
| | | Mail通知 温度監視(要オプション) ハートビート |
| | WOL対応機能 | あり:マジックパケット送信 |
| | シャットダウン機能 | スクリプト通信(TELNET) |
| | インターフェース | 10Base-T/100Base-TX 1 (RJ45) (IEEE802.3に準拠) |
| | | COM (D-sub9ピンオス) |
| | | 温度センサー (RJ11), (要オプション) |
| ハード仕様 | 定格 | 最大制御出力 AC100V 15A (1500W) |
| | | 最大消費電力 5.2 W |
| | | 入力電源電圧 AC100V ±10% (50/60Hz) |
| | 使用環境 | 温度 0~40°C |
| | | 湿度 20~85%(ただし結露なきこと) |
| | 外形寸法 (脚ゴム除く) | 220(W) x42.6(H) x165(D) mm |
| | 重量 | 約1.6kg |
| 規 格 | 特定電気用品認証品(電気用品安全法), RoHS2指令準拠 | |

注記 シリアルNo.3K-6683以降の本製品は内部でSG(信号グランド)とFG(フレームグランド)が接続されています。

問い合わせ先

明京電機株式会社
〒114-0012 東京都北区田端新町1-1-14
東京フェライトビル4F
TEL 03-3810-5580 FAX 03-3810-5546

ホームページアドレス
<https://www.meikyo.co.jp/>

ご注意

- (1)本書および製品の内容の一部または全部を無断で複写複製することは禁じます。
- (2)本書および製品の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書および製品の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
- (4)本製品を運用した結果の影響については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5)本製品がお客様により不当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、または弊社および弊社指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6)弊社指定以外のオプションを装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

WATCH BOOT light RPC-M5CS

取扱説明書 2022年 7月 第1.2f版

版権所有 明京電機株式会社

※「Watch Boot」は明京電機株の商標です。登録番号 5000750号（平成18年11月2日登録）